

大阪薬科大学

平成27年度 (2015)

授業の内容

1年次生用

平 成 27 年 度 (2015)

授 業 の 内 容

この「授業の内容」は、皆さんが入学してから卒業するまでに 履修する科目についてガイダンスしたものです。

教務上の注意事項も適宜書かれていますので、よく読んで内容 を理解しておいてください。間違いのないように注意し、分から ないことがあれば教務部長、教務部委員、または教務課職員(A 棟1階)に聞いてください。

なお、「授業の内容」には開講予定が示されていますが、変更 されることもありますので、掲示等に注意してください。

また、「学生生活の手引」もあわせて活用してください。

教育課程の編成・実施方針 (カリキュラムポリシー)

薬学科

薬物に関する幅広い科学的知識を持ち、薬の専門家として患者や医療チームから信頼される薬剤師を養成するカリキュラムとして、「薬学教育モデル・コアカリキュラム」を基本とする。さらに、医療の担い手に相応しい倫理性と社会性を身につける目的で、体系的にヒューマニズム教育を行う。薬剤師として必要な知識・技能および態度を修得するために、病院と薬局において参加型実務実習を行う。また、問題発見・解決能力を育成するために、各研究室に所属し卒業研究を行う。

薬科学科

製薬企業、教育機関、および各種薬学関連研究所等における研究者、技術者、教育関係者、 その他薬学を基盤とする多様な分野で活躍する人材を養成するカリキュラムとして、薬学の基礎知識が重要であるとの考えから3年次までの教育課程は薬学科と共通とする。4年次では、創薬に関わる科目を開講するとともに、大学院への進学を視野に入れた卒業研究を行い、課題の探求能力を育成する。

学位授与方針 (ディプロマポリシー)

薬学科

薬学科の学位授与方針を以下に掲げる。

- 1. 6年以上在籍し、卒業に必要な単位を修得していること。
- 2. 薬の専門家として必要な幅広い科学的知識を有していること。
- 3. 薬剤師として医療に関わるための基本的知識および技能・態度を身につけて、チーム 医療に貢献できる能力を有していること。
- 4. 医療人として相応しい倫理性と社会性を身につけていること。
- 5. 科学的根拠に基づく問題発見・解決能力を有していること。
- 6. 薬の専門家に必要なコミュニケーションおよびプレゼンテーション能力を有していること。

薬科学科

薬科学科の学位授与方針を以下に掲げる。

- 1. 4年以上在籍し、卒業に必要な単位を修得していること。
- 2. 医療に関わるために必要な倫理性と社会性を身につけていること。
- 3. 創薬研究などに必要な基礎的知識と技能・態度を有していること。
- 4. 科学的な課題を探求し、解決する能力を有していること。
- 5. 研究者に必要なコミュニケーションおよびプレゼンテーション能力を有していること。

薬学科カリキュラムマップ(平成27年度入学生)

カリキュラムポリシー

1 年次

2年次

3年次

基礎教育 ヒューマニズム教育

薬学を学ぶ上での基礎学力の養成と、医療の担い 手に相応しい倫理性と社 会性を身につける (必修科目) 数学1·2、物理学1·2 化学、化学演習

情報科学演習身体運動科学

スポーツ・運動実習 1 薬学入門

早期体験学習1

(選択科目) 情報科学 (必修科目) 数理統計学 心理社会

(選択科目) 医工薬連環科学 (必修科目) コミュニケーション 医療と法

教養 (選択科目)

文学の世界、歴史と社会、地球環境論、政治と社会、 基礎心理学、法と社会、経済の世界、社会分析の基礎、 人間と宗教、文化人類学、倫理と社会、コーチング論、 スポーツ・運動実習2、数理論理学

語学教育

国際化に対応し得る語学 力を養う (必修科目)

英語リスニング1・2 英語リーディング1・2

(選択必修科目) ドイツ語1・2 フランス語1・2 中国語1・2 ハングル1・2 (必修科目)

英語スピーキング1・2 英語ライティング1・2 (必修科目)

異文化言語演習1・2

薬学専門教育

「薬学教育モデル・コア カリキュラム」を基本と した、薬物に関する幅広 い科学的知識を得る (必修科目) 基礎有機化学 有機化学1 生物学 基礎細胞生物学 生化学1、生薬学 物理化学1、分析化学1 (必修科目) 有機化学2・3 有機スペクトル解析学 生化学2・3 微生物学、病原微生物学 基礎漢方薬学 薬用天然物化学1 物理化学2・3 分析化学2 生物無機化学、衛生薬学1 (必修科目) 有機化学4、合成化学 分子細胞生物学 免疫学、ゲノム医科学 病態生化学 薬用天然物化学2 放射化学、応用分析学 衛生薬学2・3・4

(選択科目) 応用放射化学

医療薬学教育

薬の専門家として患者や 医療チームから信頼され る薬剤師を養う

薬剤師として必要な知識・技能および態度を修得するために病院と薬局において参加型実務実習を行う

(必修科目) 機能形態学1 人体の構造と病態1・2 早期体験学習2 (必修科目) 生物薬剤学1 機能形態学2 薬理学1 薬物治療学1・2 (必修科目) 生物藥剤学2 薬物動態解析学 物理薬剤学 製剤学 薬理学2・3 薬物治療報学 医薬品情報学 医療統計学

実習科目

講義で得た知識を基に、 研究活動に必要な技術・ 方法を体得する

さらに問題発見・解決能力 を育成するために各研究室 に所属し卒業研究を行う (必修科目) 基礎薬学実習 基礎有機化学実習 (必修科目) 生物学実習 漢方・生薬学実習 物理・放射化学実習 分析化学実習 (必修科目) 有機化学実習 生物科学実習 衛生薬学実習 薬剤学実習 薬理学実習

| 4年次 | 5年次 | 6年次 | ディプロマポリシー |
|--|----------------------------|---|---|
| (必修科目) 生命医療倫理 制度経済 | | (選択科目) 医療政策論 医療倫理論 | 医療人として相応しい倫 理性と社会性を身につけ ていること |
| (必修科目) 薬学英語 | | | |
| (必修科目) 医薬品化学1·2 (選択科目) 薬品合成化学 生物物理化学 | | (選択科目) 先端分子医科学 | 薬の専門家として必要な 幅広い科学的知識を有し ていること |
| (必修科目) 臨床薬物動態学 薬理学4、医薬品安全性学 医療薬剤学、個別化医療 薬事関連法・制度 コミュニティファーマシー 医薬品情報演習 薬学基礎演習 臨床導入学習1・2 (選択科目) アドバンスト薬物治療学1 病態・薬物治療学演習 臨床感染症学、臨床栄養学 臨床化学、臨床生理学 | (必修科目) 病院実務実習 薬局実務実習 | (必修科目) 薬局方総論 医薬品情報評価学 薬学総合演習 (選択科目) 漢方医学概論 レギュラトリーサイエンス アドバンスト薬物治療学2 アドバンスト薬物治療学3 創薬薬理学 医療情報学 | 薬剤師として医療に関わるための基本的知識および技能・態度を身に可献って、チーム医療に可能った。 さる能力を有していること 薬の専門家に必要なよびプレゼンテーション能力を有していること |
| 特別 | | | 科学的根拠に基づく問題 発見・解決能力を有して いること |

薬科学科カリキュラムマップ(平成27年度入学生)

カリキュラムポリシー

1年次

2年次

3年次

基礎教育

ヒューマニズム教育

薬学を学ぶ上での基礎学力の養成と、医療の担い 手に相応しい倫理性と社会性を身につける (必修科目) 数学1・2、物理学1・2 化学、化学演習 情報科学演習 身体運動科学 スポーツ・運動実習1

(選択科目) 情報科学

早期体験学習1

薬学入門

(必修科目) 数理統計学 心理社会

(選択科目) 医工薬連環科学 (必修科目) コミュニケーション 医療と法

教養 (選択科目)

文学の世界、歴史と社会、地球環境論、政治と社会、 基礎心理学、法と社会、経済の世界、社会分析の基礎、 人間と宗教、文化人類学、倫理と社会、コーチング論、 スポーツ・運動実習2、数理論理学

語学教育

国際化に対応し得る語学 力を養う (必修科目) 英語リスニング1・2 英語リーディング1・2

(選択必修科目)ドイツ語1・2フランス語1・2中国語1・2ハングル1・2

(必修科目) 英語スピーキング1・2 英語ライティング1・2 (必修科目)

異文化言語演習1・2

薬学専門教育

薬学の基礎知識および薬 の物性と構造、反応など の知識について体系的に 修得する (必修科目) 基礎有機化学 有機化学1 生物学 基礎細胞生物学 生化学1、生薬学 物理化学1、分析化学1 機能形態学1 人体の構造と病態1・2 早期体験学習2 (必修科目) 有機化学2・3 有機スペクトル解析学 生化学2・3 微生物学、病原微生物学 基礎漢方薬学 薬用天然物化学1 物理化学2・3 分析化学2 生物無機化学、衛生薬学1 生物薬剤学1 機能形態学2 薬理学1 薬物治療学1・2

(必修科目) 有機化学4、合成化学 分子細胞生物学 免疫学、ゲノム医科学 病態生化学 薬用天然物化学2 放射化学、応用分析学 衛生薬学2・3・4 生物薬剤学2 薬物動熊解析学 物理薬剤学 製剤学 薬理学2・3 薬物治療学3・4 医薬品情報学 医療統計学

(選択科目) 応用放射化学

実習科目

講義で得た知識を基に、 研究活動に必要な技術・ 方法を体得する

さらに問題発見・解決能力を育成するために各研究室に所属し卒業研究を行う

(必修科目) 基礎薬学実習 基礎有機化学実習 (必修科目) 生物学実習 漢方・生薬学実習 物理・放射化学実習 分析化学実習 (必修科目) 有機化学実習 生物科学実習 衛生薬学実習 薬剤学実習 薬理学実習

| | 4年次 | ディプロマポリシー |
|--|--|--|
| | 4 + 1/2 | フィブロマボジジー |
| 製薬企業、教育機関、および各種薬学関連研究所等者、技術を おける、研究者、他薬学である 教育関係者を基盤とする多様な分する力と はなする人材を変更であるとの表 であるとの考 | | 医療に関わるために必要な倫理性と社会性を身につけていること |
| に対しているとの名を えから、3年次までの教育 課程は薬学科と共通とする 4年次では、創薬に関わる 科目を履修し、かつ大学院への進学を視野に入れた卒業研究を行い、課題への探 求能力を育成する | (必修科目) 生体分子機能学 分子設計学 (選択科目) 医薬品化学 薬品合成化学 生物物理化学 薬理学 4 (必修科目) 特別演習·実習(前期·後期) | 創薬研究などに必要な基 であると対能・ を有していること 科学からな課題を探えし、 解えこと 科学からる能力を有コンプンを有コンジョンと でキションと があること |

<シラバス内の記載について>

平成27年度入学生からの本学のカリキュラムは薬学教育モデル・コアカリキュラム(平成25年度改訂版)に基づいて作成されています。

薬学教育モデル・コアカリキュラム(平成25年度改訂版)については、 巻末に掲載していますので、参照してください。

- GIO general instructional objective 一般目標 薬剤師として求められる基本的な資質を身に付けるための一般目標
- SBO specific behavioral objective 到達目標 GIOを達成するための到達目標

コアカリキュラム番号………改訂コアカリキュラム番号 例: (A(1)(1)-1)(C(1)(1)(1)-1)

【*】……コアカリキュラムとは別の薬学アドバンスト教育の内容や、大学独自の内容

科目担当者についての記載

☆……科目の担当代表者

※……非常勤講師

平成27年度 開講科目

担当教員一覧

基礎教育科目

| 文学の世界(教養) 歴史と社会(教養) 地域環境論(教養) | ※講 師 教 授 | 博士(文学) 修士(法学) | 森 宗 開講せ | 前 清 貞 | 子貞 |
|---------------------------------------|-------------|------------------|---------------|-------|----------|
| 政治と社会(教養) 基礎心理学(教養) | | | 開講せ 開講せ | ナず | |
| 法と社会(教養) | ※講 師 | 博士(法学) | 小 里 | 予博 言 | ij |
| 経済の世界(教養) | ※講師 | 博士(経済学) | 大久任 | | Ī |
| 社会分析の基礎(教養) | ※講師 | 博士(人間・環境学) | 高 | | 乜 |
| 人間と宗教(教養) | ※講師 | 博士(文学) | 鶴 | | - |
| 文化人類学(教養) | ※講師 | 博士(文学) | 中 2 | | _ |
| 倫理と社会(教養) | 准教授 | 博士(文学) | | | 子 |
| コーチング論(教養) | 准教授 | 体育学修士 | | | l |
| スポーツ・運動実習 2 (教養) | 准教授 | 体育学修士 | 当 用 | | l |
| 数理論理学(教養) | 准教授 | 博士(理学) | - | | 成 |
| 数 学 1 | 准教授 | 博士(理学) | - | E i | 成 |
| " | 准教授 | 博士(理学) | 吉 | , /\ | - |
| 数 学 2 | 准教授 | 博士(理学) | | | 成 |
| " | 准教授 | 博士(理学) | | 可興 - | - |
| 物 理 学 1 | 准教授 | 博士(理学) | | 可 與 - | - |
| 物 理 学 2 | 准教授 | 博士(理学) | | | - |
| 英 語 リスニング 1 | ※講師 | 教育学博士 | | | 子 |
| " | ※講師 | 修士(言語文化学) | | | 子 |
| " | ※講師 | 教育学修士 | | | 危 |
| " | ※講師 | 修士(言語文化学) | 大 礻 | | |
| 英 語 リスニング 2 | ※講師 | 教育学博士 | | | 子 |
| " | ※講師 | 修士(言語文化学) | 武力 | | 子 |
| " | ※講師 | 教育学修士 | | | 危 |
| " | ※講師 | 修士(言語文化学) | | 申 雄一良 | |
| 英語リーディング1 | 教 授 | 文 学 士 | 楠 | | 刀口 |
| " | 准教授 | Ph. D. | スミン | | 子 |
| " | ※講師 | M. A. | | | X. |
| " | ※講師 | 修士(文学) | | | 子 |
| 英語リーディング2 | 教 授 | 文 学 士 | | | 刀口 |
| " | 准教授 | Ph. D. | スミン | | 子 |
| " | ※講師 | M. A. | | | X |
| " | ※講師 | 修士(文学) | | | 子 |
| ド イ ツ 語 1 | 准教授 | 博士(文学) | 阪フ | | 子 |
| ド イ ツ 語 2 | 准教授 | 博士(文学) | | | 子 |
| フランス語 1 | ※講 師 | M. L. | | | 美 |
| フランス語2 | ※講 師 | M. L. | | | 美 |
| 中 国 語 1 | ※講 師 | 博士(学術) | モクク | | |
| 中 国 語 2 | ※講 師 | 博士(学術) | モクク | | |
| ハングル1 | ※講師 | 修士(国際学) | 李 | | 叔 |
| ハングル2 | ※講師 | 修士(国際学) | 李 | | 权 |
| 身体運動科学 | 准教授 | 体育学修士 | | | Ι. |
| スポーツ・運動実習 1 | ☆准教授 | 体育学修士 | | | 1 |
| " | ※講師 | 文学士教育学(体育) | | | 美 |
| <i>"</i> | ※講師 | 学士(体育学) | | | 行会 |
| / / / / / / / / / / / / / / / / / / / | ※講師 | 学士(体育学) | 門」 | | 美 |
| 情 報 科 学 | ☆※講師 | 博士(工学) | 林工工 | | 工 |
| / 桂 却 到 | ※講師 | 博士(工学) | 下月 | | 推一 |
| 情報科学演習 | 教 授 | 博士(薬学) | 浦日 | 日秀仁 | _ |

| 化 | 学 | ☆准教授 准教授 | 薬 学 博 士 博士(薬学) | 大宮 | 桃本 | 善勝 | 朗城 |
|---|-------------|--|---|--------------------------|----------------------------|-----------------------------|--------------------------|
| , ,, | | 准教授 准教授 | 博士(薬学) 博士(薬学) | 山尹 | 田 | 剛康 | % 司子 |
| " | | 准教授 | 博士(薬学) | 宮 | 崎 | | 誠 |
| " | | 准教授 講 師 | 博士(薬学) 博士(薬学) | 箕 浅 | 浦野 | 克 晶 | 彦子 |
| " | | 講師講師 | 博士(薬学) 博士(工学) | 平 山 | 田沖 | 雅 留 | 彦美 |
| 化 学 演 | 習 | ☆准教授 | 薬学博士 | 大 | 桃 | 善 | 朗 |
| " | | 准教授 准教授 | 博士(薬学) 博士(薬学) | 宮山 | 本田 | 勝剛 | 城司 |
| <i>"</i> , | | 准教授 准教授 | 博士(薬学) 博士(薬学) | 尹 宮 | 崎 | 康 | 子誠 |
| " | | 准教授 講 師 | 博士(薬学) 博士(薬学) | 箕浅 | 浦野 | 克晶 | 彦子 |
| " | | 講師 | 博士(薬学) | 平 | 田 | 雅 | 彦 |
| 生物 | 学 | 講 師 准教授 | 博士(工学) 博士(薬学) | 山 坂 | 沖 口 | 留 | 美実 |
| 基礎有機化基礎薬学科目 | 学 | 准教授 | 博士(薬学) | 和 | 田 | 俊 | _ |
| 薬 学 入 | 門 | ☆学 長 教 授 | 薬 学 博 士 医 学 博 士 | 政松 | 田 村 | 幹 人 | 夫志 |
| " | | 教 授 | 医学博士 | 島 | 本 | 史 | 夫 |
| " | | 准教授 ※講 師 | 博士(文学) 薬 学 博 士 | 阪 西 | 本野 | 恭 隆 | 子雄 |
| 基 礎 細 胞 生 物 有 機 化 学 | 学 1 | 准教授 准教授 | 博士(薬学) 薬 学 博 士 | 坂 宇 <i>伽</i> | 口 | 吉 | 実英 |
| 物 理 化 学 分 析 化 学 | 1 | 教 授 教 授 | 薬 学 博 士 薬 学 博 士 | 土 | 井野 | 光芳 | 暢紀 |
| 生 化 学 | 1 | 教 · 技 講 · 師 | 衆子 母 工 博士(薬学) | 藤 | 井 | Я | 心 忍 |
| | | | | | | | |
| 機能形態学 応用薬学科目 | 1 | 教 授 | 薬学博士 | 高 | 岡 | 昌 | 徳 |
| | 1 学 | 教 授准教授 | 薬学博士博士(薬学) | 高芝 | | 昌真喜 | |
| 応用薬学科目 生 薬 医療薬学科目 早期体験学習 | 学 1 | 准教授 教 授 | 博士(薬学) 理学博士 | 芝福 | 岡 野 永二 | 真喜理己 | 雄郎 |
| 応用薬学科目生 薬医療薬学科目早期体験学習早期体験学習 | 学 | 准教授 教 授 | 博士(薬学) 理学博士 医学博士 | 芝 福松島 | 岡野 | 真喜理人史 | 雄 郎志夫 |
| 応用薬学科目 生 薬 医療薬学科目 早期体験学習 早期体験学習 | 学 1 | 准教 授 授授授授授授授授授授 | 博士(薬学) 理学博士 医学博士 医学博士 (東学) | 芝 福松島林井 | 岡 野 永村 | 真喜 理己 人 | 雄郎志 |
| 応用薬学科目生医療薬学科目早期体験学習早期体験学習/ / / / / / / / / / / / / / / / / / / | 学 1 | 准教教教教推教 授授授授授授授授授授授授 | 博士(薬学) 理学博士 医学博士 医学学博士 (薬学) 博士(薬学) | 芝 福松島林井幸 | 岡 野 永村本 尻田 | 真 理人史哲好祐喜 己 | 雄 郎志夫也雄佳 |
| 応用薬学科目 生 医療薬学科目 早期体験学習 早期のクラックのののののののののののののののののののののののののののののののののの | 学 1 2 | 准 教教教教准准講講 授 授授授授授师師 | 博士(薬学) 理学博士 | 芝 福松島林井幸山加 | 岡 野 永村本 尻田口藤 | 真 理人史哲好祐敬隆喜 己 | 雄 郎志夫也雄佳子児 |
| 応用薬学科目 生 医療薬学科目 早期体験学 習習 早期体験ペパパパパパパパパパパパパパパパパパパパパパパパパパパパパパパパパパパパパ | 学 1 2 | 准 教教教教准准講講教教教 教教准准講講教教教 教教工 教教 教教 化 | 博士(薬学) 理 医 医 医 医 医 医 医 医 医 要学 学 学 学 学 学 学 学 学 学 | 芝 福松島林井幸山加島松 | 岡 野 永村本 尻田口藤本村 | 真 理人史哲好祐敬隆史人喜 己 | 雄 郎志夫也雄佳子児夫志 |
| 応用薬学科目 生 医療薬学科目 早期体験学習 早期体験ックタイプ である では、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 学 1 2 | 准 教教教教准准講講教教准講教 教教准准講講教教准講教教 教教 教教 教教 教 教 教 | 博士(薬学) 理 学 学 博 博 博 博 学学学 学 博士(薬薬薬学) 博士(薬薬学学) 博士(薬 学 博士) | 芝 福松島林井幸山加島 | 岡 野 永村本 尻田口藤本 | 真 理人史哲好祐敬隆史人祐喜 己 | 雄 郎志夫也雄佳子児夫 |
| 応用薬学科目 生 医療薬学科目 早期体験 学学 早期体 験 クックック のの のののののののののののののののののののののののののののの | 学 1 2 | 准 教教教教准准講講教教准講教教 教教工 人 教教 教教 工作 | 博士(薬学) 理医医医博博博医医博博医医医博博博博斯 基本士 生生学学生 生生 | 芝 福松島林井幸山加島松幸山林 | 岡 野 永村本 尻田口藤本村田口 | 真 理人史哲好祐敬隆史人祐敬哲喜 己 | 雄 郎志夫也雄佳子児夫志佳子也 |
| 応用薬学科目 生 医療薬学科目 早期 体 験 () () () () () () () () () (| 学 1 2 | 准 教教教教准准講講教教准講教 教教准准講講教教准講教教 教教 化 教教 教 教 教 有 教 有 数 有 数 有 数 有 数 有 数 有 数 有 | 博士(薬学) 理医医医博士(薬学) 博博博博薬薬薬博博博美薬薬 博博博 博文学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学 | 芝 福松島林井幸山加島松幸山 | 岡 野 永村本 尻田口藤本村田 | 真 理人史哲好祐敬隆史人祐敬哲喜 己 | 雄 郎志夫也雄佳子児夫志佳子 |
| 応用薬学科目 生薬学科目 事 事 事 事 事 り り り り り り り り り り り り り り | 学 1 2 | 准 教教教教准准講講教教准講教准講 教教 教人工 教教 教 人工 教教 教 教 教 教 教 教 教 教 教 教 教 | 博士(秦)学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学 | 芝 福松島林井幸山加島松幸山林井加 土 | 岡 野 永村本 尻田口藤本村田口 尻藤 井 | 真 理人史哲好祐敬隆史人祐敬哲好隆 光喜 己 | 雄 郎志夫也雄佳子児夫志佳子也雄児 暢 |
| 応用薬学科目 生産薬学科目 車早期体体験のののののでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、の | 学 1 2 | 准 教教教教准准講講教教准講教准講 教准講教 教教 教教 教 教 教 教 教 教 | 博 理医医医博博博医医博博医博博 工工 学学学士士士学学学士士学士士学士 学学士学士 学学士 学学士 学学士 学 | 芝 福松島林井幸山加島松幸山林井加 土大浅 | 岡 野 永村本 尻田口藤本村田口 尻藤 井桃野 | 真 理人史哲好祐敬隆史人祐敬哲好隆 光善晶喜 己 | 雄 郎志夫也雄佳子児夫志佳子也雄児 畅朗子 |
| 応用 薬学科 科目 薬学科体体 経療薬期期 学学 学学 大体 体体 でのののののでのでいる。 薬が、のののののでのでいる。 薬が、ののののでは、ののののでのでいる。 薬が、ののののでは、のののでのでいる。 薬が、ののののでは、ののでのでいる。 薬が、のののでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、のの | 学 1 2 | 准 教教教教准准講講教教准講教准講 教准教 教教 本 教教 教 本 教 教 教 教 教 教 教 教 教 教 教 教 | 博 理医医医博博博医医博博医博博 要薬博博博博 文学学学士士学学士士学士士学学士学学士学学士学学士士学学士士学学士士士学学学士士士 | 芝 福松島林井幸山加島松幸山林井加 土大 | 岡 野 永村本 尻田口藤本村田口 尻藤 井桃 | 真 理人史哲好祐敬隆史人祐敬哲好隆 光善晶喜 己 | 雄 郎志夫也雄佳子児夫志佳子也雄児 畅朗子彦 |
| 応用業学科科体体 大大大学 大大大学 大大大学 大大大学 大大大学 大大学 大学 大学<!--</td--><td>学 1 2 習</td><td>准 教教教教准准講講教教准講教准講 教准講講助教教 教 教 教 教 教 教 教 教 教 教 教 教 教 教 教 教 教</td><td>博 理医医医博博博医医博博医博博 薬薬博博博薬学学学士士士学学士学士学士 学学士士士学学士士学学士士士学学士</td><td>芝 福松島林井幸山加島松幸山林井加 土大浅平川田</td><td>岡 野 永村本 尻田口藤本村田口 尻藤 井桃野田島中</td><td>真 理人史哲好祐敬隆史人祐敬哲好隆 光善晶雅浩麗喜 己</td><td>雄 郎志夫也雄佳子児夫志佳子也雄児 畅朗子彦之子</td> | 学 1 2 習 | 准 教教教教准准講講教教准講教准講 教准講講助教教 教 教 教 教 教 教 教 教 教 教 教 教 教 教 教 教 教 | 博 理医医医博博博医医博博医博博 薬薬博博博薬学学学士士士学学士学士学士 学学士士士学学士士学学士士士学学士 | 芝 福松島林井幸山加島松幸山林井加 土大浅平川田 | 岡 野 永村本 尻田口藤本村田口 尻藤 井桃野田島中 | 真 理人史哲好祐敬隆史人祐敬哲好隆 光善晶雅浩麗喜 己 | 雄 郎志夫也雄佳子児夫志佳子也雄児 畅朗子彦之子 |
| 応用 薬学 科科 科体体 大体体 大体体 大体体 大体体 大体体 大体体 | 学 1 2 習 | 准 教教教教准准講講教教准講教准講 教准講講助教 教教 教 教 教 教 教 教 教 教 教 教 教 教 教 教 教 教 | 博 理医医医博博博医医博博医博博 薬薬博博博士 学学学士士士学学士士学士士学学士士 学学士士士学学学士士士士士学学学学学士士士 | 芝 福松島林井幸山加島松幸山林井加 土大浅平川 | 岡 野 永村本 尻田口藤本村田口 尻藤 井桃野田島中 | 真 理人史哲好祐敬隆史人祐敬哲好隆 光善晶雅浩严喜 己 | 雄 郎志夫也雄佳子児夫志佳子也雄児 畅朗子彦之 |

平成 27 年度

1 年 次 生

目 次(平成27年度1年次生)

| 基礎教育科目 | |
|------------|---|
| 文学の世界(教 | 養) |
| 歴史と社会(教 | 養) |
| 地球環境論(教 | 養)(平成27年度開講しません) |
| 政治と社会(教 | 養)(平成27年度開講しません) |
| 基礎心理学 (教 | 養)(平成27年度開講しません) |
| 法と社会(教養) | 22 |
| | 養) |
| | (教養) |
| | 養) |
| | 養) |
| | 養) |
| | 教養) |
| | 実習 2 (教養) |
| | 養) |
| | 31 |
| | |
| | |
| | |
| | 1 37 |
| | 2 41 |
| | グ 1 ··································· |
| | グ2···································· |
| | 53 |
| | |
| | 55 |
| | 56 |
| | 57 |
| | 58 |
| | 59 |
| | 60 |
| | |
| | 実習 1 |
| 情報科学 | 63 |
| | |
| | |
| | |
| 生物学 | |
| 基礎有機化学… | |
| 基礎薬学科目 | |
| 薬学入門 | |
| 基礎細胞生物学· | ······································ |
| 有機化学1 | |
| 物理化学1 | |
| | |
| | |
| 機能形態学1… | 76 |
| 応用薬学科目 | |
| 生薬学 | |
| 医療薬学科目 | |
| 早期体験学習1: | |
| 早期体験学習 2 · | |
| 人体の構造と病療 | 態 1 |
| 人体の構造と病療 | 態 2 |
| 実 習 | |
| 基礎薬学実習… | |
| 基礎有機化学実 | 翌 |

| | | | | | (H27-1 |
|------------|-----------------------------------|----------|----------|-----|----------------------------------|
| 区分 | 授業科目 | 1 5 前期 | F次 後期 | 単位 | 備考 |
| | 文学の世界(教養) | 0 | | 1 | ●:必修科目 |
| | 歴史と社会(教養) | 0 | | 1 | ▲:選択必修科目 |
| | 地球環境論(教養) | 0 | | 1 | ○:選択科目 |
| | 政治と社会(教養) | 0 | | 1 | |
| | 基礎心理学(教養) | 0 | | 1 | - │ *選択科目は同時間に複数科目開講することがある |
| | 法 と 社 会 (教 養) | 0 | | 1 | |
| | 経済の世界(教養) | 0 | | 1 | |
| | 社会分析の基礎(教養) | 0 | | 1 | |
| | 人間と宗教(教養) | | 0 | 1 | |
| | 文化人類学(教養) | | 0 | 1 | |
| | 倫理と社会(教養) | | 0 | 1 | |
| | コーチング論(教養) | | 0 | 1 | |
| | スポーツ・運動実習2(教養) | | 0 | 1 | |
| | 数理論理学(教養) | | 0 | 1 | |
| | 数 学 1 | | | 1 | |
| | 数 学 2 | | | 1 | |
| | 数 | | | 1 | |
| 基 | 物 理 学 2 | | | 1 | |
| 基礎教育科目 | 英語 リスニング | | | 1 | |
| 教 育 | 英 語 リ ス ニ ン グ 2 | | | 1 | |
| 科 | 英 語 リ ー デ ィ ン グ 1 | | | 1 | |
| Ħ | 英 語 リ ー デ ィ ン グ 2 | | | 1 | |
| | X | A | | 1 | ! │ ※1 ドイツ語、フランス語、中国語、ハングルより |
| | ドイツ語 2 ※ 1 | | A | 1 | - |
| | | • | | | 1カ国語を選択必修 |
| | | A | • | 1 | |
| | | _ | A | | |
| | 中国語 1 ※ 1 中国語 2 ※ 1 | A | A | 1 | |
| | | _ | | | |
| | · · | A | A | 1 | |
| | ハングル2 ※1 身 体 運 動 科 学 | | | 1 | |
| | | | | 1 | |
| | | | | | |
| | | | 0 | 1 | |
| | 情報 科学 演習 | | | 1 | |
| | 化学 | • | | 1 | |
| | 化 学 演 習 | • | | 1 | |
| | 生物学 | • | | 1 | |
| | 基礎有機化学 | • | | 1 | |
| | 薬 学 入 門 | • | | 1 | |
| 基 | 基礎細胞生物学 | | | 1.5 | |
| 基礎薬学科目 | 有 機 化 学 1 | | | 1.5 | |
| 学 | 物 理 化 学 1 | | | 1.5 | |
| 科目 | 分 析 化 学 1 | | | 1.5 | |
| ы | 生 化 学 1 | | • | 1.5 | |
| 大田本兴 | 機 能 形 態 学 1 | | • | 1.5 | |
| 芯用薬学 科目 | 生 薬 学 | | | 1.5 | |
| 医唇 | 早期体験学習1 | | | 1 | |
| 医療薬学科 | 早期体験学習2 | | • | 0.5 | |
| 字科 | 人 体 の 構 造 と 病 態 1 | • | | 1.5 | |
| Ħ | 人 体 の 構 造 と 病 態 2 | | • | 1.5 | |
| 実習 | 基 礎 薬 学 実 習 | • | | 0.5 | |
| 習 | 基 礎 有 機 化 学 実 習 | | | 1 | |

| 大学 | | | | | | (H2I-1) |
|--|-------------|-----------------------|-----|----|-----|----------------------------------|
| The proof of | 区分 | | 2 4 | F次 | 単位 | 借老 |
| 歴史と社会(教養)○□1 地球環境 (教養)○□1 素 (教養)○□1 素 (教養)○□1 素 (教養)○□1 素 (教養)○□1 注と社会(教 (教 (| | 1文米行 日 | 前期 | 後期 | 平匹 | /HI *5 |
| 地 球 現 境 治 (教 養) ○ | | 文 学 の 世 界 (教 養) | 0 | | 1 | ●:必修科目 |
| 放 治 と 社 会 (教 美) ○ 1 *連択科目は同時間に複数科目開講することがある | | 歴 史 と 社 会 (教 養) | 0 | | 1 | · ○:選択科目 |
| 放 治 と 社 会 (教 美) ○ 1 *連択科目は同時間に複数科目開講することがある | | 地球環境論(教養) | 0 | | 1 | |
| | | | 0 | | | │ │ *選択科目は同時間に複数科目開講することがある │ |
| 法 と 社 会 (教 養) ○ 1 日本語 | | | | | | |
| A | | | | | | |
| 世会分析の基礎(教養) ○ 1 人間と宗教(教養) ○ 1 文化人類学(教養) ○ 1 文化人類学(教養) ○ 1 スポーツ・運動実習2(教養) ○ 1 及理 統 計 学 ● 15 英語スピーキング1 ● 1 英語スピーキング1 ● 1 英語 フィティング 1 ● 1 英語 フィティング 1 ● 15 英語 スピーキング 1 ● 15 石機 化 学 3 ● 15 有機 化 学 3 ● 15 有機 化 学 2 ● 15 有機 化 学 3 ● 15 有機 化 学 2 ● 15 有機 化 学 2 ● 15 有機 化 学 2 ● 15 有機 化 学 3 ● 15 有機 化 学 2 ● 15 有機 化 学 3 ● 15 有機 化 学 2 ● 15 東 | | | | | | |
| 大震な | | | | | | |
| A | | | | | | |
| X ポーツ・運動集習 2 (教養) | 基 | | | | | |
| X ポーツ・運動集習 2 (教養) | () 数 | | | | | |
| X ポーツ・運動集習 2 (教養) | 育 | | | _ | | |
| 数理論理学(数後) | 目 | | | | | - |
| 数理 統 計 学 ● 1.5 英語スピーキング1 ● 1 英語ライティング2 ● 1 大田 東 社 会 ● 1.5 有 機 化 学 2 ● 1.5 有 機 化 学 3 ● 1.5 有 機 化 学 2 ● 1.5 技術 理 化 学 2 ● 1.5 セ 化 学 3 ● 1.5 分 析 化 学 2 ● 1.5 佐 生 物 學 1.5 佐 生 物 学 ● 1.5 基 礎 漢 方 薬 学 ● 1.5 素 明 天 然 物 化 学 1 「 | | | | _ | 1 | - |
| 英語スピーキング1 1 英語スピーキング2 1 英語ライティング2 1 英語ライティング2 1 心理社 1.5 医工業選環科学○ 1.5 有機化学2 1.5 有機化学3 1.5 有機化学2 1.5 物理化学3 1.5 物理化学2 1.5 物理化学2 1.5 分析化学2 1.5 佐生化学3 1.5 佐生化学2 1.5 佐生化学3 1.5 佐生化学2 1.5 佐生化学3 1.5 佐生化学3 1.5 佐生化学3 1.5 佐生化学3 1.5 佐生化学3 1.5 佐生物無機化 学2 1.5 生物無機化 学9 1.5 本株 学1 1.5 南生 薬 学1 1.5 本株 学1 1.5 東衛 生 東 学1 1.5 東 物治療学1 1.5 東 物治療学2 1.5 東 物治療学2 0.5 分析化 学 実習 0.5 分析化 学 実習 0.5 一大方生来学2 0.5 | | | | 0 | 1 | |
| 英語 スピーキング2 1 英語 ライティング1 1 英語 ライティング2 1 心理社 会 | | 数 理 統 計 学 | • | | 1.5 | |
| 英語ライティング1 1 英語ライティング2 1 心理社会 1.5 医工業連環科学 1.5 有機化学2 1.5 有機化学2 1.5 有機 化学2 1.5 有機 化学2 1.5 物理化学3 1.5 分析化学2 1.5 生化学3 1.5 生化学2 1.5 生化学3 1.5 生化学3 1.5 生化学3 1.5 生化学3 1.5 世生化学3 1.5 生物学1 1.5 機能影響学2 1.5 基礎廣大 方 楽学 1 1.5 本 2 1.5 本 3 1.5 大 4 中 第 2 1.5 1.5 大 5 中 1.5 大 6 中 1.5 大 7 東 9 1.5 大 5 中 1.5 大 6 中 2 1.5 大 6 中 2 1.5 大 7 東 9 1.5 大 7 東 9 1.5 大 7 東 9 1 | | 英 語 ス ピ ー キ ン グ 1 | • | | 1 | |
| 英語 ライティング 2 心理社会 1.5 区工薬連環科学 1.5 有機化学 1.5 有機化学 1.5 有機化学 1.5 有機、化学 1.5 有機スペクトル解析学 1.5 物理化学 1.5 物理化学 1.5 物理化学 1.5 特別 生化学 1.5 生水学 1.5 株健 形態学 1.5 基礎 方 薬学 1.5 素用天然物化学 1.5 素用天然物化学 1.5 素用天然物化学 1.5 素別原金生 等学 1.5 素別原金生物学 1.5 素別学 1.5 実別分析化学実習 0.5 分析化学実習 1 | | 英 語 ス ピ ー キ ン グ 2 | | | 1 | |
| 心 理 社 会 ● 1.5 医 工 薬 連 環 科 学 ○ 1.5 有 機 化 学 2 ● 1.5 有 機 化 学 3 ● 1.5 物 理 化 学 2 ● 1.5 物 理 化 学 2 ● 1.5 生 化 学 2 ● 1.5 生 化 学 2 ● 1.5 性 化 学 2 ● 1.5 機 性 化 学 0 1.5 機 能 形 化 学 0 1.5 基 機 化 学 0 1.5 基 職 財 化 学 0 1.5 基 要 理 円 0 1.5 基 要 理 0 1.5 基 要 <t< td=""><td></td><td>英 語 ラ イ テ ィ ン グ 1</td><td>•</td><td></td><td>1</td><td></td></t<> | | 英 語 ラ イ テ ィ ン グ 1 | • | | 1 | |
| 医 工 薬 連 環 科 学 ○ 1.5 有 機 化 学 2 ● 1.5 有 機 化 学 3 ● 1.5 有 機 ス ペ ク ト ル 解 析 学 ● 1.5 物 理 化 学 2 ● 1.5 物 理 化 学 3 ● 1.5 分 析 化 学 2 ● 1.5 生 化 学 3 ● 1.5 性 地 学 ● 1.5 世 地 | | 英 語 ラ イ テ ィ ン グ 2 | | • | 1 | |
| 医 工 薬 連 環 科 学 ○ 1.5 有 機 化 学 2 ● 1.5 有 機 化 学 3 ● 1.5 有 機 ス ベ ク ト ル 解 析 学 ● 1.5 物 理 化 学 2 ● 1.5 物 理 化 学 3 ● 1.5 分 析 化 学 2 ● 1.5 生 化 学 3 ● 1.5 性 化 学 3 ● 1.5 世 地 学 ● 1.5 世 物 無 機 化 学 ● 1.5 生 物 無 機 化 学 ● 1.5 本 | | 心 理 社 会 | | • | 1.5 | |
| | | | 0 | | 1.5 | |
| 基礎藥學科目 他 学 3 ● 1.5 物理 化 学 2 ● 1.5 物理 化 学 2 ● 1.5 分析 化 学 2 ● 1.5 生 化 学 2 ● 1.5 生 化 学 2 ● 1.5 性 化 学 3 ● 1.5 生 化 学 2 ● 1.5 性 化 学 0 1.5 世 物無機 機化 学 1.5 生 物無機 化 学 1.5 生 物無機 化 学 1.5 要用 大 大 少 1.5 要用 大 大 1.5 1.5 要素 理 中 1.5 1.5 要素 財 中 1.5 1.5 要素 財 中 1.5 1.5 要素 財 中 | | | • | | 1.5 | |
| 有機スペクトル解析学 | | | | | | |
| The part of th | | | | | | _ |
| 基 物 理 化 学 3 ● 1.5 分 析 化 学 2 ● 1.5 生 化 学 2 ● 1.5 機 能 形 壁 0 1.5 生 物 無 機 化 学 ● 1.5 生 物 無 機 化 学 ● 1.5 基 理 英 1 ● 1.5 下 要 要 1 ● 1.5 下 要 要 9 1 ● 1.5 下 要 要 9 1 ● 1.5 中 中 0 1.5 ● 1.5 ● 1.5 中 中 0 1.5 ● 1.5 ● 1.5 ● 1.5 ● 1.5 ● ● 1.5 ● 1.5 ● ● 1.5 ● ● 1.5 ● ● 1.5 ● | | | | | | |
| 生 化 学 3 ● 1.5 微 生 物 学 ● 1.5 機 能 形 態 学 2 ● 1.5 生 物 無 機 化 学 ● 1.5 生 物 無 力 0 1.5 薬 用 天 大 ● 1.5 素 理 学 1 ● 1.5 素 理 学 1 ● 1.5 薬 期 労 1 ● 1.5 薬 物 治 療 学 1 1.5 薬 物 治 療 学 1 1.5 薬 物 治 療 学 1 1.5 薬 物 治 療 学 2 1.5 薬 物 治 か 1 1.5 薬 物 治 か 1.5 ※ 物 治 <t< td=""><td>基</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></t<> | 基 | | | | | |
| 生 化 学 3 ● 1.5 微 生 物 学 ● 1.5 機 能 形 態 学 2 ● 1.5 生 物 無 機 化 学 ● 1.5 生 物 無 力 0 1.5 薬 用 天 大 ● 1.5 素 理 学 1 ● 1.5 素 理 学 1 ● 1.5 薬 期 労 1 ● 1.5 薬 物 治 療 学 1 1.5 薬 物 治 療 学 1 1.5 薬 物 治 療 学 1 1.5 薬 物 治 療 学 2 1.5 薬 物 治 か 1 1.5 薬 物 治 か 1.5 ※ 物 治 <t< td=""><td>薬</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></t<> | 薬 | | | | | |
| 生 化 学 3 ● 1.5 微 生 物 学 ● 1.5 機 能 形 態 学 2 ● 1.5 生 物 無 機 化 学 ● 1.5 生 物 無 力 0 1.5 薬 用 天 大 ● 1.5 素 理 学 1 ● 1.5 素 理 学 1 ● 1.5 薬 期 労 1 ● 1.5 薬 物 治 療 学 1 1.5 薬 物 治 療 学 1 1.5 薬 物 治 療 学 1 1.5 薬 物 治 療 学 2 1.5 薬 物 治 か 1 1.5 薬 物 治 か 1.5 ※ 物 治 <t< td=""><td>学科</td><td></td><td>_</td><td></td><td></td><td></td></t<> | 学科 | | _ | | | |
| 微 生 物 学 ● 1.5 機 能 形 態 学 2 ● 1.5 生 物 無 機 化 学 ● 1.5 生 物 無 機 化 学 ● 1.5 薬 用 天 然 物 化 学 1.5 薬 用 天 財 ● 1.5 素 財 財 申 1.5 ま 財 財 申 1.5 ま 財 財 申 1.5 ま 財 申 1.5 < | I | | | | | |
| 機 能 形 態 学 2 ● 1.5 生 物 無 機 化 学 ● 1.5 応用 基 礎 漢 方 薬 学 ● 1.5 薬 用 天 然 物 化 学 1 ● 1.5 病 原 微 生 物 学 ● 1.5 病 原 微 生 物 学 ● 1.5 医療薬学科目 ● 1.5 薬 理 学 1 ● 1.5 葉 物 治 療 学 1 ● 1.5 薬 物 治 療 学 2 ● 1.5 薬 物 治 療 学 2 ● 1.5 薬 物 治 療 学 2 ● 1.5 ※ 物 治 療 学 2 ● 1.5 ※ 物 治 療 学 2 ● 1.5 ※ 方・生 薬 学 実 習 ● 0.5 分 析 化 学 実 習 ● 1 | | | | | | |
| 生物無機化学● 1.5 応用薬学科目 基礎漢方薬学 1.5 薬用天然物化学 1.5 病原生薬学 1 1.5 病原生薬学 1 1.5 医療薬学科目 1 1.5 生物薬剤学 1 1.5 生物薬剤学 1 1.5 薬物治療学 1 1.5 薬物治療学 2 1.5 薬物治療学 2 1.5 薬物治療学 2 0.5 分析化学実習 0 物理·放射化学実習 1 | | | | | | |
| 応用業学科目 基 健 漢 方 薬 学 ● 1.5 南 生 薬 学 1 ● 1.5 病 原 微 生 物 学 ● 1.5 病 原 微 生 物 学 ● 1.5 疾薬 理 学 1 ● 1.5 生 物 薬 剤 学 1 ● 1.5 葉 物 治 療 学 1 ● 1.5 薬 物 治 療 学 2 ● 1.5 ※ 方・生 薬 学 実 習 ● 1.5 物 理・放 射 化 学 実 習 ● 1 | | | | | | |
| 開薬 菓 用 天 然 物 化 学 1.5 衛 生 薬 学 1 1.5 病 原 生 物 学 1.5 医療薬 里 学 1 1.5 生 物 薬 剤 学 1 1.5 薬 物 治 療 学 1 1.5 薬 物 治 療 学 2 1.5 薬 方 生 薬 学 2 0.5 テ 分 折 化 学 実 習 1 物 理 放 射 化 学 要 1 | -1- | | | | | |
| 医療薬 理 学 1 ● 1.5 生 物 薬 剤 学 1 ● 1.5 薬 物 治 療 学 1 ● 1.5 薬 物 治 療 学 2 ● 1.5 薬 方 生 薬 学 2 ● 0.5 テ 分 析 化 学 実 習 ● 1 物 理 放 射 化 学 実 習 ● 1 | 心用 | | | | | |
| 医療薬 理 学 1 ● 1.5 生 物 薬 剤 学 1 ● 1.5 薬 物 治 療 学 1 ● 1.5 薬 物 治 療 学 2 ● 1.5 薬 方 生 薬 学 2 ● 0.5 テ 分 析 化 学 実 習 ● 1 物 理 放 射 化 学 実 習 ● 1 | 薬 | | | | | - |
| 医療薬 理 学 1 ● 1.5 生 物 薬 剤 学 1 ● 1.5 薬 物 治 療 学 1 ● 1.5 薬 物 治 療 学 2 ● 1.5 薬 方 生 薬 学 2 ● 0.5 テ 分 析 化 学 実 習 ● 1 物 理 放 射 化 学 実 習 ● 1 | 科 | | | - | | |
| 漢方·生薬学実習 ● 0.5 実習 ● 1 物理·放射化学実習 ● 1 | | | | • | | |
| 漢方·生薬学実習 ● 0.5 実習 ● 1 物理·放射化学実習 ● 1 | 医療 | | | _ | | |
| 漢方·生薬学実習 ● 0.5 実習 ● 1 物理·放射化学実習 ● 1 | 薬 | | | • | | |
| 漢方·生薬学実習 ● 0.5 実習 ● 1 物理·放射化学実習 ● 1 | 学科 | | • | | 1.5 | |
| 実習 分析 化学 実習 ● 1 物理·放射化学 大変 1 | Ĭ | 薬 物 治 療 学 2 | | | 1.5 | |
| 習 物 理 · 放 射 化 学 実 習 ● 1 | | 漢 方 · 生 薬 学 実 習 | | • | 0.5 | |
| | 実 | 分 析 化 学 実 習 | • | | 1 | |
| 生 物 学 実 習 ● 1 | 習 | 物 理 · 放 射 化 学 実 習 | | • | 1 | |
| | | 生 物 学 実 習 | • | | 1 | |

| | | | | | | | | | (HZ1-1) |
|--------|---|-------|----------|------|----|-----|--------|-----|---------|
| 区分 | | | 授業科目 | 1 | | 3 4 | 3年次 単位 | | 備 考 |
| | | | 又未行上 | 1 | | 前期 | 後期 | 中心 | //H |
| 基 | 異 | 文 化 | 言 語 | 演習 | 1 | | | 1 | ●:必修科目 |
| 基礎教育科目 | 異 | 文 化 | 言 語 | 演習 | 2 | | | 1 | ○:選択科目 |
| 育科 | コ | 3 2 = | ・ケ | ー ショ | ョン | • | | 1.5 | |
| | 医 | 療 | | ٤ | 法 | | • | 1 | |
| 基 | 有 | 機 | 化 | 学 | 4 | • | | 1.5 | |
| 基礎工業学 | 放 | 射 | | 化 | 学 | | | 1.5 | |
| 一一学 | 免 | | 疫 | | 学 | | • | 1.5 | |
| | 医 | 療 | 統 | 計 | 学 | | • | 1 | |
| | 薬 | 用 天 | 然 物 | 化学 | 2 | • | | 1.5 | |
| | 衛 | 生 | 薬 | 学 | 2 | • | | 1.5 | |
| 17. | 衛 | 生 | 薬 | 学 | 3 | • | | 1.5 | |
| 応用薬学科目 | 衛 | 生 | 薬 | 学 | 4 | | • | 1.5 | |
| 薬 | 分 | 子 細 | 胞 | 生 物 | 学 | • | | 1.5 | |
| 科 | ゲ |) 4 | 4 3 | 医 科 | 学 | • | | 1.5 | |
| | 応 | 用 | 分 | 析 | 学 | • | | 1.5 | |
| | 応 | 用力 | 文 身 | 村 化 | 学 | | 0 | 1 | |
| | 物 | 理 | 薬 | 剤 | 学 | • | | 1.5 | |
| | 合 | 成 | | 化 | 学 | | • | 1.5 | |
| | 病 | 能 | 生 | 化 | 学 | | • | 1.5 | |
| | 薬 | 理 | | 学 | 2 | • | | 1.5 | |
| F | 薬 | 理 | | 学 | 3 | | • | 1.5 | |
| 医 療 | 製 | | 剤 | | 学 | | • | 1.5 | |
| 薬 | 生 | 物 | 薬 剤 | 割 学 | 2 | • | | 1.5 | |
| 医療薬学科目 | 薬 | 物動 | 態 | 解 析 | 学 | | • | 1.5 | |
| | 薬 | 物 | 台 | 寮 学 | 3 | • | | 1.5 | |
| | 薬 | 物 | 台 | 寮 学 | 4 | | • | 1.5 | |
| | 医 | 薬 | ii 1 | 青 報 | 学 | | • | 0.5 | |
| | 有 | 機 亻 | 上 章 | 学 実 | 習 | • | | 1 | |
| | 生 | 物和 | ¥ 4 | 学 実 | 習 | • | | 1 | |
| 実習 | 衛 | 生 導 | 薬 | 学 実 | 習 | | • | 1 | |
| | 薬 | 理 | 学 | 実 | 習 | | • | 1 | |
| | 薬 | 剤 | 学 | 実 | 習 | | • | 1 | |
| | | | | | | | | | |

| | | 薬学科 薬科学科 | | 科 | NII. | | | |
|------------|---------------|------------|---------|-----|------------|----|-----|------------------------|
| 区分 | 授業科目 | 前期 | 後期 | 単位 | 前期 | 後期 | 単位 | 備考 |
| | 薬 学 英 語 | • | | 1 | | | | ●:必修科目 |
| | 生 体 分 子 機 能 学 | | | | | | 1.5 | 〇:選択科目 |
| <u>-</u> - | 生物物理化学 | 0 | | 1.5 | \bigcirc | | 1.5 | *選択科目は同時間に複数科目開講する |
| 川用 | 分 子 設 計 学 | | | | • | | 1.5 | ことがある |
| 応用薬学科目 | 薬 品 合 成 化 学 | 0 | | 1.5 | 0 | | 1.5 | |
| 科 | 医 薬 品 化 学 | | | | 0 | | 1.5 | |
| Н | 医薬品化学1 | • | | 1.5 | | | | |
| | 医薬品化学2 | | • | 1 | | | | |
| | 薬事関連法・制度 | • | | 1.5 | | | | |
| | 薬 理 学 4 | | | 1.5 | \circ | | 1.5 | |
| | 臨 床 薬 物 動 態 学 | | | 1 | | | | |
| | アドバンスト薬物治療学1 | | 0 | 1 | | | | |
| | 医療薬剤学 | | | 1.5 | | | | |
| | 個 別 化 医療 | | • | 1 | | | | |
| | コミュニティファーマシー | | | 1.5 | | | | |
| 医 | 医 薬 品 安 全 性 学 | | | 1 | | | | |
| 医療薬学科目 | 医 薬 品 情 報 演 習 | | | 0.5 | | | | |
| 学科 | 臨 床 栄 養 学 | 0 | | 1 | | | | |
| 目 | 臨 床 感 染 症 学 | 0 | | 1 | | | | |
| | 病態・薬物治療学演習 | 0 | | 1 | | | | |
| | 生 命 医 療 倫 理 | • | | 1.5 | | | | |
| | 制 度 経 済 | | | 1.5 | | | | |
| | 薬 学 基 礎 演 習 | | | 0.5 | | | | |
| | 臨 床 化 学 | | \circ | 1 | | | | |
| | 臨 床 生 理 学 | | 0 | 1 | | | | |
| | 臨床導入学習1 | | | 4 | | | | |
| 盘 | 臨床導入学習2 | | • | 1 | | | | |
| 実習 | 特別演習・実習(前期) | | | | • | | 5 | |
| | 特別演習・実習(後期) | | | | | • | 6 | ※2 薬学科の特別演習・実習は4年次前期か |
| | 特別演習・実習※2 | | | | | | | ら6年次前期の期間で行い、18単位取得する。 |

(H27-1)

| 豆八 | | 授業科目 | | | | | 薬学科 | | | 薬学科 | | | |
|----|-------|------|----------------|----|----|----|-----|----|------------|-----|--|----|-----------------------|
| 区分 | | 授業科日 | | | 前期 | 後期 | 単位 | 備考 | | | | | |
| | 病 | | 院 | 実 | | 務 | | 実 | 習 | | | 10 | ●:必修科目 |
| 実習 | 薬 | | 局 | 実 | | 務 | | 実 | 習 | | | 10 | 〇:選択科目 |
| 習 | Helt. | | \ - | সস | | 実 | সস | | v 0 | | | | ※2 特別演習・実習は4年次前期から6年次 |
| | 特 | 別 | 演 | 習 | • | 夫 | 習 | | ※ 2 | • | | | 前期の期間で行い、18単位取得する。 |

6年次科目配当表

| БД | 松坐打 口 | 薬学科 | £1112 — 177. |
|--------|---------------|----------|---|
| 区分 | 授業科目 | 前期 後期 単位 | |
| 学科目 | 薬 局 方 総 論 | • 1 | ●:必修科目 |
| 計 用 | 先 端 分 子 医 科 学 | 0.5 | ○:選択科目 |
| | アドバンスト薬物治療学2 | 0.5 | *選択科目は同時間に複数科目開講する |
| | アドバンスト薬物治療学3 | 0.5 | ことがある |
| | 医薬品情報評価学 | • 1 | |
| 医 | 医療政策論 | 0.5 | |
| 療薬 | 医療倫理論 | 0.5 | |
| 医療薬学科目 | 医療情報学 | 0.5 | |
| | 漢 方 医 学 概 論 | 0.5 | |
| | レギュラトリーサイエンス | 0.5 | |
| | 創 薬 薬 理 学 | 0.5 | |
| | 薬 学 総 合 演 習 | • 3 | |
| 実習 | 特別演習・実習 ※2 | • 18 | ※2 特別演習・実習は4年次前期から6年次 前期の期間で行い、18単位取得する。 |

文学の世界(教養)

Introduction to Literature

| | 指導教員 | 年次・期間 | 単位 | 選必区分 |
|---|------|--------|----|------|
| 森 | 雅子 | 1年次・前期 | 1 | 選択 |

・授業の目的と概要

この授業ではとくに中華民国期(1912~49年)の文学を中心にとりあげる。近代の中国の知識人たちが西洋との接触のなかでなにを感じ、なにが変わり、そしてそれをどのように文学に昇華していき現代に繋がっているのか。いくつかのテーマに分けて、現代の中国事情を絡めながら、およそ100年前からの中国の知識人や作家による作品について述べ、考察する。

・一般目標(GIO)

外国の言語・芸術・文学に興味を持ち、それらを学ぶことで異文化理解を深める。 また、新しい視点を通して日本の社会・文化をも見つめなおすことができる。

・授業の方法

毎回のテーマに沿った講義形式。

5回程度、授業内に授業内容に関するミニッツペーパーを提出してもらう。

・準備学習や授業に対する心構え

中国文化・社会に興味を持って授業に臨むこと。

・オフィス・アワー

毎回の授業終了後。

・成績評価法

平常点50% (出席・ミニッツペーパー) 期末レポート50%

・教科書

なし

・参考書

授業中に適宜指示する。

| 0 | 項目 | 到達目標(SBO s)・授業内容 |
|----|--------------------------|--|
| 1 | はじめに~中国について (ことば・国・ひとびと) | ・ひとの価値観の多様性が、文化・習慣の違いから生まれ |
| 2 | 中国現代文学のなりたち~表現と思想の改革 | ることを実例を挙げて説明できる。 |
| 3 | 恋愛と結婚 | ・言語・文化・文学などを学ぶことによって外国と日本の 文化について比較できる。 |
| 4 | 「髪」と「足」にまつわる話 | ・文化・文学に幅広く興味を持ち、その価値について討議 |
| 5 | 現代中国を知る① | する。 |
| 6 | 「家」について | |
| 7 | ふるさと | |
| 8 | 北京と上海 | |
| 9 | 現代中国を知る② | |
| 10 | 日本文学と中国文学 | |

[・] 受講者数・進度によっては変更が生ずる可能性がある。

歴史と社会(教養)

Introduction to History

| | 指導教員 | 年次・期間 | 単位 | 選必区分 |
|----|------|--------|----|------|
| 宗前 | 清貞 | 1年次・前期 | 1 | 選択 |

・授業の目的と概要

政治制度や経済システムは、時間をかけ、試行錯誤を繰り返して形成されていく。

現時点で見れば合理的な仕組みは、構築当初はむしろ非合理的な仕組みであった場合もある。

特に医療に関係する制度は、世紀単位の長期で見ても、数十年単位の中期で見ても、変化が非常に激しい制度だった。

この講義を通じて、広義の福祉国家(国民の社会生活に国家が積極的に関与する体制)が形成されてきた経緯を理解し、また、国際的な比較の文脈にわが国の制度を位置づける視野を養成することを目的としている。

・一般目標(GIO)

西洋と日本の歴史的背景を正確に理解した上で、福祉国家の形成と発展の概要を語ることができる。 また、現代において発生している医療福祉問題について、歴史的な視野から問題を把握することができる。

・到達目標(SBO s)

- 1. 日本社会の成り立ちについて、政治、経済、歴史、社会学などの観点から説明できる。
- 2. 日本の国際社会における位置づけを、政治、経済、地理、歴史などの観点から説明できる。
- 3. 医療制度と福祉国家の関係について、政治や歴史の観点から説明できる。

・授業の方法

毎回、テーマに沿って講義を行う。時間の余裕があり、さらに適切な素材があれば映像資料を用いた説明も実施する。

・準備学習や授業に対する心構え

毎回の講義内で学んだことを確実に身につけていくこと。

加えて理解した内容の要点を適切に説明出来るように心がけてほしい。

コメントシートと期末試験はそうした能力が伸びているかどうかを中心に判定します。

・オフィス・アワー

每週火曜日、水曜日12:00-15:00。研究室。

・成績評価法

期末試験40%、コメントシート60% (15点×4回)。

なおコメントシートで充分な修学の成果が認められたものは期末試験を免除する。

・教科書

指定しない

・参考書

講義の中で適宜指示する。

| | 項目 | 到達目標(SBO s)・授業内容 |
|----|-------------|---------------------|
| | 【第一部 世界史】 | |
| 1 | 国家の成り立ち | 裁判、秩序、徴税:統一権力の成立 |
| 2 | 近代国家と世界システム | 国際政治と国民国家 |
| 3 | 福祉国家の端緒 | 近世と近代の救貧対策 |
| 4 | 資本主義と社会主義 | 経済発展と格差の問題 |
| 5 | 戦争と福祉 | 戦争の大規模化と福祉国家の関係 |
| 6 | 大きな政府と福祉 | ニューディール後のアメリカ、そして北欧 |
| | 【第二部 日本史】 | |
| 7 | 日本の社会政策 | 近代日本の素描:農村、工場、富国強兵 |
| 8 | 戦中期の福祉国家化 | 公衆衛生と医療の社会化 |
| 9 | 経済成長と公害 | 高度経済成長期の状況と課題 |
| 10 | 少子高齢化の時代 | 新たな政策課題とその対応 |

法と社会(教養)

Introduction to Law

| | 指導教員 | 年次・期間 | 単位 | 選必区分 |
|----|------|--------|----|------|
| 小野 | 博司 | 1年次・前期 | 1 | 選択 |

・授業の目的と概要

現在、私たちの社会は、主にヨーロッパで形成された「近代法」という法に関する考え方を基に、法制度を形成し運用しています。この講義では、受講生の皆さんが近代法の基本的な考え方を理解し、現在の私たちの社会の法制度について基礎的知識を身に付けることを目的とします。講義では、最初に近代法の基本構造および成り立ちについて、次に現在の法制度について説明します。

・一般目標(GIO)

近代法の基本的な考え方を理解し、それに基づく現在の法制度についての基礎的知識を身に付ける。

・到達目標(SBO s)

- 1. 法と社会との関係を説明することができる。
- 2. 近代法の基本的な考え方を説明することができる。
- 3. 現在の法制度の概要を説明することができる。

・授業の方法

毎回レジュメを配付し、講義をします。

・準備学習や授業に対する心構え

考え方や知識を「自分のもの」にするためには、分からない点は、まずは自ら書籍を読んで調べるという姿勢が必要だと思います。

・オフィス・アワー

質問は、講義終了後に受け付けます。

・成績評価法

出席(20点)および小テスト・レポート(80点)によって評価します。

• 教科書

使用しません。

・参考書

授業の中で適宜指示します。

| | 項目 | 到達目標(SBO s)・授業内容 |
|----|-----------------|--------------------------|
| 1 | 「良き法律家は悪しき隣人」 | 社会と法との関係を説明できる。 |
| 2 | 近代法の基本構造 | 近代法の基本構造を説明できる。 |
| 3 | 近代法の成り立ち | ヨーロッパにおける近代法の成り立ちを説明できる。 |
| 4 | 日本における近代法の継受(1) | 日本における近代法の継受の内容を説明できる。 |
| 5 | 日本における近代法の継受(2) | 日本における近代法の継受の意義を説明できる。 |
| 6 | 現在の法制度(1) | 現在の法制度の基本構造を説明できる。 |
| 7 | 現在の法制度(2) | 民法の基本的な知識を説明できる。 |
| 8 | 現在の法制度(3) | 刑法の基本的な知識を説明できる。 |
| 9 | 現在の法制度(4) | 司法制度の基本的な知識を説明できる。 |
| 10 | 現在の法制度(5) | 司法制度の基本的な知識を説明できる。 |

経済の世界(教養)

Introduction to Economics

| 指導教員 | 年次・期間 | 単位 | 選必区分 |
|--------|--------|----|------|
| 大久保 和宣 | 1年次・前期 | 1 | 選択 |

・授業の目的と概要

分業、専門化、交易によって、われわれの社会は発展してきた。薬の開発や流通に関わることは、個人的な暮らしを成り立たせる活動であると同時に、社会に便益をもたらす活動でもある。この講義では、経済学の学習をつうじて、われわれの社会を成立させている無意識の協力に気づいてもらうことを目的にしている。また、市民として政治的な意思決定をするときに、提案されている政策を評価できるような基礎知識を身につけてもらうことも目的にしている。

・一般目標(GIO)

- (1)経済学の用語に慣れ親しみ、経済学的な思考法を身につける。
- (2) 経済活動をつうじて無意識に社会的な協力が行なわれていることを理解し、経済や社会と自分の生活のむすびつきを感じることができるようになる。
- (3) わが国の経済や社会が閉じられたものでなく、モノや資本の移動あるいはそれらの規制をつうじて、国際経済や国際社会から影響を受けていることを理解する。

・授業の方法

パワーポイントを用いて講義形式で授業を行なう。なお、資料は事前にダウンロードできるよう調整する。初回の授業で詳細について通知する。

・準備学習や授業に対する心構え

講義は独立した話題の単なるオムニバスではなく、前回得た知識を前提にするものになるから、復習は毎回必須である。

・オフィス・アワー

講義終了後の1時間。場所については初回に通知する。

・成績評価法

定期試験80%、小レポート20%の総合評価による。

教科書

教科書は指定しない。ダウンロードした資料を各自でプリントアウトする。

・参考書

『マンキュー入門経済学(第2版)』グレゴリー・マンキュー、東洋経済新報社

『スティグリッツ入門経済学(第4版)』ジョセフ・スティグリッツ、東洋経済新報社

『経済学入門 - 経済学の考え方』 ポール・ヘイン、丸善出版

| | 項目 | 到達目標(SBO s)・授業内容 |
|----|----------------|--|
| 1 | 経済学とはどんな学問か | 経済学の課題を説明できる。経済学の基本概念を説明できる。 |
| 2 | 消費者理論 | 消費者がどのように意思決定を行なうかを説明できる。 |
| 3 | 生産者理論 | 生産者がどのように意思決定を行なうかを説明できる。 |
| 4 | 市場理論 | 市場で価格と取引量がどのように決まるかを説明できる。 |
| 5 | 外部性と公共財 | 個別的に最適な決定と社会的に最適な決定がなぜ乖離するのかを説明で きる。そのような乖離を解消するにはどうすればよいかを議論できる。 |
| 6 | リスクのある選択 | 銀行、証券、保険がなぜ業として成立するのかを説明できる。資産運用 において分散投資がどのように行なわれるのかを説明できる。 |
| 7 | 国富と不平等 | 経済システムのタイプとそれらの特徴を挙げられる。国の豊かさを測る 指標を説明できる。所得分配の不平等を測る指標を説明できる。 |
| 8 | 財市場、金融市場、労働市場 | 「閉じた」経済システムにおいて、国のGDPがどのように決まるのかを説明できる。財市場、金融市場、労働市場がどのようにつながっているのかを説明できる。 |
| 9 | 財政政策、金融政策、労働政策 | 財政政策、金融政策、労働政策がどのように機能するのかを説明できる。 |
| 10 | 貿易と国際資本移動 | 「開いた」経済システムにおける財政政策や金融政策の有効性を評価する ことができる。 |

社会分析の基礎(教養)

Introduction to Sociology

| | 指導教員 | 年次・期間 | 単位 | 選必区分 |
|-------|------|--------|----|------|
| 高橋 顕也 | | 1年次・前期 | 1 | 選択 |

・授業の目的と概要

どんな行為や体験も「社会のなかで」行われる。したがって、一人の社会人として活躍するためには、「自らが置かれている社会的状況について、理解する能力」が必要不可欠である。本講義では、具体的な社会現象の理解を通して、そのような能力をつくっていく知識と見方を身に付けることを目指す。

・一般目標(GIO)

私たちが生活している現代社会で起こる様々な社会現象 - 身近な人間関係からマクロな社会システムまで - について、社会学の言葉や見方を用いて理解できるようになる。また、社会についての多様な捉え方・価値観を知ることを通じて、自身の考え方・価値観を反省的に理解できるようになる。

・到達目標(SBO s)

- ・人の価値観の多様性が、文化・習慣の違いから生まれることを、実例をあげて説明できる。
- ・日本社会の成り立ちについて、社会学の観点から説明できる。
- ・社会制度を学ぶことによって、外国と日本の文化について比較できる。

・授業の方法

毎回のテーマごとに講義形式で進める。受講生からは直接、あるいはコメントシートを通して感想や見解、質疑を求める。また、期末にレポート(2000字程度)の提出を課す。

・準備学習や授業に対する心構え

予習・復習の必要はない。講義内容を鵜呑みにするのではなく、自分なりの疑問や意見を積極的に表明してくれることを望む。

・オフィス・アワー

質問は、講義終了後直接、あるいは講義前後に非常勤講師室にて受け付ける。

・成績評価法

出席およびコメントシート(50%)、期末レポート(50%)

教科書

なし。必要な資料は講義中に配付する。

・参老書

講義中に適宜指示する。

| | 項目 | 到達目標(SBO s)・授業内容 |
|----|--------|-----------------------|
| 1 | 基礎 (1) | 社会科学の人間観と社会観 |
| 2 | 基礎 (2) | 社会学の対象と方法、個人と社会、理解と機能 |
| 3 | 応用(1) | 親密な人間関係(友人・恋愛・結婚・家族) |
| 4 | 応用 (2) | 学校と教育システム、教室の人間関係 |
| 5 | 応用(3) | メディアとコミュニケーション |
| 6 | 応用 (4) | 若者論、現代の文化・アート |
| 7 | 応用 (5) | 科学技術と現代社会におけるリスク |
| 8 | 応用 (6) | 医療と福祉、「健康と病」の知識社会学 |
| 9 | 基礎 (3) | 対面状況での相互行為、人間関係の諸形式 |
| 10 | 基礎 (4) | 役割と組織、専門職の機能 |

[・]実際の授業の進行を反映して、上記の授業内容が一部変更になる場合もあります。

人間と宗教(教養)

Introduction to Religion

| 指導教員 | 年次・期間 | 単位 | 選必区分 |
|------|--------|----|------|
| 鶴真一 | 1年次・後期 | 1 | 選択 |

・授業の目的と概要

古来、宗教はさまざまなかたちで「生・老・病・死」を説明し、人々を時に慰め、時に励ましてきた。科学が発達した現代にあっても、非科学的とされる宗教の「物語」が、生老病死に関しては依然として説得力をもつものとして、その機能が失われてはいない。その意味で、医療に携わる者にとって、宗教的思考や心性を理解することは、一つの「素養」であると言えよう。不合理なものと片づけるのではなく、人々が宗教に意味を見出し、生きる糧を得ているという現実に対する理解を深めることがこの授業の目的である。また、日本人の宗教意識がどのように形成され現在に至っているのかを理解すると同時に、さまざまな宗教の考え方を知ることで、みずからの宗教観を問い直なおすことを目標とする。

・一般目標(GIO)

薬学領域の学習と併行して、人文科学、社会科学および自然科学などを広く学び、知識を獲得し、さまざまな考え方、感じ方に触れ、物事を多角的にみる能力を養う。そして見識ある人間としての基礎を築くために、自分自身についての洞察を深め、生涯にわたって自己研鑚に努める習慣を身につける。

・授業の方法

授業用資料に基づいて講義形式で授業を進めていく。

授業用資料は随時 Universal Passport にアップするので、各自ダウンロードし持参すること。

・準備学習や授業に対する心構え

予習・復習などの準備学習は必要ないが、授業中の「私語」は慎むこと。

・オフィス・アワー

講師室 (A棟1階)

• 成績評価法

レポートによって評価を行う。第一回目の授業で詳しく説明するので、必ず出席すること。

教科書

なし

・参考書

授業中に適宜指示する。

| | 項 目 | 到達目標(SBO s)・授業内容 |
|----|--------------|---------------------------------|
| 1 | ガイダンス | 授業の進め方や評価基準等に関する説明を行う |
| 2 | 「信じること」と「物語」 | 宗教とは何かについて理解する |
| 3 | 日本人の宗教意識 | 日本人の無宗教意識とその背景を理解する |
| 4 | 原始仏教 | インド発祥の諸宗教の世界観と仏陀の教えを理解する |
| 5 | 日本の仏教 | 日本における仏教の変遷を理解する |
| 6 | 仏の系譜 | 如来や菩薩の種類とその信仰について理解する |
| 7 | 記紀神話 | 古代神話を概観し、日本の民俗信仰を理解する |
| 8 | 神道 | 神道の成立と変遷を理解する |
| 9 | 祭りと呪い | 祭りの役割と呪いの意味を理解する |
| 10 | 新宗教 | 日本の主な新宗教を取り上げ、社会変動と宗教のかかわりを理解する |

文化人類学(教養)

Introduction to Cultural Anthropology

| 指導教員 | 年次・期間 | 単位 | 選必区分 |
|-------|--------|----|------|
| 中本 剛二 | 1年次・後期 | 1 | 選択 |

・授業の目的と概要

異なる文化について知ることは、同時に、自分たち自身について知ることでもある。文化人類学のこれまでの方法と理論、成果を学び、様々な文化でのものの見方や考え方を学ぶことを通して、私たちのものの考え方や見方について相対化する。その上で、異文化をルーツに持つ人々との交流・交渉・共存のあり方についての視点や方法、考え方を養うことを目標とする。

・一般目標(GIO)

様々な文化・社会における多様なものの見方・考え方・価値観について理解する。

ものの見方や価値観を形成する環境・文化・社会の力について理解する。

多文化共生社会における文化・社会的状況について理解し、それら状況の対処や取り組みへの姿勢を養う。

・授業の方法

レジュメと資料を配付し、講義形式で進める。必要に応じて視聴覚資料を使用する。受講者からは直接、あるいはリアクション・ペーパーなどで適宜感想や見解を求める。同時に質問や疑問を受け付ける。

・準備学習や授業に対する心構え

受講者各自が自分自身の経験や身近な出来事との関連を考えながら、講義の内容について理解を深めてほしいと考えている。 その意味では本講義は講義室に限られたものではない。またそのような気づきについて、リアクション・ペーパーで可能な限り報告をしてほしい。

・オフィス・アワー

質問がある場合は、講義終了後直接、あるいは講義前後に非常勤講師室にて受け付ける。

• 成績評価法

出席およびリアクション・ペーパーの評価(50%)、期末レポート(50%)

・教科書

必要な資料は配付する

・参考書

講義中に指示する

| | 項目 | 到達目標(SBO s)・授業内容 |
|-------|-----------------|---|
| 1-2 | 「文化」とは・文化人類学の歴史 | 文化人類学の歴史と文化概念、および文化人類学の基本的な知識と理論について 理解する。特に文化相対主義という考え方や、文化における言語と象徴の重要性 について理解する。 |
| 3-4 | 宗教・信仰と世界観 | 未知の事柄や不安、苦悩に人々が対処するための文化的装置としての宗教や信仰 のあり方を理解する。また、科学的・合理的な思考が支配する現代においてもそ の力を失わない宗教・信仰の現代的様相についても考える。 |
| 5-6 | 医療と文化 | 身体と病気、及びその治療について、多様な理解や対処のあり方を理解するとともに、現代医療そのものの文化的側面や多様性を理解する。さらには今日におけるそれらの交渉やコンフリクトのありかたについて考える。 |
| 7-8 | 性・ジェンダー・生殖 | 性や生殖に関する考え方の多様性を理解するとともに、文化・社会において「男らしさ」・「女らしさ」が創られ、確認され、そして再生産されていくものであることを理解する。 |
| 9 -10 | グローバル化の中の文化 | これまでの内容を踏まえた上で、人・モノ・情報の移動がかつてない規模で起こっている今日における文化の状況について理解し、私たち自身を取り巻く環境とそれらに対する視点を養う。さらには文化的背景の異なる人々との交渉や共存のあり方について考える。 |

倫理と社会(教養)

Introduction to Ethics

| 指導教員 | 年次・期間 | 単位 | 選必区分 |
|-------|--------|----|------|
| 阪本 恭子 | 1年次・後期 | 1 | 選択 |

・授業の目的と概要

この授業では、現代社会の子どもの人生の始まりの問題について考えます。社会には、体外受精や代理出産など生殖補助医療に頼って子どもが欲しいと願うひとがいる一方、人工妊娠中絶や赤ちゃんポストによって子どもを手放そうとするひともいます。

人生の始まりを親に望まれる子どもと、親に望まれない子どもがいるのです。さまざまな人生の始まりを持つ子どもたちに関する倫理的問題を、1人の人間、1人の医療人として探究しましょう。

・一般目標(GIO)

生殖補助医療と児童遺棄の倫理的問題に、ひとの命を扱う医療人として取り組みます。いま社会で子どもを巡って起きている出来事に関心を寄せて、自分の意見を持ち、それを表現してください。

・授業の方法

資料やパワーポイントを用いて、何が問題となるかを提示します。一緒に新たな問題を発見して、解決策を考えていきましょう。

・準備学習や授業に対する心構え

日頃から、新聞やテレビ、インターネットなどで、子どもに関する医療・社会問題に注目していてください。 新しい話題提供や問題提起を大いに歓迎します。

・オフィス・アワー

時間帯:在室時の昼休み(12:10~13:00)またはメール(学内メールアドレス)で随時。

場所:研究室 •成績評価法

期末レポート…50%

授業の参加態度(出席、グループディスカッション、小論文)…50%

・教科書

特にありません。

・参考書

授業中に随時紹介します。

| | 項目 | 到達目標(SBO s)・授業内容 | コアカリキュラム番号 |
|----|---------------|--|-------------|
| 1 | 序論 | 倫理とは何か 生命倫理の諸原則について説明できる。 | [A(2)①-2] |
| 2 | 親に望まれる子どもたち① | 生殖補助医療① 科学技術の進歩、社会情勢の変化に伴う生命観の変遷について概説できる。 | [A(2)①-4] |
| 3 | 親に望まれる子どもたち② | 生殖補助医療② 医療の進歩に伴う倫理的問題について説明できる。 | [A(2)2-3] |
| 4 | 親に望まれる子どもたち③ | 生殖補助医療③ 医療倫理に関する規範について概説できる。 | [A(2)2-1] |
| 5 | 親に望まれる子どもたち④ | 生殖補助医療④ 患者の自己決定権とインフォームドコンセントの意義について説明できる。 | [A(2)(3)-3] |
| 6 | 親に望まれない子どもたち① | 人工妊娠中絶と嬰児殺 患者の基本的権利の内容について説明できる。 | [A(2)3-2] |
| 7 | 親に望まれない子どもたち② | 児童遺棄① 患者の価値観、人間性に配慮することの重要性を認識する。 | [A(2)3-1] |
| 8 | 親に望まれない子どもたち③ | 児童遺棄② 知り得た情報の守秘義務と患者等への情報提供の重要性を 理解し、適切な取扱いができる。 | [A(2)(3)-4] |
| 9 | 親に望まれない子どもたち④ | 児童遺棄③ 生命の尊厳について、自らの言葉で説明できる。 | [A(2)①-1] |
| 10 | 総論 | 子どもたちに何を伝えるか 生と死に関わる倫理的問題について討議し、自らの考えを 述べる。 | [A(2)①-3] |

コーチング論(教養)

Introduction to Coaching

| 指導教員 | 年次・ | 期間 | 単位 | 選必区分 |
|-------|------|----|----|------|
| 当麻 成人 | 1年次・ | 後期 | 1 | 選択 |

・授業の目的と概要

トレーニング指導者は、選手の目標達成や競技パフォーマンスの向上に貢献するために様々なアイデアを生み出しトレーニング方法を考える。とはいえ実際の指導現場では、そう簡単にいかないのが現実である。

その原因は、人間(選手)を相手にしていることと現場のトレーニング指導では、知識や技能だけでなく、優れたパーソナリティやコミュニケーション能力など幅広い分野に対しての高い見識が要求されるためである。授業ではいかにして人間関係を充実させていくかをテーマにし、パーソナリティやコミュニケーション能力などの向上を図りたい。

・一般目標(GIO)

- 1. 人の価値観の多様性が、文化・習慣の違いから生まれることを、実例をあげて説明できる。
- 2. 人の行動や心理がいかなる要因によって、どのように決定されるかを説明できる。

・授業の方法

毎回、テーマに沿って講義を行うほか、映像資料を用いた説明や模擬コーチングなども実施する。

・準備学習や授業に対する心構え

受講内容について理解を深めようとする前向きな姿勢で取り組むこと。

・オフィス・アワー

B棟1階 当麻研究室 火曜日16:30~17:30

・成績評価法

授業内で行われる小テストなど。

・教科書

指定しない

・参考書

講義の中で適宜指示する

| | 項目 | 到達目標(SBO s)・授業内容 |
|------|---------------|----------------------------------|
| 1~13 | 自己認識スキル | 日常のさまざまな問題や欲求に対しより建設的かつ効果的に対処するた |
| | ・自己意識 | めに必要な能力をそれぞれの項目を学び理解を深める。 |
| | ・共感性 | |
| | 意思決定スキル | |
| | ・意思決定 | |
| | ・問題解決 | |
| | コミュニケーションスキル | |
| | ・効果的コミュニケーション | |
| | ・対人関係スキル | |
| | 目標設定スキル | |
| | ・創造的思考 | |
| | ・批判的思考 | |
| | ストレスマネジメントスキル | |
| | ・情動への対処 | |
| | ・ストレスへの対処 | |

| スポーツ・運動実習2(教養)

Sports Exercise 2

| 指導教員 | 年次・其 | 朝間 | 単位 | 選必区分 |
|-------|------|----|----|------|
| 当麻 成人 | 1年次・ | 後期 | 1 | 選択 |

・授業の目的と概要

スポーツ・運動は幼少時の経験がある無しにより運動動作がスムースに行えたり、思うように行えなかったりすることは知られている。スポーツ・運動の経験時間があまりなかった人は、そのまま成長していく傾向にありスポーツ・運動を敬遠してしまう事が多いと思われる。とはいえ身体運動は健康の保持増進のために必要であることも認知されている。

授業ではスポーツ・運動に馴染めるようにさまざまな種目を経験する。生活に積極的にスポーツ・運動を取り入れる習慣を 身につけていただきたい。身体を動かすことの楽しさ、身体を動かすことの大切さを学ぶことは心身ともに豊かに成長するこ とにつながる事を理解する

・一般目標(GIO)

基礎体力の向上を図。行われる種目の技能、技術の獲得。

・授業の方法

学内外のスポーツ施設を使用しスポーツ・運動実習1で行われなかった種目などを行う。

・準備学習や授業に対する心構え

規則正しい生活を送る。(睡眠不足などによる注意不足・散漫な態度などは怪我や大きな事故につながることが多いため十分な休養をとり参加すること)

・オフィス・アワー

B棟1階 当麻研究室 水曜日16:30~17:00

・成績評価法

身体活動量の確保、技能の向上(50%)

努力・意欲の度合い、コミュニケーションの度合い、マナー・礼節の実践(50%)

| | 項目 | 到達目標(SBO s)・授業内容 |
|------|-----------|--|
| 1 | オリエンテーション | 授業内容の具体的な説明および諸注意など。 |
| 2~10 | 卓球、ゴルフなど | 基本的技術を獲得した後、ルール説明後主にゲームを行い身体活動量の 獲得と技能の向上を図る。 |

数理論理学(教養)

Introduction to Mathematical Logic

| | 指導教員 | 年次・期間 | 単位 | 選必区分 |
|----|------|--------|----|------|
| 永田 | 誠 | 1年次・後期 | 1 | 選択 |

・授業の目的と概要

物事を論理的に理解・考察・表現するということは、日々の活動に欠かせない素養のひとつです。本科目では論理学の代表的な分野である数理論理学の初歩を学びます。

記号を用いる数理論理学は体系的であるため、易しく学べるものであり、初歩の学習段階では当たり前のことを論じているように感じられるかもしれません。

しかしその当たり前とは、どのような意味なのかと問いかける姿勢の習得も、論理学を学ぶ理由のひとつになるでしょう。 数理論理学の初歩の学習を通じて、論理的思考に関する知識と技能を習得して下さい。

・一般目標(GIO)

人文科学と自然科学の交差領域である論理学を通じて物事を多角的にみる能力を養う。また、医療・研究の現場や現代社会 生活に必要不可欠な論理性を習得する。

・授業の方法

テーマに沿って講義をします。資料を用いた説明や演習等も適宜行います。

・準備学習や授業に対する心構え

講義の前提となる科目は特にありません。自ら考える姿勢で受講し、毎回の授業に対し十分な復習を行って下さい。

・オフィス・アワー

在室時(午後5時迄)、B棟1階個人研究室。

• 成績評価法

平常点(30%)と授業中の小テスト・リアクションペーパー(70%)等を用いて総合的に評価します。

教科重

特に指定しない。

・参考書

『論理学をつくる』戸田山和久著 名古屋大学出版会 『論理学』野矢茂樹著 東京大学出版会

| | 項目 | 到達目標(SBO s)・授業内容 |
|----|----------|-----------------------------------|
| 1 | 論理学とは | 論理学とは何かを概説できる。 |
| 2 | 命題と真偽 | 命題と真偽の関係を理解する。 |
| 3 | 論理学の言語 | 論理学における言語の概略を理解する。 |
| 4 | 真理表 | 真理表を理解し、簡単な真理表を書くことができる。 |
| 5 | 真理値解析の応用 | 簡単な真理値解析ができる。「正直者と嘘つき」問題に応用することがで |
| | | きる。 |
| 6 | 論証の妥当性 | 論証の妥当性の概略を理解する。 |
| 7 | 命題論理の構文論 | 構文論の概略を理解する。 |
| 8 | 述語論理 | 述語論理の概略を理解する。 |
| 9 | 述語論理の構文論 | 述語論理の構文論を理解する。 |
| 10 | 関連する話題 | 論理学に関連する話題を理解する。 |

数学 1 Mathematics 1

| 指導教員 | 年次・期間 | 単位 | 選必区分 |
|------|--------|----|------|
| 永田 誠 | 1年次・前期 | 1 | 必修 |

・授業の目的と概要

自然科学は数学を用いて理解、考察、表現されています。すなわち数学は自然科学における言語の役割を担っており、薬学を学ぶ上でもリテラシーとして不可欠なものです。

「数学 1」は微分学を中心に、数学を得意としない学生にも下記目標が達成されるよう、丁寧な解説で授業を進めていきます。 数学は言語であるが故に「慣れ」が必要です。積極的に手を動かして、つまり演習問題を数多く解くことによって、数学を身につけて下さい。

・一般目標(GIO)

薬学を学ぶ上で基礎となる数学に関する基本的知識を習得し、それらを薬学領域で応用するための基本的技能を身につける。

・授業の方法

教科書に沿って講義をします。レポートや小テスト等を適宜行います。

・準備学習や授業に対する心構え

本科目の準備学習(前提となる知識)は「高等学校教科の数学 $I \cdot II \cdot A \cdot B$ 」です。各回の授業に対し 2 倍程度の時間の予習復習が必要です。

抽象的理解だけではなく、具体的な問題が解けるよう、各授業後には復習(教科書の演習問題等すべてを解く)と予習を十分に行って下さい。

・オフィス・アワー

在室時(午後5時迄)、B棟1階個人研究室。

• 成績評価法

出席やレポート等の平常点(20%)と定期試験等(80%)を用いて総合的に評価します。

教科書

『薬学のための微分と積分』 土井勝著 日科技連出版社

・参考書

『科学技術者のための基礎数学』矢野健太郎、石原繁著 裳華房

| | 項目 | 到達目標(SBO s)・授業内容 |
|----|---------------------|----------------------------------|
| 1 | 基礎的な概念の復習、初等関数 | 関数の概念を理解し、説明できる。初等関数を用いた計算ができる。 |
| 2 | 関数の極限、連続関数、中間値の定理 | 関数の極限と連続性の基本概念を理解し、説明できる。 |
| 3 | 合成関数、逆関数、媒介変数表示 | 様々な関数の基本概念を理解し、説明できる。 |
| 4 | 微分の諸定義、基本性質 | 微分法の概念を理解し、説明できる。 |
| 5 | 合成関数、逆関数、媒介変数表示の微分法 | 微分法の様々な公式を用いた計算ができる。 |
| 6 | 初等関数の微分、対数微分法 | 初等関数の微分、対数微分法を理解し、それを用いた計算ができる。 |
| 7 | 高階微分の定義、ライプニッツの公式 | 高階微分の概念を理解し、計算ができる。 |
| 8 | 平均値の定理、ロピタルの定理 | 平均値の定理、ロピタルの定理を理解し、それを用いた計算ができる。 |
| 9 | テーラーの定理 | テーラーの定理を理解し、それを用いた計算ができる。 |
| 10 | テーラー展開とその応用 | テーラー展開を理解し、それを用いた計算ができる。 |
| 11 | 関数の増減と極値 | 関数の増減と極値の概念を理解し、計算ができる。 |
| 12 | 多変数関数の定義、極限、連続性 | 多変数関数の諸概念を理解し、説明できる。 |
| 13 | 偏微分の諸定義、偏微分の計算 | 偏微分法の概念を理解し、それを用いた計算ができる。 |

数学 1

| | 指導教員 | 年次・期間 | 単位 | 選必区分 |
|---|------|--------|----|------|
| 吉 | 岡興一 | 1年次・前期 | 1 | 必修 |

・授業の目的と概要

数学は、身の回りの自然現象をあらわす基礎となるものです。薬学生にとって大切なのは、まず数学の言葉で内容を理解・表現できることであり、丁寧に説明をおこなっていきます。

次に、実用上の計算ができるようになることです。そのためには、授業を受けるだけではなく、自分の手で問題を解くことにより身につけていって下さい。

・一般目標(GIO)

薬学を学ぶ上で基礎となる数学に関する基本的知識を修得し、それらを薬学領域で応用するための基本的技能を身につける。

・授業の方法

教科書に沿って講義形式で説明します。レポートや小テスト等を適宜おこないます。

・準備学習や授業に対する心構え

前提知識は、高校の数学Ⅰ、Ⅱ、A、Bの内容です。

数学の力をつけるには、教科書の解説をよく理解するとともに、例題や演習問題をくり返し解くことが重要です。

・オフィス・アワー

在室時、個人研究室。

・成績評価法

出席やレポート等の平常点(20%)と定期試験等(80%)を用いて総合的に評価します。

• 教科書

『薬学のための微分と積分』 土井勝 日科技連出版社

・参考書

『科学技術者のための基礎数学』矢野健太郎、石原繁 裳華房

| | 項目 | 到達目標(SBO s)・授業内容 | |
|----|------------|--|--|
| 1 | 実数、数列と級数 | 実数および数列と級数の基礎事項を理解し、計算できる。 | |
| 2 | 関数の概念と基本関数 | 関数の概念を説明できる。有理、無理、指数、対数、三角の諸関数について計算できる。 | |
| 3 | 関数の極限と連続性 | 関数の極限と連続性を理解し、実際の関数で説明できる。 | |
| 4 | さまざまな関数 | 合成関数、逆関数、逆三角関数について理解し、計算ができる。 | |
| 5 | 微分と導関数 | 微分と導関数について説明でき、実際に計算できる。 | |
| 6 | 初等関数の微分(1) | 合成関数、逆関数、有理・無理関数の導関数を計算できる。 | |
| 7 | 初等関数の微分(2) | 指数、対数、三角関数の導関数を計算できる。 | |
| 8 | 高階の導関数 | 高階の微分を理解し、ライプニッツの公式を用いた計算ができる。 | |
| 9 | 平均値の定理 | 平均値の定理を説明できる。ロピタルの定理を用いて極限値を計算できる。 | |
| 10 | テイラーの定理 | テイラー展開を説明でき、関数の多項式近似に適用できる。 | |
| 11 | 微分の応用と極座標 | 微分を用いて関数の変化を調べることができる。極座標について説明で きる。 | |
| 12 | 多変数関数 | 多変数関数と曲面の概念を説明できる。 | |
| 13 | 偏導関数 | 偏導関数について説明でき、実際に計算できる。 | |

数学 2 Mathematics 2

| 指導教員 | 年次・期間 | 単位 | 選必区分 |
|------|--------|----|------|
| 永田 誠 | 1年次・後期 | 1 | 必修 |

・授業の目的と概要

本科目の目的は「数学1」と同じです。「数学2」では偏微分及び積分と微分方程式を中心に学習します。積分は数学の基本的手段で応用上重要なものであり、さらに微分方程式は薬学を学ぶ上で必須なものの一つです。

「数学1」、「数学2」のゴールはこの微分方程式にあるともいえるでしょう。積分や微分方程式にはいわゆる解法がいくつもあります。それらを使いこなせるよう演習問題を数多く解くことによって理解を深めて下さい。

・一般目標(GIO)

薬学を学ぶ上で基礎となる数学に関する基本的知識を習得し、それらを薬学領域で応用するための基本的技能を身につける。

・授業の方法

教科書に沿って講義をします。レポートや小テスト等を適宜行います。

・準備学習や授業に対する心構え

本科目の準備学習(前提となる知識)は「数学1」です。

「数学1」と同様に、各回の授業に対し2倍程度の時間の予習復習が必要です。抽象的理解だけではなく、具体的な問題が解けるよう、各授業後には復習(教科書の演習問題等すべてを解く)と予習を十分に行って下さい。

・オフィス・アワー

在室時(午後5時迄)、B棟1階個人研究室。

• 成績評価法

出席やレポート等の平常点(20%)と定期試験等(80%)を用いて総合的に評価します。

教科書

『薬学のための微分と積分』 土井勝著 日科技連出版社

・参老書

『科学技術者のための基礎数学』矢野健太郎、石原繁著 裳華房

| | 項目 | 到達目標(SBO s)・授業内容 |
|----|------------------------------|--------------------------------|
| 1 | 接平面と全微分可能、全微分の定義 | 接平面、全微分の概念を理解し、説明できる。 |
| 2 | 合成関数の偏微分、陰関数 | 陰関数の概念を理解し、説明できる。 |
| 3 | 多変数のテーラーの定理とその応用 | 多変数のテーラーの定理を理解し、説明できる。 |
| 4 | 極大と極小、多変数関数の応用 | 多変数関数を応用した計算ができる。 |
| 5 | 原始関数、基本性質 | 不定積分の概念を理解し、それを用いた計算ができる。 |
| 6 | 置換積分法、部分積分法 | 不定積分の公式を用いた計算ができる。 |
| 7 | 有理関数、無理関数の積分 | 様々な関数の積分の計算ができる。 |
| 8 | 定積分の定義、基本定理 | 定積分の概念を理解し、それを用いた計算ができる。 |
| 9 | 定積分の応用 | いくつかの定積分の応用を説明できる。 |
| 10 | 微分方程式の諸定義 | 微分方程式の基本概念を理解し、説明できる。 |
| 11 | 変数分離形とその薬学への応用、一階線形 微分方程式 | 微分方程式の基本的なものを解くことができる。 |
| 12 | 一階線形方程式の薬学への応用 | 微分方程式の簡単な応用について説明できる。 |
| 13 | 二階線形微分方程式 | 二階線形微分方程式の基本概念を理解し、基本的な計算ができる。 |

| 指導教員 | 年次・期間 | 単位 | 選必区分 |
|-------|--------|----|------|
| 吉岡 興一 | 1年次・後期 | 1 | 必修 |

・授業の目的と概要

基本的な考え方は「数学1」と同じです。「数学2」のテーマは、偏微分、積分、微分方程式です。 とくに微分方程式は、薬学を学ぶ上でもっとも重要かつ必要な数学の知識であり、薬学から具体例を引きながら進めます。 数学1と同じく、講義を受けるとともに、問題を自分で解くことにより実用的な能力を身につけて下さい。

一般目標(GIO)

薬学を学ぶ上で基礎となる数学に関する基本的知識を修得し、それらを薬学領域で応用するための基本的技能を身につける。

・授業の方法

教科書に沿って講義形式で説明します。レポートや小テスト等を適宜おこないます。

・準備学習や授業に対する心構え

前提知識は、前期「数学1」の内容です。

数学の力をつけるには、教科書の解説をよく理解するとともに、例題や演習問題をくり返し解くことが重要です。

・オフィス・アワー

在室時、個人研究室。

・成績評価法

出席やレポート等の平常点(20%)と定期試験等(80%)を用いて総合的に評価します。

・教科書

『薬学のための微分と積分』 土井勝 日科技連出版社

・参考書

『科学技術者のための基礎数学』 矢野健太郎、石原繁 裳華房

| | 項目 | 到達目標(SBO s)・授業内容 |
|----|-------------|------------------------------------|
| 1 | 全微分と接平面 | 全微分と接平面を理解し、接平面と全微分の計算ができる。 |
| 2 | 偏導関数の計算法 | 合成関数と陰関数の偏導関数の計算ができる。 |
| 3 | 高階の偏導関数 | 偏微分演算子を理解し、関数に適用できる。テイラーの定理を説明できる。 |
| 4 | 多変数関数の応用 | 極値をとる条件を説明でき、計算ができる。 |
| 5 | 不定積分 | 不定積分を理解し、初等関数の不定積分を求めることができる。 |
| 6 | 不定積分の計算(1) | 置換積分と部分積分を理解し、実際に計算できる。 |
| 7 | 不定積分の計算 (2) | 有理、無理関数、三角関数の不定積分を理解する。 |
| 8 | 定積分の定義と計算法 | 定積分を理解し、計算できる。 |
| 9 | 定積分の応用 | 定積分の応用を説明できる。 |
| 10 | 微分方程式の一般論 | 微分方程式の基礎を説明できる。 |
| 11 | 1階微分方程式(1) | 1 階微分方程式を理解し、薬学の例題に適用できる。 |
| 12 | 1階微分方程式(2) | 微分方程式を応用し、解を求めることができる。 |
| 13 | 2階線形微分方程式 | 2階線形微分方程式を理解し、振動現象に適用できる。 |

物理学 1 Physics 1

| 指導教員 | 年次・期間 | 単位 | 選必区分 |
|-------|--------|----|------|
| 吉岡 興一 | 1年次・前期 | 1 | 必修 |

・授業の目的と概要

物理学は、身の回りのさまざまな自然現象を取り扱う基礎科学です。

この授業では、薬学を学ぶ上で必要となる物理を解説し、知識だけでなく、物理学におけるものの見方や考え方まで養うことを目標とします。授業を受けるとともに、問題を自分で解くことにより実用的な能力を身につけて下さい。

一般目標(GIO)

薬学を学ぶ上で必要な物理学の基礎力を身につけるために、物質および物体間の相互作用などに関する基本的知識を修得する。

・授業の方法

教科書を参考にしながら講義形式で説明します。

・準備学習や授業に対する心構え

物理の予備知識は必要ありませんが、高校数学の基礎や大学で学ぶ数学(とくに微分)は必要です。 自分の頭で考え、自分の手を動かして、理解していくことがとても重要です。

・オフィス・アワー

在室時、個人研究室。

・成績評価法

定期試験90%、平常点10%(出席など)

・教科書

『薬学のための物理学入門』 土井勝 日科技連出版社

| | 項目 | 到達目標(SBO s)・授業内容 | コアカリキュラム番号 |
|----|-------------|---------------------------------------|----------------------|
| 1 | 物理学の目的と基本事項 | 物理学の目的を把握し、単位と次元について理解する。 | (4) ①-1] (4) ①-2] |
| 2 | 力に関する法則 | 力の性質と法則を理解する。 | |
| 3 | 運動の記述(1) | 速度と加速度を理解し、直線運動に適用できる。 | |
| 4 | 運動の記述 (2) | 位置ベクトルを使って速度、加速度の計算ができる。 | |
| 5 | 運動の法則と分析 | 運動の3法則を説明し、色々な運動に適用できる。 | |
| 6 | 運動量 | 運動量と力積を理解する。 | |
| 7 | 角運動量 | 角運動量と力のモーメントを理解する。 | |
| 8 | 仕事 | 仕事の定義を説明でき、実際に計算できる。 | |
| 9 | エネルギー | エネルギーの種類を挙げ、エネルギー保存則を説明できる。 | |
| 10 | 保存力とポテンシャル | 保存力とポテンシャルを理解し、力学的エネルギー保存則 を説明できる。 | |
| 11 | 逆2乗則の力 | 万有引力と静電気力の特徴を理解する。 | |
| 12 | 質点系と剛体 | 質点系の運動法則を理解し、剛体の運動を扱える。 | |
| 13 | 振動 | 単振動、減衰振動などを理解する。 | |

| 指導教員 | 年次・期間 | 単位 | 選必区分 |
|-------|--------|----|------|
| 吉岡 興一 | 1年次・後期 | 1 | 必修 |

・授業の目的と概要

基本的な考え方は「物理学 1」と同じです。「物理学 2」のテーマは、波動、光学、電磁気、量子論です。 自然界のさまざまな現象を学び、それらを物理学の言葉で体系的に理解することによって、薬学を学ぶための基礎力を蓄えます。

一般目標(GIO)

薬学を学ぶ上で必要な物理学の基礎力を身につけるために、物質および物体間の相互作用などに関する基本的知識を修得する。

・授業の方法

教科書を参考にしながら講義形式で説明します。

・準備学習や授業に対する心構え

物理の予備知識は必要ありませんが、高校数学の基礎や大学で学ぶ数学(とくに微分)は必要です。 自分の頭で考え、自分の手を動かして、理解していくことがとても重要です。

・オフィス・アワー

在室時、個人研究室。

・成績評価法

定期試験90%、平常点10%(出席など)

・教科書

『薬学のための物理学入門』 土井勝 日科技連出版社

| | 項目 | 到達目標(SBO s)・授業内容 | コアカリキュラム番号 |
|----|---------------------------------------|-------------------------------------|----------------------|
| 1 | 波の性質 | 波を数式で表し、その性質を説明できる。 | |
| 2 | 反射、屈折、回折 | 波面、反射と屈折、回折を理解する。 | |
| 3 | 波の重ね合わせ、音波 | 重ね合わせの原理を説明できる。音波の性質とドップラー 効果を理解する。 | |
| 4 | 光の性質 | 光の性質や、屈折率、全反射について説明できる。 | |
| 5 | 光の干渉、回折 | ヤングの実験や回折格子を理解する。 | |
| 6 | 電荷と電場・電位 | 電荷と電場の関係を理解する。電場や電位を計算できる。 | [C1(1)①-2] |
| 7 | 7 電荷と電流 電場中での電荷の運動を扱える。電荷と電流の関係を理解する。 | | |
| 8 | 電流と磁場の関係を理解する。磁場の計算ができる。 | | |
| 9 | 導体 | 導体の性質を説明できる。コンデンサーを理解する。 | |
| 10 | 抵抗と電気回路 | 抵抗と電流の関係を理解する。電気回路を計算できる。 | |
| 11 | 電磁誘導の法則を説明できる。 | | |
| 12 | 電磁波の基本性質を把握し、偏光について理解する。 | | |
| 13 | 量子論の基礎 | 粒子性と波動性を理解する。レーザーの原理と特徴を理解する。 | (4) ®-2] (4) ®-3] |

English Listening 1

| 指導教員 | 年次・期間 | 単位 | 選必区分 |
|-------|--------|----|------|
| 神前 陽子 | 1年次・前期 | 1 | 必修 |

・授業の目的と概要

英語の基礎力を固めつつ、基礎的な専門文書の言語使用について導入することを目的とした授業です。 できるだけ英語で授業を行うことでリスニング力の強化も図っていきます。

・一般目標(GIO)

- (1) 基礎的な内容の専門文書を読めるようになる。
- (2) 英語の専門用語の成り立ちを理解し、基本的な英語の専門用語の意味がわかる。
- (3) リスニング力の強化。

・授業の方法

基礎的な内容の専門文書に出てくる表現と科学技術に関する新聞、雑誌等の英語を日本語に訳さずに理解できるように学習します。講読は、ユニットごとに概要、パラグラフリーディング、復習と練習問題という構成になっています。

また、講読は授業の進み具合によってスケジュールを変更することがあります。専門用語に関する接頭辞、接尾辞の小テストが毎回あります。グループでの作業と発表を通じて全員が参加できるような授業です。

・準備学習や授業に対する心構え

授業:グループ学習を通じて積極的に授業に参加すること。

予習と復習:専門用語小テストの範囲については充分に準備してください。講読の予習は一字一句訳すよりも大まかな内容をつかむように務めてください。復習はノートや授業中に配られた資料をていねいに見直してください。

・オフィス・アワー

質問や連絡事項のあるときは、事務の方に取り次いでもらってください。

・成績評価法

定期試験60%、平常点40% (授業参加、小テスト)

教科書

『入門薬学英語』野口ジュディー、神前陽子、籬田智美、山口秀明 講談社サイエンティフィク

| ・投業計 | | |
|------|---------------|--|
| | 項目 | 到達目標(SBO s)・授業内容 |
| 1 | 科目説明、オリエンテー | 専門英語を学ぶ意義、専門英語への取り組み方について説明し、一般文書の読み方と対比させて導 |
| | ション、勧告書講読 | 入を行う。また、グループワークの重要性を説明する。 |
| | | 講読:Unit 1:SunWiseの文書の特徴を理解し、内容を読み取る。 |
| 2 | 専門用語についての説明、 | 専門用語についての説明をする。 |
| | 勧告書講読 | 講読:Unit 1:SunWiseの文書の特徴を理解し、内容を読み取る。 |
| 3 | 専門用語小テスト1回目、 | 専門用語:位置、方向性に関する接頭辞、接尾辞を学習する。 |
| | 勧告書講読 | 講読:Unit 1:SunWiseの文書の特徴を理解し、内容を読み取る。 |
| 4 | 専門用語小テスト2回目、 | 専門用語:現象、時間、消化器系に関する接頭辞、接尾辞を学習する。 |
| | 新聞記事講読 | 講読:Unit 7:Childhood death in Japanの文書の特徴を理解し、内容を読み取る。 |
| 5 | 専門用語小テスト3回目、 | 専門用語:症状病状、病名に関する接頭辞、接尾辞を学習する。 |
| | 新聞記事講読 | 講読:Unit 7:Childhood death in Japanの文書の特徴を理解し、内容を読み取る。 |
| 6 | 専門用語小テスト4回目、 | 専門用語:生物、生体に関する接頭辞、接尾辞を学習する。 |
| | 新聞記事講読 | 講読:Unit 7:Childhood death in Japanの文書の特徴を理解し、内容を読み取る。 |
| 7 | 専門用語小テスト5回目、 | 専門用語:相違、類似、同一性に関する接頭辞、接尾辞を学習する。 |
| | 専門教科書講読 | 講読:Unit 10:Cardiovascular systemの文書の特徴を理解し、内容を読み取る。 |
| 8 | 専門用語小テスト6回目、 | 専門用語:病気、病原に関する接頭辞、接尾辞を学習する。 |
| | 専門教科書講読 | 講読:Unit 10:Cardiovascular systemの文書の特徴を理解し、内容を読み取る。 |
| 9 | 専門用語小テスト7回目、 | 専門用語:薬物に関する接頭辞、接尾辞を学習する。 |
| | 専門教科書講読 | 講読:Unit 10:Cardiovascular systemの文書の特徴を理解し、内容を読み取る。 |
| 10 | 専門用語小テスト8回目、 | 専門用語:時間に関する接頭辞、接尾辞を学習する。講読:Unit 4: Headache(Wiki)の文書の特 |
| | インターネット事典講読 | 徴を理解し、内容を読み取る。 |
| 11 | 専門用語小テスト9回目、 | 専門用語:性質、形状、傾向に関する接頭辞、接尾辞を学習する。 |
| | インターネット事典講読 | 講読:Unit 4:Headache(Wiki)の文書の特徴を理解し、内容を読み取る。 |
| 12 | 専門用語小テスト10回目、 | 専門用語:対立、協調に関する接頭辞、接尾辞を学習する。 |
| | インターネット事典講読 | 講読:Unit 4:Headache(Wiki)の文書の特徴を理解し、内容を読み取る。 |
| 13 | 専門用語小テスト11回目、 | 専門用語:皮膚、粘膜に関する接頭辞、接尾辞を学習する。 |
| | 総復習 | 講読:前期履修範囲を総復習する。 |

| 指導教員 | 年次・期間 | 単位 | 選必区分 |
|-------|--------|----|------|
| 武井 紀子 | 1年次・前期 | 1 | 必修 |

・授業の目的と概要

本授業では、日常生活のさまざまな場面において実践的に英語でコミュニケーションを図るための基礎的な能力を養う。オーストラリアをテーマとした題材を取り上げ、日常会話やインタビューなどの自然な英語を聞き、タスク (e-mail、会話、リポート、ロールプレイなど)を通して発信力の向上を試みる。

・一般目標(GIO)

英語の音声変化(同化、強弱、連結など)に関する基本的知識を習得し、リスニング能力を身につける。

生の英語を聞いて内容を理解し、要約できる。

平易な表現を覚え、自分の考えや主張を述べることができる。

多文化、異文化に関する理解を深める。

・授業の方法

英語の音声に関する説明とリスニング練習およびテキストを中心に行う。 また、学期末に、授業で学んだ内容を参考にグループで発表を行う。

・準備学習や授業に対する心構え

辞書を持参すること。

・オフィス・アワー

授業終了後、非常勤控え室、または教室にお越しください。

・成績評価法

出席 10 % 平常点20% (授業態度、小テスト)、発表 20% 定期試験 50%

教科主

『Australia, Here We come!』 Kumiko T.Sato · Steve Lia · Hirobumi Matsumoto Asahi Press

参老書

適宜プリントを配付する。

| | 項目 | 到達目標(SBO s)・授業内容 |
|----|---------------------------|---|
| 1 | Orientation | 授業に関するガイドラインを説明する。 |
| 2 | Hello, Sydney. Australia! | 家族や友人に出す葉書の表現や形式を学び書けるようになる。 |
| 3 | Street Life | 旅行者と現地在住者の役割を通して道案内のやりとりを行う。 |
| 4 | Public Transport | 友人に旅行したときの様子を適切な表現を用いて事実をありのままに伝えることが できるようになる。 |
| 5 | University Life | 手紙文の書き方を学び、友人に学生生活の様子を伝えることができるようになる。 |
| 6 | Australian Home | 日常生活の様子を適切な表現を用いてe-mailで報告することができるようになる。 |
| 7 | Supermarket-Coles | 店やデパートなどに関する報告を平易な表現を用いてすることができるようになる。 |
| 8 | Daily life | 日常生活に関する調査場面で、相手の話を聞いて理解し、適切に応答することがで きるようになる。 |
| 9 | Leisure Time at the Sea | 身近な場所にある広告のチラシを必要な情報を盛り込んで創作する。 |
| 10 | Leisure Time at the Park | 電話における会話で、質問や依頼などを聞いて適切に応じることができるようになる。 |
| 11 | Australian Family | 大学での生活や余暇の時間の過ごし方などについて、関心のあることについて相手 に質問したり、相手の質問に答えたりすることができる。 |
| 12 | Presentation | 授業で学んだことや経験したことに基づき、各グループで関心のあるテーマを選び、 論理の展開や表現の方法を工夫しながら、事実や意見などを伝える。 |
| 13 | Presentation | 授業で学んだことや経験したことに基づき、各グループで関心のあるテーマを選び、 論理の展開や表現の方法を工夫しながら、事実や意見などを伝える。 |
| 14 | 期末テスト | |

English Listening 1

| 指導教員 | 年次・期間 | 単位 | 選必区分 |
|-------|--------|----|------|
| 浅井 良策 | 1年次・前期 | 1 | 必修 |

・授業の目的と概要

この授業ではナチュラルスピードで流れる英語のニュースの聞き取り練習を通してリスニング能力を育成することが主たる目的である。また、聞き取る内容自体も質と量の点においてある程度の水準を持っているものなので、それが書かれたテキストの本文を精読することによって、語彙力と読解力の強化も図る。

・一般目標(G<u>IO)</u>

- ・音のつながりなどを意識して英語を正確に聞き取り、発音できるようになる。
- ・英語の語彙及び読解力を強化する。

・授業の方法

教科書を2回の授業で1ユニットを終える進度で進めてゆく。全般的な流れとしては、まず、聞き取りの準備段階として本文の内容理解にとって重要な語彙や構文の意味を確認する。次に、DVDやCDを用いて教科書本文にある問題のディクテーションを行う。その後、正誤問題を通して本文の内容を読み取る作業を行うが、その際に文法事項について説明する。最後に、本文にある英文をモデルとした英作文を行い表現力の向上も目指す。

・準備学習や授業に対する心構え

流れてくる英語の音は比較的早く、慣れるまでは聞き取るのが難しいと感じられるかもしれないが、効果が得られるまであ きらめずに何度も根気強く訓練すること。 本文において知らない単語がある場合はその意味を事前に調べておくこと。辞書 は毎回持参すること。

・オフィス・アワー

授業後あるいは昼休みの時間帯に、講師控室において質問を受け付けます。

・成績評価法

定期試験70%、平常点30%(出席、小テスト、授業態度)

・教科書

『ENGLISH FOR THE GLOBAL AGE WITH CNN』Kansai University ASAHI PRESS『VOL.16 (CNN: ビデオで見る世界のニュース (16)』ELT Research Group 朝日出版社

・参考書

特になし

| | 項目 | 到達目標(SBO s)・授業内容 |
|----|----------------------------------|--|
| 1 | Introduction | 英語で簡単な自己紹介を行う。 |
| 2 | Off to a Good Start (本文) | 日本の政治経済に関する語彙を学習し、聞き取れるようになる。 |
| 3 | Off to a Good Start (本文+ 問題) | 省略されている語を意識しながら聞くことを学習する。 |
| 4 | "Royal" Diplomacy (本文) | アメリカの政治経済に関する語彙を学習し、聞き取れるようになる。 |
| 5 | "Royal" Diplomacy (本文+ 問題) | 強調されている語を意識しながら聞くことを学習する。 |
| 6 | Fallout of Another Kind (本文) | 災害や環境問題に関する語彙を学習し、聞き取れるようになる。 |
| 7 | Fallout of Another Kind (本文+ 問題) | 挿入語句の前後や関係代名詞と先行詞を続ける時の音の変化を意識しながら聞くことを学習する。 |
| 8 | Finial Piety by Decree (本文) | 法律に関する語彙を学習し、聞き取れるようになる。 |
| 9 | Finial Piety by Decree (本文+ 問題) | 耳慣れない語の発音のされ方を意識しながら聞くことを学習する。 |
| 10 | Feeling Cheated (本文) | 教育に関する語彙を学習し、聞き取れるようになる。 |
| 11 | Feeling Cheated (本文+ 問題) | 主語と述語動詞の間に置かれるポーズを意識しながら聞くことを学習する。 |
| 12 | Dangerously Oblivious (本文) | 現代の最新機器によって生じた社会現象に関する語彙を学習し、聞き取れるようになる。 |
| 13 | Dangerously Oblivious (本文+ 問題) | 強調されている語と省略されている語を意識しながら聞くことを学習す る。 |

| | 指導教員 | 年次・期 | 間 | 単位 | 選必区分 |
|--------|------|-------|----|----|------|
| 大神 雄一郎 | | 1年次・青 | 前期 | 1 | 必修 |

・授業の目的と概要

英語の音声を聴き取って内容を理解する技能を身につけることを目的とする。授業では、英語での短い会話や説明文、また300語程度までのパッセージのリスニング活動を中心に、聴解力を高めるトレーニングを行う。読解や文法の確認と練習も絡め、英語の基礎能力の向上と定着を図る。

・一般目標(GIO)

薬学分野で必要とされる英語の基礎力を身につけることを目指し、当科目では、リスニングに関する基礎的・一般的技能の習得を軸に、英語の基礎能力の向上を目標とする。

・授業の方法

テキストに沿って、学習項目の確認や説明(教員からのレクチャー)と、テキスト内容の演習(学生によるアクティビティ)を交互に行う形で進めていく。

・準備学習や授業に対する心構え

テキストの「Listening Tips」・「Grammar Section」から当該授業のポイントが把握できるので、目を通しておくこと。「Listening Section」・「Reading Section」については、授業中にリスニング活動を中心とした演習の形式で進めるため、特に予習は必要としない。難しい語彙を多数学習する科目ではないが、授業活動をこなすため各自で辞書を持参することが望ましい。なお、当科目では授業中の演習活動を重視し、成績評価においても授業への取り組み姿勢を考慮する。

・オフィス・アワー

授業前後に各自ご相談ください。適宜対応します。

• 成績評価法

定期試験60% + 平常点(出席状況と授業態度・授業中の小テストなど)40%

教科畫

『Power-Up English < Pre-Intermediate >』 JACETリスニング研究会(編) 南雲堂

| | 項目 | 到達目標(SBO s)・授業内容 |
|----|-------------------|---|
| 1 | Introduction | |
| 2 | College Life (I) | 「文の強勢とポーズ」について習得を目指す。品詞に注目して授業を進める。 |
| 3 | College Life (II) | 「英語のリズム」について習得を目指す。自動詞/他動詞に注目して授業を進める。 |
| 4 | Hobbies | 「イントネーション」について習得を目指す。五文型に注目して授業を進める。 |
| 5 | Romance | 「消える音 I 」について習得を目指す。現在形/過去形に注目して授業を進める。 |
| 6 | Transportation | 「消える音Ⅱ」について習得を目指す。未来を表す表現に注目して授業を進める。 |
| 7 | Business | 「消える音Ⅲ」について習得を目指す。進行形に注目して授業を進める。 |
| 8 | Society | 「つながる音Ⅰ」について習得を目指す。完了形に注目して授業を進める。 |
| 9 | Health | 「つながる音Ⅱ」について習得を目指す。助動詞に注目して授業を進める。 |
| 10 | The Environment | 「つながる音Ⅲ」について習得を目指す。受動態に注目して授業を進める。 |
| 11 | Medicine | 「音の同化I」について習得を目指す。不定詞に注目して授業を進める。 |
| 12 | Finance | 「音の同化Ⅱ」について習得を目指す。分詞に注目して授業を進める。 |
| 13 | Shopping | 「弱形と強形」について習得を目指す。動名詞に注目して授業を進める。 |

English Listening 2

| 指導教員 | 年次・期間 | 単位 | 選必区分 |
|-------|--------|----|------|
| 神前 陽子 | 1年次・後期 | 1 | 必修 |

・授業の目的と概要

英語の基礎力を固めつつ、専門性のやや高い文書の言語使用について学ぶことを目的とした授業です。 できるだけ英語で授業を行うことでリスニング力の強化も図っていきます。

・一般目標(GIO)

- (1) やや高度な内容の専門文書を読めるようになる。
- (2) 英語の専門用語の成り立ちを理解し、基本的な英語の専門用語の意味がわかる。
- (3) リスニング力の強化。

・授業の方法

やや高度な内容の専門文書に出てくる表現と科学技術に関する新聞、雑誌等の英語を日本語に訳さずに理解できるように学習します。講読は、ユニットごとに概要、パラグラフリーディング、復習と練習問題という構成になっています。

また、授業の進み具合によってスケジュールを変更することがあります。専門用語に関する接頭辞、接尾辞の小テストが毎回あります。前期に学習した範囲を繰り返すことで、知識の定着を図ります。グループでの作業と発表を通じて全員が参加できるような授業です。

・準備学習や授業に対する心構え

授業:グループ学習を通じて積極的に授業に参加すること。

予習と復習:専門用語小テストの範囲については充分に準備してください。講読の予習は一字一句訳すよりも大まかな内容をつかむように務めてください。

復習はノートや授業中に配られた資料をていねいに見直してください。

・オフィス・アワー

質問や連絡事項のあるときは、事務の方に取り次いでもらってください。

・成績評価法

定期試験60%、平常点40% (授業参加、小テスト)

・教科書

『入門薬学英語』野口ジュディー、神前陽子、籠田智美、山口秀明 講談社サイエンティフィク

| | 項目 | 到達目標(SBO s)・授業内容 |
|----|-----------------------------|---|
| 1 | 専門用語前期復習テスト、 公告講読 | 専門用語:前期履修の範囲を復習し、Affix Focus Point 0 で用語構成について再確認する。 講読: Unit 5: Collection of syringesの文書の特徴を理解し、内容を読み取る。 |
| 2 | 専門用語小テスト1回目、 公告講読 | 専門用語:位置、方向性に関する接頭辞、接尾辞を学習し、副教材(Affix Focus Point 1)で補強する。 講読:Unit 5:Collection of syringesの文書の特徴を理解し、内容を読み取る。 |
| 3 | 専門用語小テスト2回目、 公告講読 | 専門用語:現象、時間、消化器系に関する接頭辞、接尾辞を学習し、副教材(Affix Focus Point 2)で補強する。 講読:Unit 5:Collection of syringesの文書の特徴を理解し、内容を読み取る。 |
| 4 | 専門用語小テスト3回目、 専門機関からの情報講読 | 専門用語:症状病状、病名に関する接頭辞、接尾辞を学習し、副教材(Affix Focus Point 3)で補強する。 講読:Unit 8:Key facts about avian influenzaの文書の特徴を理解し、内容を読み取る。 |
| 5 | 専門用語小テスト4回目、 専門機関からの情報講読 | 専門用語:生物、生体に関する接頭辞、接尾辞を学習し、副教材(Affix Focus Point 4)で補強する。 講読:Unit 8:Key facts about avian influenzaの文書の特徴を理解し、内容を読み取る。 |
| 6 | 専門用語小テスト5回目、 専門機関からの情報講読 | 専門用語:相違、類似、同一性に関する接頭辞、接尾辞を学習し、副教材(Affix Focus Point 5)で補強する。 講読:Unit 8:Key facts about avian influenzaの文書の特徴を理解し、内容を読み取る。 |
| 7 | 専門用語小テスト6回目、 学術誌記事 | 専門用語:病気、病原に関する接頭辞、接尾辞を学習し、副教材(Affix Focus Point 6)で補強する。 講読:Unit 13:Evidence-based nutrition principles and recommendationsの文書の特徴を理解し、内容を読み取る。 |
| 8 | 専門用語小テスト7回目、 学術誌記事 | 専門用語:薬物に関する接頭辞、接尾辞を学習し、副教材(Affix Focus Point 7)で補強する。 講読:Unit 13:Evidence-based nutrition principles and recommendationsの文書の特徴を理解し、内容を読み取る。 |
| 9 | 専門用語小テスト8回目、 学術誌記事 | 専門用語:時間に関する接頭辞、接尾辞を学習し、副教材(Affix Focus Point 8)で補強する。 講読:Unit 13:Evidence-based nutrition principles and recommendationsの文書の特徴を理解し、内容を読み取る。 |
| 10 | 専門用語小テスト9回目、 専門教科書講読 | 専門用語:性質、形状、傾向に関する接頭辞、接尾辞を学習し、副教材(Affix Focus Point 9)で補強する。 講読:Unit 12:Human pharmacologyの文書の特徴を理解し、内容を読み取る。 |
| 11 | 専門用語小テスト10回目、 専門教科書講読 | 専門用語:対立、協調に関する接頭辞、接尾辞を学習し、副教材(Affix Focus Point 10)で補強する。 講読:Unit 12:Human pharmacologyの文書の特徴を理解し、内容を読み取る。 |
| 12 | 専門用語小テスト11回目、 専門教科書講読 | 専門用語:皮膚、粘膜に関する接頭辞、接尾辞を学習し、副教材(Affix Focus Point 11)で補強する。 講読:Unit 12:Human pharmacologyの文書の特徴を理解し、内容を読み取る。 |
| 13 | 総復習 | 後期履修範囲を総復習する。 |

| 指導教員 | 年次・期間 | 単位 | 選必区分 |
|-------|--------|----|------|
| 武井 紀子 | 1年次・後期 | 1 | 必修 |

・授業の目的と概要

本授業では、日常生活のさまざまな場面において実践的に英語でコミュニケーションを図るための基礎的な能力を養う。オーストラリアをテーマとした題材を取り上げ、日常会話やインタビューなどの自然な英語を聞き、タスク (e-mail、会話、リポート、ロールプレイなど)を通して発信力の向上を試みる。

・一般目標(GIO)

英語の音声変化(同化、強弱、連結など)に関する基本的知識を習得し、リスニング能力を身につける。

生の英語を聞いて内容を理解し、要約できる。

平易な表現を覚え、自分の考えや主張を述べることができる。

多文化、異文化に関する理解を深める。

・授業の方法

英語の音声に関する説明とリスニング練習およびテキストを中心に行う。 また、学期末に、授業で学んだ内容を参考にグループで発表を行う。

・準備学習や授業に対する心構え

辞書を持参すること。

・オフィス・アワー

授業終了後、非常勤控え室、または教室にお越しください。

・成績評価法

出席 10 % 平常点20% (授業態度、小テスト)、発表 20% 定期試験 50%

• 教科主

『Australia, Here We come!』 Kumiko T.Sato · Steve Lia · Hirobumi Matsumoto Asahi Press

参老書

適宜プリントを配付する。

| | 項目 | 到達目標(SBO s)・授業内容 |
|----|--------------------------|---|
| 1 | Orientation | 授業に関するガイドラインを説明する。 |
| 2 | Hello Sydney. Australia! | 家族や友人に出す葉書の表現や形式を学び書けるようになる。 |
| 3 | Street Life | 旅行者と現地在住者の役割を通して道案内のやりとりを行う。 |
| 4 | Public Transport | 友人に旅行したときの様子を適切な表現を用いて事実をありのままに伝えることが できるようになる。 |
| 5 | University Life | 手紙文の書き方を学び、友人に学生生活の様子を伝えることができるようになる。 |
| 6 | Australian Home | 日常生活の様子を適切な表現を用いてe-mailで報告することができるようになる。 |
| 7 | Supermarket-Coles | 店やデパートなどに関する報告を平易な表現を用いてすることができるようになる。 |
| 8 | Daily life | 日常生活に関する調査場面で、相手の話を聞いて理解し、適切に応答することがで きるようになる。 |
| 9 | Leisure Time at the Sea | 身近な場所にある広告のチラシを必要な情報を盛り込んで創作する。 |
| 10 | Leisure Time at the Park | 電話における会話で、質問や依頼などを聞いて適切に応じることができるようになる。 |
| 11 | Australian Family | 大学での生活や余暇の時間の過ごし方などについて、関心のあることについて相手 に質問したり、相手の質問に答えたりすることができるようになる。 |
| 12 | Presentation | 授業で学んだことや経験したことに基づき、各グループで関心のあるテーマを選び、 論理の展開や表現の方法を工夫しながら、事実や意見などを伝える。 |
| 13 | Presentation | 授業で学んだことや経験したことに基づき、各グループで関心のあるテーマを選び、 論理の展開や表現の方法を工夫しながら、事実や意見などを伝える。 |
| 14 | 期末テスト | |

English Listening 2

| | 指導教員 | 年次・期間 | 単位 | 選必区分 |
|----|------|--------|----|------|
| 浅井 | 良策 | 1年次・後期 | 1 | 必修 |

・授業の目的と概要

この授業ではナチュラルスピードで流れる英語のニュースの聞き取り練習を通してリスニング能力を育成することが主たる目的である。また、聞き取る内容自体も質と量の点においてある程度の水準を持っているものなので、それが書かれたテキストの本文を精読することによって、語彙力と読解力の強化も図る。尚、後期は学期の最後に簡単なスピーチを行う予定である。そのような活動を通して自分の考えを英語で表現する能力の向上を目指すと共に、相手が伝えようとしている内容をすばやく正確に理解する訓練を行う。

・一般目標(GIO)

- ・音のつながりなどを意識して英語を正確に聞き取り、発音できるようになる。
- ・英語の語彙及び読解力を強化する
- ・英語で自分の意見を表現する態度を身につける。

・授業の方法

教科書を 2回の授業で 1 ユニットを終える進度で進めてゆく。全般的な流れとしては、前期の「英語リスニング 1」と同じで、重要な語彙や構文の意味を確認 \rightarrow DVDやCDを用いたディクテーション \rightarrow 英文読解 \rightarrow 英作文というプロセスを踏襲する。学期の最後に簡単なスピーチをしてもらうが、スピーチ原稿(レポートとして提出)の書き方についても解説する。

・準備学習や授業に対する心構え

流れてくる英語の音は比較的早く、慣れるまでは聞き取るのが難しいと感じられるかもしれないが、効果が得られるまであ きらめずに何度も根気強く訓練すること。本文において知らない単語がある場合はその意味を事前に調べておくこと。辞書は 毎回持参すること。

・オフィス・アワー

授業後あるいは昼休みの時間帯に、講師控室において質問を受け付けます。

・成績評価法

定期試験60%、平常点20%(出席、小テスト、授業態度)、レポート20%

・教科書

『ENGLISH FOR THE GLOBAL AGE WITH CNN』 Kansai University ASAHI PRESS『VOL.16(CNN:ビデオで見る世界のニュース(16)』 ELT Research Group 朝日出版社

・参考書

特になし

| | 項目 | 到達目標(SBO s)・授業内容 |
|----|--------------------------------|------------------------------------|
| 1 | Too much Too Soon? (本文) | 現代の最新機器と教育に関する語彙を学習し、聞き取れるようになる。 |
| 2 | Too much Too Soon? (本文+ 問題) | 数字の発音のされ方を意識しながら聞くことを学習する。 |
| 3 | Not All Fun and Games (本文) | ITやサイバー犯罪の専門用語を学習し、聞き取れるようになる。 |
| 4 | Not All Fun and Games (本文+ 問題) | やや難解な専門用語や付帯状況の分詞構文を意識しながら聞くことを学習す |
| | | る。 |
| 5 | For High-flyers Only (本文) | 宇宙開発に関する語彙を学習し、聞き取れるようになる。 |
| 6 | For High-flyers Only(本文+ 問題) | 口語英語に特徴的な音声変化を意識しながら聞くことを学習する。 |
| 7 | Win-win Arrangement (本文) | 医療と法規制に関する語彙を学習し、聞き取れるようになる。 |
| 8 | Win-win Arrangement(本文+ 問題) | 省略された関係詞を意識しながら聞くことを学習する。 |
| 9 | To Shop or Not to Shop(本文) | 経済と法規制に関する語彙を学習し、聞き取れるようになる。 |
| 10 | To Shop or Not to Shop(本文+ 問題) | 倒置された仮定法の構文形式を意識しながら聞くことを学習する。 |
| 11 | Going to Extremes (本文) | 異常気象や気候変動に関する語彙を学習し、聞き取れるようになる。 |
| 12 | Going to Extremes(本文+ 問題) | オーストラリア英語の発音のされ方を意識しながら聞くことを学習する。 |
| 13 | Presentations | 英語で簡単なスピーチを行う。 様々な人の「生の英語」を効率よく整理し |
| | | ながら、正確に聞き取れるようになる。 |

| 指導教員 | 年次・期間 | 単位 | 選必区分 |
|--------|--------|----|------|
| 大神 雄一郎 | 1年次・後期 | 1 | 必修 |

・授業の目的と概要

英語の音声を聴き取って内容を理解する技能を身につけることを目的とする。授業では、英語での短い会話や説明文、また300語程度までのパッセージのリスニング活動を中心に、聴解力を高めるトレーニングを行う。読解や文法の確認と練習も絡め、英語の基礎能力の向上と定着を図る。

・一般目標(GIO)

薬学分野で必要とされる英語の基礎力を身につけることを目指し、当科目では、リスニングに関する基礎的・一般的技能の習得を軸に、英語の基礎能力の向上を目標とする。

・授業の方法

テキストに沿って、学習項目の確認や説明(教員からのレクチャー)と、テキスト内容の演習(学生によるアクティビティ)を交互に行う形で進めていく。

・準備学習や授業に対する心構え

テキストの「Listening Tips」・「Grammar Section」から当該授業のポイントが把握できるので、目を通しておくこと。「Listening Section」・「Reading Section」については、授業中にリスニング活動を中心とした演習の形式で進めるため、特に予習は必要としない(辞書を持参することが望ましい)。なお、当科目では授業中の演習活動を重視し、成績評価においても授業への取り組み姿勢を考慮する。

・オフィス・アワー

授業前後に各自ご相談ください。適宜対応します。

• 成績評価法

定期試験60% + 平常点(出席状況と授業態度・授業中の小テストなど)40%

・教科書

『Power-Up English < Pre-Intermediate>』 JACETリスニング研究会(編) 南雲堂

| 322142 | | | | | |
|--------|---------------|---|--|--|--|
| | 項目 | 到達目標(SBO s)・授業内容 | | | |
| 1 | Introduction | | | | |
| 2 | Careers | 「notの短縮形」について習得を目指す。形容詞/副詞に注目して授業を進める。 | | | |
| 3 | Art | 「be動詞/助動詞の短縮形」について習得を目指す。名詞/代名詞に注目して授業を進める。 | | | |
| 4 | Culture | 「疑問詞のききとり」について習得を目指す。前置詞に注目して授業を進める。 | | | |
| 5 | Population | 「展開を予測しながら聞く」について習得を目指す。接続詞に注目して授業を進める。 | | | |
| 6 | Disasters | 「無声音/有声音」について習得を目指す。いろいろな否定に注目して授業を進める。 | | | |
| 7 | Travel | 「紛らわしい音」について習得を目指す。名詞構文/無生物主語構文に注目して授業を進める。 | | | |
| 8 | Sports | 「数量表現 I 」について習得を目指す。比較表現 I に注目して授業を進める。 | | | |
| 9 | Life | 「数量表現Ⅱ」について習得を目指す。比較表現Ⅱに注目して授業を進める。 | | | |
| 10 | Entertainment | 「知っているつもりの英語」について習得を目指す。関係詞 I に注目して 授業を進める。 | | | |
| 11 | Language | 「通じているつもりの英語」について習得を目指す。関係詞Ⅱに注目して 授業を進める。 | | | |
| 12 | Science | 「アメリカ英語の特徴 I 」について習得を目指す。 仮定法 I に注目して授業を進める。 | | | |
| 13 | Technology | 「アメリカ英語の特徴Ⅱ」について習得を目指す。仮定法Ⅱに注目して授業を進める。 | | | |

英語リーディング1

English Reading 1

| | | | 指導教員 | 年次・期間 | 単位 | 選必区分 |
|---|---|----|------|--------|----|------|
| 棹 | 瀬 | 健昭 | | 1年次・前期 | 1 | 必修 |

・授業の目的と概要

スタンフォード大学で起業家育成コースを担当するティナ・シーリグによる集中講義を読む。

彼女は、この本の中で、「失敗することをいとわず、不可能なことなどないと思い、あらゆるチャンスを活かすようにすれば、限りない可能性が広がる」ことを具体的に教えてくれる。

平易な英語で書かれているので、できるだけ多くの量を読むことを目標に、速読を中心として必要に応じて精読することにする。

・一般目標(GIO)

英語の基礎力をつけるために、「読む」、「書く」、「聞く」、「話す」に関する基本的知識と技能を習得する。さまざまな考え方、感じ方に触れ、物事を多角的に見る能力を養う。

・授業の方法

Vocabulary Quiz Review Readingの順に行う。

・準備学習や授業に対する心構え

必ず下読みをして、わからない部分は、あらかじめ辞書で調べておくこと。 毎回単語テストを行うので、前時に読了した範囲の単語を復習しておくこと。

・オフィス・アワー

火曜日、木曜日午後1時~3時、研究室へどうぞ。

・成績評価法

発表 (30%) + 英語テスト (70%) による総合評価

教科書

『What I Wish I Knew When I Was 20 (2010)』 Tina Seelig HarperOne

参老書

『リーダーズ英和辞典』研究社

| | 項目 | 到達目標(SBO s)・授業内容 |
|-----|------------------------------------|---|
| テクス | トのReadingを中心としてWriting、Speaking | も織り交ぜ、Listeningも行う。 |
| 1 | Introduction | やさしい英語で書かれた文章を速読し主題を把握することができる。 |
| 2 | Buy One, Get Two Free | やさしい英語で書かれた文章を読んで内容を説明できる。 |
| 3 | The Upside-Down Circus | 英語の基礎的音声を聞きわけることができる。 英語による日常会話での質疑応答ができる。 |
| 4 | Bikini or Die | |
| 5 | Please Take Out Your Wallets | |
| 6 | The Secret Sauce of Silicon Valley | |
| 7 | Review 1 | |
| 8 | No WayEngineering Is for Girls | |
| 9 | Turn Lemonade into Helicopters | |
| 10 | Paint the Target around the Arrow | |
| 11 | Will This Be on the Exam? | |
| 12 | Experimental Artifacts | |
| 13 | Review 2 | |

|英語リーディング 1

English Reading 1

| 指導教員 | 年次・期間 | 単位 | 選必区分 |
|--------|--------|----|------|
| スミス 朋子 | 1年次・前期 | 1 | 必修 |

・授業の目的と概要

薬学に関連する英文で基本的なものを読むことで、語彙の増加をめざし、また色々なジャンルの文章の特徴を学び、読解力を強化させる。

・一般目標(GIO)

Readingを中心に学習することで、情報を収集する技能を高め、薬学の分野に必要な英語の基礎力を身につける。

・到達目標(SBO s)

- 易しい英語で書かれた文章を速読し、重要な情報を獲得することができる。
- 易しい英語で書かれた文章を読んで、内容を説明できる。
- 短い文章を英語で書くことができる。
- 英語の医療用語の聞き取りや発音ができる。

・授業の方法

テキストを中心に学習する。練習内容は、主に

- 1) 英文の大意を読み取る。
- 2)情報が何を意図して発信されたものか理解する。
- 3) 薬学関係の基本用語を学ぶ、の3つから構成される。

講義形式の授業ではなく、音読やペア・グループワークを行うことで学んでいく。

・準備学習や授業に対する心構え

積極性、さらにクラスメートと協力的に学習しようする姿勢が望まれる。

・オフィス・アワー

時間帯:水曜日·金曜日 11時半~13時半

場所:研究室

都合が悪い場合は、学内メールにて連絡してください。

・成績評価法

出席・授業態度:20%、課題(音読・ロールプレイなど):30%、試験:50%

・教科書

『はじめての薬学英語』講談社サイエンティフィク

・参考書

特になし

| 12210 | * 技术引回 | | | | |
|-------|--|--|--|--|--|
| | 項目 | 到達目標(SBO s)・授業内容 | | | |
| 1 | Introduction | 文章には、種類(ジャンル)の違いがあることを理解する。 | | | |
| 2 | Good eating habits | ウェブ上のアドバイス情報の文章を読む。 | | | |
| 3 | What it takes to be a druggist 1 | 職務記述:外国の薬剤師の職務について学ぶ | | | |
| 4 | What it takes to be a druggist 2 | 医師助手の職務についての説明文を読む。 | | | |
| 5 | Drugs and supplements 1 | サプリメントの情報を読む。体の部位や病名を学習する。 | | | |
| 6 | Drugs and supplements 2 | 薬やサプリメントの情報を入手する方法を学ぶ。 | | | |
| 7 | A spoonful of sugar makes the medicine go down | 新聞のコラム記事を読む。薬の飲み方の文化的違いを知る。 | | | |
| 8 | A spoonful of sugar makes the medicine go down | 英語で服薬指導する会話を練習する。 | | | |
| 9 | 課題発表 | 音読とロールプレイの発表 | | | |
| 10 | Medicine Packages 1 | イギリスのOTC薬の一般的なラベルを読み、アメリカや日本のものと比較する。 | | | |
| 11 | Medicine Packages 2 | ジェネリック医薬品の商品名と一般名についての文章を読む。 | | | |
| 12 | The Mammalian Heart 1 | 生物の教科書の文章を読む。循環器の用語を学ぶ。 | | | |
| 13 | The Mammalian Heart 2 | 生物の教科書の文章を読む。ラテン語・ギリシャ語由来の専門用語の複 数形を学ぶ。 | | | |

英語リーディング1

English Reading 1

| 指導教員 | 年次・期間 | 単位 | 選必区分 |
|------|--------|----|------|
| 樋口 久 | 1年次・前期 | 1 | 必修 |

・授業の目的と概要

- ・大学生として、そして教養ある大人として必要な英語の知識がどのようなものか理解する。
- ・英語の発音の基本を理解し、着実に身につける。
- ・外国語としての英語を習得する方法を様々な角度から知り、実生活での言語習得に結びつける。
- ・医学・薬学関係に従事する者にとって必須である科学分野の英語を理解できるようになる。

一般日標(GIO)

薬学を中心とした自然科学の分野で必要とされる英語の基礎力を身につけるために、「読む」「書く」「聞く」「話す」に関する基本的知識と技能を修得する。

・授業の方法

言語習得の実態に沿った形で段階的に英語の諸側面を紹介し、また演習する。 毎回の内容を大きく分けると(1)各種読み物、(2)発音、(3)その他の話題である。

以上のうち、(1)の概略のみを「授業計画」に示す。

・準備学習や授業に対する心構え

教材は事前に配付するように計らうので、受講生諸君は自分なりに目を通し、辞書を引くなどの準備作業をしておくと受講が非常に楽になり、習得上も有利である。

言語の習得においては、「テストの時にやれば良い」とか「いつか覚えれば良いや」とかいう姿勢はまるで役に立たず、また無理に頑張っても効果は小さい。語学は正直である。目の前の具体的な現実から目を背けず、楽しむのが要諦である。

・オフィス・アワー

提出課題の質問欄や電子メール (q_higuchi@mac.com) を利用して質問して頂けるように計らっている。

・成績評価法

毎回提出する課題(小テスト)の得点を総合して評価する。大きな試験やレポートの類はない。

・教科書

配付するプリント(受講生諸君が購入する教科書はなし)

・参考書

参考書・資料等は、適宜以下に情報を公開する:

http://higuchi.weebly.com

| | 項目 | 到達目標(SBO s)・授業内容 | |
|-----|-------------------|--|--|
| | | っ含む)・発音・その他の話題の3つを扱う。以下は、読み物のあらましである | |
| (他の | り内容との関連でこの通りにならない | こともあるが了承されたい)。 | |
| 1 | 童話 (1) | 発音の確認と音読等、準備学習の課題を確認する。 | |
| 2 | 童話(2) | 自分の使っている辞書の使い方(特に発音記号・解説)を確認する。 | |
| 3 | 童話 (3) | 英語を書く作法の基本を確認する。 | |
| 4 | 小学校の理科教科書(1) | 英語圏の教育現場で使われる教科書を通じて基礎語彙の身につけ方を学ぶ。 | |
| 5 | 小学校の理科教科書(2) | 第1回まとめ: それまでの復習を行う。 | |
| 6 | 資格英語(1) | 教材と平行して、日本の大学生として必要とされる(特に留学に当たって必要と なる)単語クイズを適宜行う。 | |
| 7 | 資格英語 (2) | 教材に関連する動画の視聴などを通じ、英語表現の発想をありのままに捉える。 | |
| 8 | 映画 (1) | 海外メディア等が見た日本像の観察を通じ、(それを他山の石として)英語世界をより正確に捉えることを学ぶ。 | |
| 9 | 映画 (2) | 第2回まとめ: それまでの復習を行う。 | |
| 10 | 教科書的読み物 (1) | 日本の大学生が英語を習得するにあたり、どのような英語力が英語世界の一般常識に合致するのかを理解する。 | |
| 11 | 教科書的読み物 (2) | コース全体を通じて、英語の発音や習得の基礎を大きく理解したことを確認する。 | |
| 12 | 科学ドキュメンタリー (1) | 科学系の英語の特徴を理解し、それが英語の中でどのような位置づけになるのか を理解する。 | |
| 13 | 科学ドキュメンタリー (2) | ☆ 第3回まとめ:これまでの復習を行う。 | |

English Reading 1

英語リーディング1

| 指導教員 | 年次・ | 期間 | 単位 | 選必区分 |
|-------|-----|-----|----|------|
| 井上 径子 | 1年次 | ・前期 | 1 | 必修 |

・授業の目的と概要

今や現代人の生活と切り離すことができない「ストレス」、それが一体何もので、どのように発生し、わたしたちの身体に害を及ぼすのか、ひいては効果的なストレス対処法について、テキストを精読することを通し、学んでいきます。

同時に、各ユニットに付された問題を通して、英語を「読む」、「聴く」、「書く」という3技能の向上を試みます。本文を精読する際は、内容の把握に留まらず、文法事項にも留意し、高校までに習得した文法的知識を適用し、文を正確に読み解く訓練をします。

併せて、本文中にある日常で使えそうな語彙や表現にも注目し、それらを率先して使う(授業では度々英作を取り入れる) ことで、英語で「表現する」能力を身につけていきます。

・<u>一般目標(GIO)</u>

英語を「読む」、「聴く」、「書く」に関わる基本的技能の習得を通し、英語で「話す」あるいは「表現する」能力向上につなげていきます。

・到達目標(SBO s)

英語で書かれた医療に関する著述の内容を正確に理解できる。

英語放送を聞いて一定内容を理解できる。

身近な話題を英語で表現することができる。

・授業の方法

本文を読み進める際には演習形式でランダムに当てるので、予習は必須です。進むペースは各ユニットの本文の難易度によっても異なるので、一概には言えず、必ずしも計画通りにいかないと思われますが、だいたい、3回の授業で2ユニット進むくらいのペースになると思います。

テキスト付属のexercise 以外にも、本文のdictationなども取り入れます。また、テキストの内容が「ストレス」一色なので、授業に変化をつける意味で、毎回時間の終わり(最後の約20分間)に、洋楽を1曲取り入れます。

リスニングの訓練はもとより、歌の歌詞を通しても、日常表現や英語ならではの言い回し、時には文化的背景にも注目し、様々な観点から英語の表現力を伸ばしていきます。

・準備学習や授業に対する心構え

予習する際は本文だけでなく、付された問題も、「聴き取り」の箇所を除いては、各自一通りやって授業に出てください。

・オフィス・アワー

質問には、授業開始前に非常勤控え室で、また必要に応じてemailでも応じます。

・成績評価法

授業貢献(30%)と学期末試験(70%)による総合評価

・教科書

『Beating Stress: Strategies for a Stress-Free Lifestyle』田部井世志子・井上径子 朝日出版

| 0 | 項目 | 到達目標(SBO s)・授業内容 |
|----|-----------------------------------|--------------------------------------|
| 1 | ストレスの定義について知る | 関係代名詞を学ぶ |
| 2 | ストレスの肯定的役割について学ぶ | イディオム"stem from"が使えるようになる |
| 3 | 現代人のストレスの要因について学ぶ(1) | 挿入句や倒置を見分けられるようになる |
| 4 | 現代人のストレスの要因について学ぶ(2) | 無生物主語を学ぶ |
| 5 | 体がストレッサーに反応する生理的メカニズムを学ぶ | 動詞 "leave" のニュアンスを知る |
| 6 | 体がストレッサーに反応する生理的メカニズムを学ぶ(2) | 動詞"stay"のニュアンスを知る |
| 7 | ストレスと病気の連関について学ぶ(1) | 主語や目的語の同格が見分けられるようになる |
| 8 | ストレスと病気の連関について学ぶ(2) | 前置詞"with"の様々な意味を知る |
| 9 | ストレスが免疫機能に及ぼす影響を学ぶ (1) | 接続詞の意味を正確に取れるようになる |
| 10 | ストレスが免疫機能に及ぼす影響を学ぶ (2) | 副詞の用い方について学ぶ |
| 11 | 有益なストレスが有害に変わる瞬間について学ぶ | 肯定文中の"any"の意味を確認する |
| 12 | 「笑い」の効能について学ぶ | 動詞 "allow" のニュアンスを学ぶ |
| 13 | 「怒り」の対処法を学ぶ | "those" や "those who" を用いて文が作れるようになる |
| 14 | (予備日)映画Juno を通してアメリカの若者間の様々な問題を知る | |

英語リーディング2

English Reading 2

| 指導教員 | 年次・期間 | 単位 | 選必区分 |
|-------|--------|----|------|
| 楠瀬 健昭 | 1年次・後期 | 1 | 必修 |

・授業の目的と概要

Natureに素材を求め、科学分野の先端研究を紹介する英文を読み、読解力の向上をめざす。 様々な練習問題を通して、内容理解を深め、語彙力を強化する。

・一般目標(GIO)

英語の基礎力をつけるために、「読む」、「書く」、「聞く」、「話す」に関する基本的知識と技能を習得する。さまざまな考え方、感じ方に触れ、物事を多角的に見る能力を養う。

・授業の方法

Vocabulary Quiz Review Readingの順に行う。

・準備学習や授業に対する心構え

必ず下読みをして、わからない部分は、あらかじめ辞書で調べておくこと。 毎回単語テストを行うので、前時に読了した範囲の単語を復習しておくこと。

・オフィス・アワー

火曜日、木曜日午後1時~3時、研究室へどうぞ。

・成績評価法

発表 (30%) + 英語テスト (70%) による総合評価

・教科書

『Readings in Science』鈴木 佑治 南雲堂

・参考書

『リーダーズ英和辞典』研究社

| | 項目 | 到達目標(SBO s)・授業内容 |
|-----|---|---|
| テクス | トのReadingを中心としてWriting、Speaking | も織り交ぜ、Listeningも行う。 |
| 1 | Introduction | やさしい英語で書かれた文章を速読し主題を把握することができる。 |
| | Babies learn to babble like birds learn to sing | やさしい英語で書かれた文章を読んで内容を説明できる。 英語の基礎的音声を聞きわけることができる。 |
| 3 | It's not just Fukushima 1 | 英語による日常会話での質疑応答ができる。 |
| 4 | It's not just Fukushima 2 | |
| 1 | Baseball players reveal how humans evolved to throw so well | |
| | Huge cancer study uncovers 74 genetic risk factors | |
| 7 | Review 1 | |
| 8 | Amorous insects predict the weather | |
| 9 | 3-D printed windpipe gives infant breath of life 1 | |
| 10 | $3\mbox{-D}$ printed windpipe gives infant breath of life 2 | |
| 11 | Pilot projects bury carbon dioxide in basalt | |
| 12 | Disputed results a fresh a fresh blow for social psychology | |
| 13 | Review 2 | |

英語リーディング2 English Reading 2

| 指導教員 | 年次・期間 | 単位 | 選必区分 |
|--------|--------|----|------|
| スミス 朋子 | 1年次・後期 | 1 | 必修 |

・授業の目的と概要

薬学に関連する英文で基本的なものを読むことで、語彙の増加をめざし、また色々なジャンルの文章の特徴を学び、読解力を強化させる。

・一般目標(GIO)

Readingを中心に学習することで、情報を収集する技能を高め、薬学の分野に必要な英語の基礎力を身につける。

・到達目標(SBO s)

- 易しい英語で書かれた文章を速読し、重要な情報を獲得することができる。
- 易しい英語で書かれた文章を読んで、内容を説明できる。
- 短い文章を英語で書くことができる。
- 英語の医療用語の聞き取りや発音ができる。

・授業の方法

テキストを中心に学習する。練習内容は、主に

- 1) 英文の大意を読み取る。
- 2)情報が何を意図して発信されたものか理解する。
- 3) 薬学関係の基本用語を学ぶ、の3つから構成される。

講義形式の授業ではなく、音読やペア・グループワークを行うことで学んでいく。

・準備学習や授業に対する心構え

積極性、さらにクラスメートと協力的に学習しようする姿勢が望まれる。

・オフィス・アワー

時間帯:水曜日·金曜日 11時半~13時半

場所:研究室

都合が悪い場合は、学内メールにて連絡してください。

・成績評価法

出席・授業態度:20%、課題(音読・ロールプレイなど):30%、試験:50%

・教科書

『はじめての薬学英語』 講談社サイエンティフィク

・参考書

特になし

• 授業計画

| | 項目 | 到達目標(SBO s)・授業内容 |
|----|--|--|
| 1 | Introduction | 文章には、種類(ジャンル)の違いがあることを理解する。 |
| 2 | Good eating habits | ウェブ上のアドバイス情報の文章を読む。 |
| 3 | What it takes to be a druggist 1 | 職務記述:外国の薬剤師の職務について学ぶ。 |
| 4 | What it takes to be a druggist 2 | 医師助手の職務についての説明文を読む。 |
| 5 | Drugs and supplements 1 | サプリメントの情報を読む。体の部位や病名を学習する。 |
| 6 | Drugs and supplements 2 | 薬やサプリメントの情報を入手する方法を学ぶ。 |
| 7 | A spoonful of sugar makes the medicine go down | 新聞のコラム記事を読む。薬の飲み方の文化的違いを知る。 |
| 8 | A spoonful of sugar makes the medicine go down | 英語で服薬指導する会話を練習する。 |
| 9 | 課題発表 | 音読とロールプレイの発表 |
| 10 | Medicine Packages 1 | イギリスのOTC薬の一般的なラベルを読み、アメリカや日本のものと比較する。 |
| 11 | Medicine Packages 2 | ジェネリック医薬品の商品名と一般名についての文章を読む。 |
| 12 | The Mammalian Heart 1 | 生物の教科書の文章を読む。循環器の用語を学ぶ。 |
| 13 | The Mammalian Heart 2 | 生物の教科書の文章を読む。ラテン語・ギリシャ語由来の専門用語の複 数形を学ぶ。 |

英語リーディング2

English Reading 2

| 指導教員 | 年次・期間 | 単位 | 選必区分 |
|------|--------|----|------|
| 樋口 久 | 1年次・後期 | 1 | 必修 |

・授業の目的と概要

- ・大学生として、そして教養ある大人として必要な英語の知識がどのようなものか理解する。
- ・英語の発音の基本を理解し、着実に身につける。
- ・外国語としての英語を習得する方法を様々な角度から知り、実生活での言語習得に結びつける。
- ・医学・薬学関係に従事する者にとって必須である科学分野の英語を理解できるようになる。

・一般目標(GIO)

薬学を中心とした自然科学の分野で必要とされる英語の基礎力を身につけるために、「読む」「書く」「聞く」「話す」に関する基本的知識と技能を修得する。

・授業の方法

言語習得の実態に沿った形で段階的に英語の諸側面を紹介し、また演習する。

毎回の内容を大きく分けると(1)各種読み物、(2)発音、(3)その他の話題である。以上のうち、(1)の概略のみを「授業計画」に示す。

・準備学習や授業に対する心構え

教材は事前に配付するように計らうので、受講生諸君は自分なりに目を通し、辞書を引くなどの準備作業をしておくと受講が非常に楽になり、習得上も有利である。

言語の習得においては、「テストの時にやれば良い」とか「いつか覚えれば良いや」とかいう姿勢はまるで役に立たず、また無理に頑張っても効果は小さい。語学は正直である。目の前の具体的な現実から目を背けず、楽しむのが要諦である。

・オフィス・アワー

提出課題の質問欄や電子メール (q_higuchi@mac.com) を利用して質問して頂けるように計らっている。

・成績評価法

毎回提出する課題(小テスト)の得点を総合して評価する。大きな試験やレポートの類はない。

・教科書

配付するプリント(受講生諸君が購入する教科書はなし)

・参考書

参考書・資料等は、適宜以下に情報を公開する:

http://higuchi.weebly.com

| | 項目 | 到達目標(SBO s)・授業内容 |
|-----|-------------|---|
| | | 発音・その他の話題の3つを扱う。以下は、読み物のあらましである(他 |
| の内容 | が了承されたい)。 | |
| 1 | 童話 (1) | 発音の確認と音読等、準備学習の課題を確認する。 |
| 2 | 童話 (2) | 自分の使っている辞書の使い方(特に発音記号・解説)を確認する。 |
| 3 | 詩 | 英語を書く作法の基本を確認する。 |
| 4 | 資格英語(1) | 教材と平行して、日本の大学生として必要とされる(特に留学に当たって必要となる)単語クイズを適宜行う。 |
| 5 | 資格英語 (2) | 第1回まとめ:それまでの復習を行う。 |
| 6 | 語彙教材 | 基礎語彙の身につけ方を学ぶ。 |
| 7 | 文法教材 | 英語表現の発想をありのままに捉える練習をする。 |
| 8 | 映画(1) | 海外メディア等が見た日本像の観察を通じ、(それを他山の石として)英 語世界をより正確に捉えることを学ぶ。 |
| 9 | 映画 (2) | 第2回まとめ:それまでの復習を行う。 |
| 10 | 教科書的読み物 (1) | 日本の大学生が英語を習得するにあたり、どのような英語力が英語世界 の一般常識に合致するのかを理解する。 |
| 11 | 教科書的読み物 (2) | コース全体を通じて、英語の発音や習得の基礎を大きく理解したことを確認する。 |
| 12 | 雑誌記事・論文(1) | 科学系の英語の特徴を理解し、それが英語の中でどのような位置づけに なるのかを理解する。 |
| 13 | 雑誌記事・論文(2) | ☆第3回まとめ:これまでの復習を行う。 |

英語リーディング2

| 指導教員 | 年次・期間 | 単位 | 選必区分 |
|-------|--------|----|------|
| 井上 径子 | 1年次・後期 | 1 | 必修 |

・授業の目的と概要

英語圏の国々の中では一番身近に感じている国であるにもかかわらず、アメリカの社会情勢や実情について、メディアを通じて、わたしたちはほとんど知らされていません。

取りあげるテキストで扱われているのは、肥満者の社会的立場や複雑化する人種問題、離婚家庭の問題等、アメリカが今日抱える社会問題が多く、それらについて読むことを通してまずはアメリカ事情を知ることが、国際社会に目を向けるきっかけになればと考えます。読解と同時に、各ユニットに付された問題を通して、英語を「読む」、「聴く」、「書く」という3技能の向上を試みます。

本文精読の際には、内容の把握に留まらず、文法事項にも留意し、高校までに習得した文法的知識を適用し、文を正確に読み解く訓練をします。併せて、本文中にある日常で使えそうな語彙や表現にも注目し、それらを率先して使う(授業では度々英作を取り入れる)ことで、英語で「表現する」能力を身につけていきます。

・一般目標(GIO)

英語を「読む」、「聴く」、「書く」に関わる基本的技能の習得を通し、英語で「話す」あるいは「表現する」能力向上につなげていきます。

・到達目標(SBO s)

英語で書かれた医療に関する著述の内容を正確に理解できる。

英語放送を聞いて一定内容を理解できる。

身近な話題を英語で表現することができる。

・授業の方法

本文を読み進める際には演習形式でランダムに当てるので、予習は必須です。進むペースは各ユニット、必ずしも計画通りにいかないと思われますが、だいたい、3回の授業で2ユニット進むくらいのペースになると思います。

テキスト付属のexercise 以外にも、本文のdictationや、英作文なども取り入れます。また、授業に変化をつける意味で、毎回終わり(最後の約20分間)に、洋楽を1曲取り入れます。歌の歌詞を通しても、日常表現や英語ならではの言い回し、時には文化的背景にも留意し、様々な観点から英語の表現力を伸ばしていきます。

・準備学習や授業に対する心構え

予習する際は本文だけでなく、付された問題も、「聴き取り」の箇所を除いては、各自一通りやって授業に出てください。

・オフィス・アワー

質問には、授業開始前に非常勤控え室で、また必要に応じてemailでも応じます。

• 成績評価法

授業貢献(30%)と学期末試験(70%)による総合評価

・教科書

『U.S.A. Update』 Jim Knudsen 南雲堂

| | 項目 | 到達目標(SBO s)・授業内容 |
|----|------------------------------|------------------------|
| 1 | アメリカ社会の「笑い」を知る(1) | 接続詞の意味を正確に取れるようになる |
| 2 | アメリカ社会の「笑い」について知る(2) | 関係代名詞を学ぶ |
| 3 | アメリカ社会の「笑い」について知る(3) | 分子構文を読み解けるようになる |
| 4 | アメリカ社会における肥満者の立場を知る(1) | 比較級を学ぶ |
| 5 | アメリカ社会における肥満者の立場を知る(2) | 無生物主語を学ぶ |
| 6 | 複雑化する人種問題について学ぶ(1) | 挿入句や倒置を見分けられるようになる |
| 7 | 複雑化する人種問題について学ぶ (2) | 主語や目的語の同格を見分けられるようになる |
| 8 | 離婚家庭の現状について学ぶ (1) | 接続詞 "before"の使い方を学ぶ |
| 9 | 離婚家庭の現状について学ぶ(2) | 付帯状況を表す前置詞"with"について学ぶ |
| 10 | 不法移民問題について学ぶ (1) | コロンの意味と使い方を学ぶ |
| 11 | 不法移民問題について学ぶ (2) | 接続詞"as"の様々な意味と使い方を学ぶ |
| 12 | 銃規制の問題について学ぶ (1) | 使役動詞"make"の使い方を学ぶ |
| 13 | 銃規制の問題について学ぶ (2) | 副詞の用い方を学ぶ |
| 14 | (予備日)映画Juno を通して若者間の問題について学ぶ | |
| 15 | 試験 | |

ドイツ語1

German 1

| 指導教員 | 年次・非 | 期間 | 単位 | 選必区分 |
|-------|-------|----|----|------|
| 阪本 恭子 | 1 年次・ | 前期 | 1 | 選択必修 |

・授業の目的と概要

ドイツ語はEU(欧州連合)で最も多くの人々が母語として使用している言語です。

この授業では、ドイツ語世界を教科書や映像作品によって楽しみながら習得します。言葉を通じて異なる人間と文化に触れて、新しい価値観を発見しましょう。[ドイツ語2 (後期) と連携します。]

・一般目標(GIO)

ドイツ語を話す・聞く・書く・読む能力を教科書の説明と練習によって養成して、基礎的な文法力と語彙力を身につけます。 自分のことをドイツ語で表現できる、他人が言っていることを理解できることから始めて、自分の世界を拡げていってくだ さい。

・授業の方法

教科書に従って文法と語彙の説明をします。予習をして言葉の意味を調べておいてください。 ペアやグループを作って発音と会話の練習もします。毎回の授業時間を有意義なものにしましょう。

・準備学習や授業に対する心構え

予習と復習を必ずして、分からないことは何でも質問してください。 間違いや失敗を恐れないで、授業では積極的に発声・発言しましょう。

・オフィス・アワー

時間帯:在室時の昼休み(12:10~13:00) またはメール(学内メールアドレス)で随時。

場所:研究室

・成績評価法

期末試験(筆記、音読)…50%

授業の参加態度(出席、予習・復習、宿題)…50%

教科書

『KREUZUNG NEO』小野寿美子ほか 朝日出版社

・参考書

特になし。

| | 項目 | 到達目標(SBO s)・授業内容 |
|----|----------------|--------------------------|
| 1 | イントロダクション | アルファベート、つづりと発音、あいさつ・曜日・月 |
| 2 | 第1課 | 人称代名詞と動詞の現在人称変化 (規則変化) |
| 3 | 第1課 | 動詞の現在人称変化(不規則変化) |
| 4 | 第2課 | 名詞の性、定冠詞・不定冠詞の格変化 |
| 5 | 格の用法、疑問代名詞の格変化 | 格の用法、疑問代名詞の格変化 |
| 6 | 第3課 | 不規則動詞の現在人称変化 |
| 7 | 第3課 | 命令形、人称代名詞の3格と4格 |
| 8 | 第4課 | 名詞の複数形、定冠詞類 |
| 9 | 第4課 | 不定冠詞類 |
| 10 | 第5課 | 前置詞の格支配、前置詞と定冠詞の融合形 |
| 11 | 第5課 | 従属の接続詞と副文、非人称のes |
| 12 | まとめ1 | これまでに学習したことの確認 |
| 13 | まとめ2 | これまでに学習したことの確認 |

ドイツ語2

| 指導教員 | 年次・期間 | 単位 | 選必区分 |
|-------|--------|----|------|
| 阪本 恭子 | 1年次・後期 | 1 | 選択必修 |

・授業の目的と概要

前期で獲得したドイツ語の基礎力を養成して、ドイツ語力とドイツ語世界をより豊かなものにしていきます。 自分の可能性を開拓しましょう。

・一般目標(GIO)

ドイツ語を話す・聞く・書く・読む能力を授業中の説明と練習によって養成して、基礎的な理解力を確かなものにします。 ドイツ語の奥深さを味わってください。

・授業の方法

教科書に従って文法と語彙の説明をします。予習をして言葉の意味を調べておいてください。 ペアやグループを作って発音と会話の練習もします。毎回の授業時間を有意義なものにしましょう。

・準備学習や授業に対する心構え

予習と復習を必ずして、分からないことは何でも質問してください。 間違いや失敗を恐れないで、授業では積極的に発声・発言しましょう。

・オフィス・アワー

時間帯:在室時の昼休み(12:10~13:00)またはメール(学内メールアドレス)で随時。

場所:研究室

・成績評価法

期末試験(筆記、音読)…50%

授業の参加態度(出席、予習・復習、宿題)…50%

・教科書

『KREUZUNG NEO』小野寿美子ほか 朝日出版社

・参考書

特になし。

| | 項目 | 到達目標(SBO s)・授業内容 |
|----|-------|-------------------|
| 1 | 前期の確認 | 前期の学習事項の確認 |
| 2 | 第6課 | 話法の助動詞 |
| 3 | 第6課 | 分離動詞 |
| 4 | 第7課 | 形容詞の格変化 |
| 5 | 第7課 | zu不定詞(句) |
| 6 | 第8課 | 動詞の3基本形 |
| 7 | 第8課 | 現在完了 |
| 8 | 第9課 | 過去 |
| 9 | 第9課 | 再帰代名詞と再帰動詞 |
| 10 | 第10課 | 形容詞・副詞の比較 |
| 11 | 第10課 | 関係代名詞 |
| 12 | まとめ1 | これまでに学習したことの確認 |
| 13 | まとめ2 | これまでに学習したことの確認 |

フランス語 1

French 1

| 指導教員 | 年次・期間 | 単位 | 選必区分 |
|-------|--------|----|------|
| 谷口 智美 | 1年次:前期 | 1 | 選択必修 |

・授業の目的と概要

自己紹介や身近な人を紹介する、持ち物について、どこへ行くなど日常で出会う簡単な会話ができることが目標です。それらの内容について話すための語彙や文法事項を学習していきます。授業では、短い会話練習の口頭練習を中心に語彙・文法を習得します。

一般目標(GIO)

自分について(名前・住所・職業・国籍・趣味)話せる。

自分の身近な人(家族・友人)を紹介することができる。

自分の持ち物の有無が言える。

交通手段と行先を述べることができる。

・授業の方法

基本となる文法事項の解説の後に、簡単な会話練習をします。 授業ではペア・グループワークを中心に行います。

・準備学習や授業に対する心構え

予習・復習をして授業に臨んでください。また授業中に行われる活動には積極的に参加してください。

・オフィス・アワー

月曜日昼休み 講師控室

• 成績評価法

出席10% レポート・小テストなど40% 試験50%

教科主

『On pratique!』 北村亜矢子 他 朝日出版社

・参考書

授業中に適宜指示します。

| | 項目 | 到達目標(SBO s)・授業内容 |
|----|--------------------|---------------------------------------|
| 1 | イントロダクション 挨拶・名前を言う | 自分の名前をアルファベットで言う。挨拶をする |
| 2 | 国籍・出身を言う | フランス語の主語などの文法事項を学び、国籍や出身を言う |
| 3 | 職業を言う | 男性・女性形の変化を学ぶ。否定で答える練習をする |
| 4 | 話せる言語・住んでいる所を言う | フランス語の基本的な動詞の活用を学ぶ |
| 5 | 第三者を紹介する | 既習の文法事項のまとめ |
| 6 | 持ち物について話す | 動詞avoir(to have)の活用と語彙を学ぶ。否定文の中の冠詞の変化 |
| 7 | これまでのまとめ | 文法事項の確認、自己紹介と第三者を紹介する |
| 8 | 好きなものを言う① | 定冠詞について |
| 9 | 好きなものを言う② | 副詞を付け加えて、好きな程度を変えて言う |
| 10 | 行き先と交通手段を言う | 不規則動詞aller (to go) の活用 前置詞と定冠詞の縮約について |
| 11 | 家族を紹介する① | 所有形容詞の性質について |
| 12 | 家族を紹介する② | 人称代名詞の性質について |
| 13 | これまでのまとめ | 家族の日常生活について話す |

フランス語2

| 指導教員 | 年次・期間 | 単位 | 選必区分 |
|-------|--------|----|------|
| 谷口 智美 | 1年次・後期 | 1 | 選択必修 |

・授業の目的と概要

自分の日常生活について話せるようになることが後期の目標です。普段の食生活や居住空間について話していきます。また身近な人に対して何をプレゼントするか相談できるようにします。過去形を学習し、これまでの経験などについて話していきます。それらの内容について話すための語彙や文法事項を学習していきます。授業では短い会話練習を中心に語彙・文法を習得します。

・一般目標(GIO)

自分について(食生活・居住空間・過去の経験・その時の状況・感想)話せる。 自分の身近な人へのプレゼントの相談を友人とできる。

・授業の方法

基本となる文法事項の解説の後に、簡単な練習および発音練習をします。 授業ではペア・グループワークを中心に行います。

・準備学習や授業に対する心構え

予習・復習をして授業に臨んでください。また授業中に行われる活動には積極的に参加してください。

・オフィス・アワー

月曜日昼休み 講師控室

• 成績評価法

出席10% レポート・小テストなど40% 試験50%

教科書

『On pratique!』北村亜矢子 他 朝日出版社

・参老書

授業中に適宜指示します。

| 0 | 項目 | 到達目標(SBO s)・授業内容 |
|----|--------------|-----------------------------------|
| 1 | 朝食について話す | 部分冠詞と動詞prendre/ vouloir/ boireの活用 |
| 2 | 食生活について話す | 代名詞について |
| 3 | 自分の部屋について話す① | 部屋の中にあるものの語彙と前置詞について |
| 4 | 自分の部屋について話す② | 相手に自分の部屋の説明をする |
| 5 | 自分の部屋を描写する | 色の語彙の男・女性形の変化と命令形について |
| 6 | プレゼントの相談をする | 指示形容詞と語彙 |
| 7 | これまでのまとめ | 日常生活について話す(食生活・居住空間) |
| 8 | 過去の出来事を話す① | 助動詞avoirと過去分詞形について |
| 9 | 過去の出来事を話す② | 不規則変化をする過去分詞形 |
| 10 | 過去の出来事を話す③ | 助動詞?treを伴う動詞について |
| 11 | 過去の状況を話す① | 半過去形の活用について |
| 12 | 過去の出来事と状況を話す | 過去形と半過去形の区別をする |
| 13 | これまでのまとめ | 自分の経験したことを説明する |

中国語 1 Chinese 1

| 指導教員 | 年次・期間 | 単位 | 選必区分 |
|---------|--------|----|------|
| モクタリ 明子 | 1年次・前期 | 1 | 選択必修 |

・授業の目的と概要

まず中国語の要である発音をしっかりと習得した後、教科書に沿って基本的な文法項目を学んでいく。

・一般目標(GIO)

きちんと通じる発音を身につけ、授業で学んだ文法項目を使って自分が伝えたいことを中国語で組み立てられるようになる。 中国語を通して、私たちが慣れ親しんだ日本語とは異なるコミュニケーションの形態および文化的な背景に触れる。

・授業の方法

教科書に沿って基本となる文法項目を抑えたあと、声に出してスキットを読む練習をする。授業の終わりに、その日学習した項目を用いた自由会話を行い、定着度を確認する。

また、折に触れて、DVDなどを通し中国の文化を紹介する。

・準備学習や授業に対する心構え

事前に次回学習する項目に目を通してから授業に挑むのが理想的である。

また、復習、特に発音を十分に意識しながら文を組み立てる練習を積極的に行ってもらいたい。

中国語を習得し、話せるようになるのだという強い志を持って、授業に参加して頂きたい。

・オフィス・アワー

時間帯:月曜日の昼休み(12:10-13:00) 場所:講師控室

・成績評価法

定期試験と同様、授業態度(出席状況、中国語を習得しようとする姿勢の有無など)にも重きを置き、総合的に評価する。

教科書

『一年生のころ(改訂版)』相原茂・陳淑梅・飯田敦子 朝日出版社

・参考書

授業中に随時紹介する。

| | 項 目 | 到達目標(SBO s)・授業内容 | | | |
|----|-----------|-----------------------------------|--|--|--|
| 1 | イントロダクション | 中国語の基本的な背景を理解し、声調と常用の挨拶表現ができるように | | | |
| | | なる。 | | | |
| 2 | 発音練習・第一課 | 母音・鼻母音・子音の正確な発音の習得を目指す。また「私は~である」 | | | |
| | | を表す"是"構文および名前の言い方・尋ね方を学ぶ。 | | | |
| 3 | 発音総復習・第二課 | 発音の総復習する。また疑問詞「どの(哪个)・谁(誰)」を用いた表現 | | | |
| | | および指示詞を学ぶ。 | | | |
| 4 | 第三課 | 動詞述語文を学び、さまざまな動作を生産的に表せるようになる。 | | | |
| 5 | 第三課 | 疑問詞「何(什么)・どうですか(怎么样)」を用いた表現を学ぶ。 | | | |
| 6 | 第四課 | 形容詞述語文および「~したい」を表す"想"を学ぶ。 | | | |
| 7 | 第四課 | 選択疑問文 "还是" および述語の中に二つ以上の動詞を用いる連動式 | | | |
| | | 学ぶ。 | | | |
| 8 | 第五課 | 比較文を学ぶ。 | | | |
| 9 | 第五課 | 「~ねばならない、~したい」を表す助動詞の"要"を学ぶ。 | | | |
| 10 | 第六課 | 1から10までの数字を学び、年齢と電話番号の尋ね方・答え方ができる | | | |
| | | ようになる。 | | | |
| 11 | 第六課 | 所有・存在を表す"有"構文および"在"構文を学ぶ。 | | | |
| 12 | まとめ (1) | これまで学んだことの総復習 | | | |
| 13 | まとめ (2) | これまで学んだことの総復習 | | | |

中国語2

| 指導教員 | 年次・期間 | 単位 | 選必区分 |
|---------|--------|----|------|
| モクタリ 明子 | 1年次・後期 | 1 | 選択必修 |

・授業の目的と概要

正確な発音ができているかを常に意識しながら、教科書に沿って基本的な文法項目を学んでいく。

一般目標(GIO)

きちんと通じる発音を身につけ、授業で学んだ文法項目を使って自分が伝えたいことを中国語で組み立てられるようになる。 中国語を通して、私たちが慣れ親しんだ日本語とは異なるコミュニケーションの形態および文化的な背景に触れる。

・授業の方法

教科書に沿って基本となる文法項目を抑えたあと、声に出してスキットを読む練習をする。授業の終わりに、その日学習した項目を用いた自由会話を行い、定着度を確認する。また、折に触れて、DVDなどを通し中国の文化を紹介する。

・準備学習や授業に対する心構え

事前に次回学習する項目に目を通してから授業に挑むのが理想的である。また、復習、特に発音を十分に意識しながら文を組み立てる練習を積極的に行ってもらいたい。中国語を習得し、話せるようになるのだという強い志を持って、授業に参加して頂きたい。

・オフィス・アワー

時間帯:月曜日の昼休み(12:10-13:00) 場所:講師控室

・成績評価法

定期試験と同様、授業態度(出席状況、中国語を習得しようとする姿勢の有無など)にも重きを置き、総合的に評価する。

教科書

『一年生のころ(改訂版)』, 相原茂・陳淑梅・飯田敦子 朝日出版社

・参考書

授業中に随時紹介する。

| | 項目 | 到達目標(SBO s)・授業内容 |
|----|---------|--|
| 1 | 第七課 | 年月日・時刻が言えるようになる。また文末助詞"了"の説明を理解する。 |
| 2 | 第七課 | 意志・習慣の否定を表す"不"と動作の発生・存在の否定を表す"没"を学ぶ。 |
| 3 | 第八課 | 場所を表すことば を学ぶ。また「~で(在)」「~から(从)」「~へ向かって(往)」を表す前置詞を学び、道を尋ねられ、その答えが聞きとれるようになる。 |
| 4 | 第八課 | 進行の表し方、および100以上の数字とお金の言い方を学ぶ。 |
| 5 | 第九課 | 量詞 および第7課で学んだ文末助詞"了"の他の用法を学ぶ。 |
| 6 | 第九課 | 動作が行われた結果を表す結果補語および進行を表す"着"を学ぶ。 |
| 7 | 第十課 | 「~できる」を表す "会" "可以" および「~と同じ」を表す "和 (=跟) ~一样" を学ぶ。 |
| 8 | 第十課 | 「ちょっと~してみる」を表す"试试"および動詞のあとに置いて「しばらくの間~する」を表す"一会儿"を学ぶ。 |
| 9 | 第十一課 | 「~に」「~のために」を表す前置詞 "给" および 二重目的語をとる動詞とその用法を学ぶ。 |
| 10 | 第十一課 | 経験を表す"过"および様態補語を導く"得"を学ぶ。 |
| 11 | 第十一課 | 「~しなければならない」を表す助動詞"得"を学ぶ。 |
| 12 | まとめ (1) | これまで学んだことの総復習 |
| 13 | まとめ (2) | これまで学んだことの総復習 |

ハングル1 Korean 1

| | 指導教員 | 年次・期間 | 単位 | 選必区分 |
|---|------|--------|----|------|
| 李 | 銀淑 | 1年次・前期 | 1 | 選択必修 |

・授業の目的と概要

韓国語の文字である「ハングル」の習得し、簡単な会話を身につける。また韓国の文化や国について紹介を行う。

・一般目標(GIO)

ハングルの読み書きができ、スマートフォンやパソコンでメール作成などの多様な活用ができる。 また簡単な自己紹介や会話ができる。韓国語の文化、社会に触れることにより、異文化、自文化への認識を高めて欲しい。

・授業の方法

視聴覚教材やスマートフォンを活用し、ペアやグループで練習する。映像などを通じて韓国文化も紹介する。

・準備学習や授業に対する心構え

- 1. 発音やイントネーションに慣れるために教科書付属のCDをくり返し聞くこと。
- 2. 毎回の宿題・復習が求められる。(プリント資料配付する)
- 3. 課題は必ず期日までに提出すること。

・オフィス・アワー

月曜日の昼休み (12:10-13:00)、講師室にて

・成績評価法

定期試験50% 平常点 (課題、小テスト、授業参加度、出席) 50%

・教科書

『どんどん身につく韓国語入門』オ・スンウン コスモピア

・参考書

授業中に適宜紹介する。

| | 項目 | 到達目標(SBO s)・授業内容 |
|----|---------------|-----------------------------------|
| 1 | 挨拶表現、ハングル 第1課 | 韓国語に対する理解や基本挨拶ができる。 |
| 2 | ハングル 第1課 | ハングルの構造が理解できる。 |
| 3 | ハングル 第2課 | ハングルの読み書き、好きな物が言える。 |
| 4 | ハングル 第2課 | ハングルの読み書き、簡単な自己紹介ができる。 |
| 5 | ハングル 第3課 | ハングルの読み書き、ハングルで名前が書ける。 |
| 6 | ハングル 第3課 | ハングルの読み書き、ハングルで名前が書ける。 |
| 7 | ハングル 第4課 | ハングルの読み書き、物を数えることができる。 |
| 8 | ハングル 第4課 | ハングルの読み書き、韓国文化 |
| 9 | ハングル 第4課 | ハングルの読み書き、ハングルでEメール作成 |
| 10 | ハングル復習、K-POP | ハングルの読み書き、韓国語でK-POPが歌える。 |
| 11 | 第1章 挨拶·第2章 職業 | 相手の名前・国・職業を尋ね、答える。 |
| 12 | 第3章 これは何ですか | 「コソアド」の指示代名詞を使って、どんな物か、誰の物かを尋ね、答え |
| | | ることができる。 |
| 13 | まとめ | 復習 |

ハングル2

| 指導教員 | 年次・期間 | 単位 | 選必区分 |
|------|--------|----|------|
| 李 銀淑 | 1年次・後期 | 1 | 選択必修 |

・授業の目的と概要

日常生活や韓国旅行先で使える様々なシチュエーションに応じたコミュニケーションを楽しんで身につける。「ハングル1」 (前期)と連携して授業を行う。

・一般目標(GIO)

挨拶のしかた、職業や趣味、食事、買い物のことなど、日常的な場面での基本的な会話表現を習得して、韓国旅行に必要な情報も得る。この授業が終了しても独学など学習を続けることができるようにしたい。

授業の方法

パートナーとの対話、グループ練習を通して、文法の定着をはかる。「読む・聞く・書く・話す」 4 つの技能を使ってコミュニケーション能力を養成する。

・準備学習や授業に対する心構え

- 1. 発音やイントネーションに慣れるために教科書付属のCDをくり返し聞くこと。
- 2. 毎回の宿題・復習が求められる。(プリント資料配付する)
- 3. 課題は必ず期日までに提出すること。

・オフィス・アワー

月曜日の昼休み(12:10-13:00)、講師室にて

• 成績評価法

定期試験50% 平常点 (課題、小テスト、授業参加度、出席) 50%

教科書

『どんどん身につく韓国語入門』オ・スンウン コスモピア

・参考書

授業中に適宜紹介する。

| | | 項目 | 到達目標(SBO s)・授業内容 |
|----|------|----------------|------------------------|
| 1 | 第4章 | トイレはどこにありますか | 場所の位置を尋ね、答えることができる |
| 2 | 第5章 | 韓国の友だちがいますか | いくつあるか、何人いるかが言える |
| 3 | 第6章 | 電話番号は何番ですか | 電話番号を尋ね、答えることができる |
| 4 | 第7章 | 誕生日はいつですか | 日付・曜日を尋ね、答えることができる |
| 5 | 第8章 | 時間 | 学校生活について尋ね、答える |
| 6 | 第9章 | 地下鉄で家に帰ります | 家までかかる時間を尋ね、答える |
| 7 | 第10章 | 全部でいくらですか | お店で注文や買い物ができる |
| 8 | 第11章 | どこで夕食をしますか | 1日の日課について話す |
| 9 | 第12章 | 動詞の現在形 | 動詞の基本形から「~ます」の形にできる |
| 10 | 第12章 | 毎週日曜日に映画を見ます | 趣味について尋ね、答えることができる |
| 11 | 第13章 | 頭が痛いです | 形容詞の現在形。風邪の症状について話す |
| 12 | 第14章 | 先週済州道に旅行に行きました | 動詞の過去形を使って尋ね、答えることができる |
| 13 | まとめ | | 復習 |

身体運動科学

Physical Science and Sport Theory

| 指導教員 | 年次・期間 | 単位 | 選必区分 |
|-------|--------|----|------|
| 当麻 成人 | 1年次・前期 | 1 | 必修 |

・授業の目的と概要

運動・スポーツの生理学的基礎、および健康の保持・増進という観点から運動・スポーツの理論について解説する。また、運動・スポーツが、中高年の健康の保持増進、および生活習慣病の予防効果を解説する。さらに子どもの発育発達とスポーツ・運動の影響を解説する。

また、生活習慣病の運動療法、介護予防に及ぼす運動・スポーツの有効性について、社会経済的視点とも関連させて解説する。

・一般目標(GIO)

私たちが、生活する現代社会は、日常生活において身体活動が著しく不足する傾向にある、そのためさまざまな生活習慣病の発症を助長している。子供から高齢者に至るすべての年齢層において、意識的に運動・スポーツを定期的に行うライフスタイルの構築が必要と思われる。

本講義を通して運動・スポーツの生理学的基礎理論を踏まえて運動・スポーツが健康の保持増進にとっていかに重要であるかを理解し積極的に運動・スポーツの実践へ取り組む事へとつなげる。

・授業の方法

講義による

・準備学習や授業に対する心構え

自身の身体について興味を持ち、身体を鍛えることに関心を持っていただきたい。

・オフィス・アワー

B棟1階 当麻研究室 水曜日16:30~17:00

• 成績評価法

定期試験70% 平常点30% (レポート、小テストなど)

・教科書

指定しない

・参考書

適宜指示

| ・投業計 | | |
|------|--------------------------------------|---|
| | 項目 | 到達目標(SBO s)・授業内容 |
| 1 | 健康の保持増進 | 現代社会において、運動・スポーツが健康の保持増進、生活習慣病予防のために重要であることを理解する。日本の健康づくりの施策について解説する。 |
| 2 | 健康の保持増進のための運動・スポーツの理論(1) | (1) トレーニング概論 トレーニングの理論とトレーニング条件(強度・頻度・期間)について概説する。また、 暑熱環境下におけるトレーニング時の水分補給の重要性について健康管理という視点か ら解説する。 |
| 3 | 健康の保持増進のための運動・スポー ツの理論 (2) | 筋力と筋量増強に及ぼすレジスタンストレーニングの効果について、健康の保持増進という観点から解説する。 |
| 4 | 健康の保持増進と運動・スポーツ 子どもの発育発達と健康 | 少年期から思春期を経て青年期に至る身体の形態発育、及び機能発達とそれらに影響を 及ぼす運動習慣と各種運動・スポーツの効果について、健全な発育と健康管理という視 点から解説する。 |
| 5 | 生活習慣病に対する適切な運動療法 | 生活習慣病に対する適切な運動療法について、注意点と運動処方の実際について解説する。 |
| 6 | 老化防止・介護予防と運動・スポーツ | 高齢社会における介護予防QOL向上という視点から高齢者に対する運動・スポーツの有効性について解説する。 |
| 7 | 生活習慣病予防と運動・スポーツ (1) | メタボリックシンドロームの概念と定義を概説し、その基礎疾患である内臓脂肪型肥満、 肥満判定について解説する。 |
| 8 | 生活習慣病予防と運動・スポーツ(2) | 高血圧症、動脈硬化の発症メカニズムとそれらの運動療法について解説する。 |
| 9 | 運動・スポーツの生理学 (1) 呼吸・循環器系機能と運動スポーツ | 持久性トレーニングによる最大酸素摂取量の増加と持久性運動能力の向上について解説 する。 |
| 10 | 運動・スポーツの生理学 (2) 神経・骨格筋系機能と運動・スポーツ | 骨格筋の構造と機能および運動トレーニングが骨格筋に及ぼす影響について解説する。 |
| 11 | 運動・スポーツの生理学(3) | エアロビック、およびアネロビックにおけるエネルギー代謝、栄養素の機能などについて解説する。 |
| 12 | 運動と安全 | スポーツ障害の予防と救急処置法、心肺蘇生法について解説する。 |
| 13 | 運動プログラムの管理と運動負荷試験 | 運動プログラムを実施するにあたり必要なメディカルチェック、および運動負荷試験などについて解説する。 |

スポーツ・運動実習1

Sports Exercise 1

| | 指導教員 | | | | 年次・期間 | 単位 | 選必区分 | |
|--------|-------|----|----|----|-------|--------|------|----|
| ☆当麻 成人 | 橋口 雅美 | 宮田 | 真希 | 門川 | 裕美 | 1年次・前期 | 1 | 必修 |

・授業の目的と概要

スポーツ・運動は幼少時の経験がある無しにより運動動作がスムースに行えたり、思うように行えなかったりすることは知られている。スポーツ・運動の経験時間があまりなかった人は、そのまま成長していく傾向にありスポーツ・運動を敬遠してしまう事が多いと思われる。とはいえ身体運動は健康の保持増進のために必要であることも認知されている。授業ではスポーツ・運動に馴染めるように、さまざまな種目を経験する。生活に積極的にスポーツ・運動を取り入れる習慣を身につけていただきたい。

身体を動かすことの楽しさ、身体を動かすことの大切さを学ぶことは心身ともに豊かに成長することにつながる事を理解する。

・一般目標(GIO)

基礎体力の向上を図る。行われる種目の技能、技術の獲得。

・授業の方法

体育館1階、体育館2階、テニスコート、グランドそれぞれの施設により個人種目、団体種目を行う。 また、自然を身近に感じながら基礎体力向上を図るため阿武山を登山する。

・準備学習や授業に対する心構え

規則正しい生活を送る。(睡眠不足などによる注意不足・散漫な態度などは怪我や大きな事故につながることが多いため十分な休養をとり参加すること)

・オフィス・アワー

B棟1階 当麻研究室 水曜日16:30~17:00

・成績評価法

身体活動量の確保、技能の向上(50%)

努力・意欲の度合い、コミュニケーションの度合い、マナー・礼節の実践(50%)

| | 項目 | 到達目標(SBO s)・授業内容 |
|------|---|---|
| 1 | オリエンテーション | 授業内容の具体的な説明および諸注意など。 |
| 2~10 | ①団体種目②個人種目 ※(基本的に①②を交互に行う)雨天時 は適宜対応 | 基本的技術を獲得した後、ルール説明後主にゲームを行い身体活動量の 獲得と技能の向上を図る。 登山は天候の状況などにより実施を判断する。 |

情報科学

Information Science

| | 指導教員 | 年次・期間 | 単位 | 選必区分 |
|----------|------|--------|----|------|
| ☆林 武文 下川 | 敏雄 | 1年次・後期 | 1 | 選択 |

・授業の目的と概要

近年の情報処理技術の進歩は目覚ましく、コンピュータはさまざまな分野に幅広く浸透している。その結果、薬学分野で活躍する人材においても、コンピュータリテラシーの修得が不可欠なものとなっている。しかも、単にコンピュータの利用方法を覚えるだけでなく、取り扱うことのできる情報についてデータベース技術などを背景にして、どのように整理し活用し表現するかという幅広い知識を修得し、コンピュータを使った情報リテラシーとしての問題解決のセンスを養うことが真に求められているのである。

本講義では、情報科学において、薬学系の学生が関係する分野からテーマを選び、その技術内容の解説と事例紹介を行う。受講者が情報科学の全体像を把握するとともに、個別の技術の概要について興味をもって学べるよう、具体例を示しながら授業を行う予定である。

・一般目標(GIO)

情報の授受に効果的なコンピュータの利用方法を理解し、必要なデータや情報を有効活用できるようになるために、インターネットを利用した情報の収集、開示、データベースの使用法、応用などに関する基本的知識、技能、態度を修得する。

・授業の方法

スライドやビデオを用いて講義を行う。

・準備学習や授業に対する心構え

時間的な制約によりコンピュータ教室で実習を行うことが不可能であるため、各自でコンピュータ利用時に授業で学んだ事 を確認するよう心掛けること。

・オフィス・アワー

担当者は非常勤であるため、質問等がある場合には、授業終了後に教室で声を掛けて頂きたい。また、電子メールでの質問も歓迎する(hayashi@res.kutc.kansai-u.ac.jp)。

・成績評価法

レポート、試験、平常点を総合して評価を行う

・教科書

毎回プリントを配付する

・参考書

『情報の文明学』梅棹忠夫、中公文庫

『新・電子立国<1> ソフトウェア帝国の誕生』相田 洋 他、NHKライブラリー

『医学への統計学』丹後俊郎、朝倉書店

『統計学のセンス―デザインする視点・データを見る目』丹後俊郎、朝倉書店

『ビジュアル情報処理 -CG・画像処理入門-』CG-ARTS協会 編、CG-ARTS協会

『ヒューマンインタフェースの心理と生理』 吉川栄和 編著、コロナ社

| | 項目 | 到達目標(SBO s)・授業内容 |
|----|---------------|--|
| 1 | 医療統計と臨床試験データマ | [下川] 確率・統計の基礎:確率、条件付き確率、Bayesの定理 |
| | ネジメント(1) | |
| 2 | 医療統計と臨床試験データマ | [下川] 確率・統計(数字)をつかった「ウソ」: 水俣病およびサリドマイド事件を例に |
| | ネジメント (2) | |
| 3 | 医療統計と臨床試験データマ | [下川] 臨床試験データマネジメント事始め: 臨床試験の仕組みとデータベース・マネジメント・ |
| | ネジメント (3) | システム |
| 4 | 医療統計と臨床試験データマ | [下川] 最近の医薬品開発:国際共同治験におけるデータマネジメント |
| | ネジメント (4) | |
| 5 | 情報科学概論(1) | [林] 情報リテラシー:パソコンの基礎とアプリケーションソフトの利用技術 |
| 6 | 情報科学概論(2) | [林] ハードウェア: コンピュータと周辺機器の仕組み |
| 7 | 情報科学概論(3) | [林] ソフトウェア:ソフトウェアの仕組み、プログラミング言語 |
| 8 | 情報科学概論(4) | [林] ネットワーク:インターネットの仕組み、サービスと利用技術 |
| 9 | 情報科学概論(5) | [林] 薬学分野の事例:スーパーコンピュータ「京」を用いた新薬の開発 |
| 10 | 情報の視覚表現 (1) | [林] ディジタル画像表現:ディジタル画像の仕組み、画像処理 |
| 11 | 情報の視覚表現 (2) | [林] 情報の可視化: 3次元CGの仕組み可視化技術 |
| 12 | 情報の視覚表現 (3) | [林] 色の表現方法: 色の知覚と表色系、色の心理効果 |
| 13 | 情報の視覚表現 (4) | [林] ヒューマンインタフェース:ヒューマンインタフェースとその応用分野、カラーユニバー |
| | | サルデザイン |

情報科学演習

Exercises in Information Science

| 指導教員 | 年次・期間 | 単位 | 選必区分 |
|-------|--------|----|------|
| 浦田 秀仁 | 1年次・前期 | 1 | 必修 |

・授業の目的と概要

近年、医療業界においても、IT化の伸展により、コンピュータの利用は必須になっており、情報処理能力が多くの場面で求められています。本演習では、基礎となる情報処理技術を修得することにより、今後ますます高度化していくITスキルに柔軟に対応していける技能と、それに関する基礎知識を学びます。

一般目標(GIO)

情報処理に必要な基礎となるコンピュータの知識及び使用方法を修得する。

・授業の方法

一人に一台のパソコンを利用してコンピュータの基礎教育を行う。Windowsのパソコン、ワープロ、表計算、グラフ作成などを行う。

・準備学習や授業に対する心構え

ITに慣れ親しむ事が重要ですので、普段からコンピュータを操作することを心がけてください。

・オフィス・アワー

授業中に別途指示します。

・成績評価法

授業への出席状況と課題レポートなどにより評価する。

・教科書

『情報リテラシー Office2007』FOM出版

・参考書

『WindowsVista SP1 (FPT0806)』 F O M 出版

『Word2007 (FPT0628)』 FOM出版 『Excel2007 (FPT0626)』 FOM出版

『PowerPoint 2007 (FPT0630)』 FOM出版

| | 項目 | 到達目標(SBO s)・授業内容 |
|----|------------------|---|
| 1 | ガイダンスとデータベースの利用 | コンピューターの利用方法を理解することができる。データベースを利 |
| | | 用することができる。 |
| 2 | コンピューターの概要とリテラシー | コンピューターの基本操作を行うことができ、コンピューターを安全に 利用できる知識を修得する。 |
| 3 | ワープロソフト | ワープロソフトの基本操作を行うことができる。 |
| 4 | ワープロソフト | ワープロソフトの書式の設定を行うことができる。 |
| 5 | ワープロソフト | ワープロソフトを用いて文書を作成できる。 |
| 6 | 表計算ソフト | 表計算ソフトの基本操作を行うことができる。 |
| 7 | 表計算ソフト | 表計算ソフトの基本操作を行うことができる。 |
| 8 | 表計算ソフト | 表計算ソフトの関数を使用することができる。 |
| 9 | 表計算ソフト | 表計算ソフトでグラフ作成を行うことができる。 |
| 10 | プレゼンテーションソフト | プレゼンテーションソフトの基本操作を行うことができる。 |
| 11 | プレゼンテーションソフト | プレゼンテーションソフトの基本操作を行うことができる。 |
| 12 | 化学構造式ソフト | 化学構造式ソフトの基本操作を行うことができる。 |
| 13 | ソフトウェアの活用 | インターネット、ワープロソフト、表計算ソフトなど使用してレポート を作成することができる。 |

化学

| | 指導教員 | | | | | | | | | 年次・ | 期間 | 単位 | 選必区分 | |
|---|----------|----------|----------|----------|------|----------|---------|----------|----|-----|-----|-----|------|----|
| ☆ | 大桃 箕浦 | 善朗 克彦 | 宮本 浅野 | 勝城 晶子 | 山田平田 | 剛司 雅彦 | 尹 山沖 | 康子 留美 | 宮崎 | 誠 | 1年次 | ・前期 | 1 | 必修 |

・授業の目的と概要

高校で学んだ化学の知識は、十分身についていますか?

化学は物質の構造、性質や、その相互作用などに関する総合的体系的学問です。化学は、私たちの実生活と密接に結びついているのみならず、私たち一人一人の生命活動とも深い関係を持っています。

また、皆さんが学ぼうとしている「くすり」の多くも、典型的な化学物質といってよいでしょう。

皆さんがこれから学ぶ薬学の中のさまざまな学問の最も基礎となるものの一つが化学です。化学の基礎知識が十分でなければ、これから学ぶ大学での薬学系諸学問を理解することはきわめて困難でしょう。

この科目の目的は、高校の化学と大学における化学系専門科目との橋渡しです。

一般日標(GIO)

有機化学を除く化学全般について、高校の復習からはじめて、化学の基礎知識をしっかり身につけ、さらに、大学における化学系専門科目を学ぶうえで必要不可欠なより高度な知識の習得を目指します。

・授業の方法

講義を中心に行い、必要に応じて演習を実施する。

・準備学習や授業に対する心構え

講義内容を正しく理解するために、毎回きちんと出席し、ノートをとりながら集中して受講すること、また、予習、復習など不断の努力が重要です。

・オフィス・アワー

時間:講義、会議などで不在時以外随時

場所:各担当者の研究室(講義開始時に具体的に指示します。)

• 成績評価法

定期試験、授業への出席状況、レポート、小テスト等をもとに、総合的に判断して評価する。

・教科書

『これでわかる化学演習』 矢野潤 他、三共出版

・参考書

必要に応じて、講義時に指示する。

| | 項目 | 到達目標(SBO s)・授業内容 | コアカリキュラム番号 |
|----|-------------|--|---------------------------|
| 1 | 化学の基礎、原子の構造 | 物質の構成、原子の構造、原子軌道、原子の電子配置につ いて説明できる。 | |
| 2 | 化学結合 | 化学結合とその種類について説明できる。 | [C1(1)①-1] |
| 3 | 分子軌道 | 分子軌道、混成軌道について説明できる。 | [C1(1)1]-2] |
| 4 | 分子の極性、分子間力 | 分子の極性、分子間に働く力について説明できる。 | [C1(1)2-1, 2,3,4,5] |
| 5 | 単位、有効数字 | SI単位系、有効数字について説明できる。 | |
| 6 | 物質量と化学量論 | 物質量、原子量、分子量、式量と化学反応式について説明 できる。 | |
| 7 | 溶液と濃度 | 溶液の濃度の様々な表し方について説明できる。 | |
| 8 | 酸と塩基 | 酸と塩基、水素イオン濃度、中和について説明できる。 | 【C2(2)①-1、 2、4、(3)②-1】 |
| 9 | 化学平衡 | 一般的な化学平衡について説明できる。 | |
| 10 | 電離平衡 | 弱酸、弱塩基の電離平衡について説明できる。 | |
| 11 | 溶液のpH | 種々の溶液、緩衝液のpHを計算で求めることができる。 | |
| 12 | 溶解度積、溶解平衡 | 溶解度積、溶解平衡について説明できる。 | [C2(2)2-2] |
| 13 | 酸化と還元 | 酸化と還元、酸化剤と還元剤の強さ、酸化還元反応について説明できる。 | |

化学演習

| | 指導教員 | | | | | | | | 年次・ | 期間 | 単位 | 選必区分 |
|----------------|------|----------|----------|----------|---------|----------|----|---|-----|-----|----|------|
| ☆大桃 善身 箕浦 克 | | 勝城 晶子 | 山田 平田 | 剛司 雅彦 | 尹 山沖 | 康子 留美 | 宮崎 | 誠 | 1年次 | ・前期 | 1 | 必修 |

・授業の目的と概要

「化学演習」では、物質の構造、性質や、その相互作用などに関する総合的体系的学問である化学の基本事項を確認しながら、 授業「化学」で学んだ知識を、演習を通して確実に習得することを目的としています。

一般目標(GIO)

化学物質の基本的性質を理解するために、原子・分子の構造、化学的性質などの基本的知識を習得し、それらを応用する技能を身につける。

・授業の方法

基本事項の解説を行うと共に、受講者自ら練習問題に取り組むことで、確実な理解を目指します。

・準備学習や授業に対する心構え

化学計算を中心に演習形式で授業を進めるため、各自が積極的に課題に取り組むことが重要です。 演習内容を充分習得するために、予習・復習(30分程度)を欠かさず行ってください。

・オフィス・アワー

時間:講義、会議などで不在時以外随時

場所:各担当者の研究室(演習開始時に具体的に指示します。)

・成績評価法

授業への出席状況、レポート、小テスト等をもとに、総合的に判断して評価する。

・教科書

『これでわかる化学演習』 矢野潤 他、三共出版

・参考書

必要に応じて、講義時に指示する。

| | 項目 | 到達目標(SBO s)・授業内容 | コアカリキュラム番号 |
|----|--------------------|------------------------------------|---------------------------|
| 1 | 化学の基礎、原子の構造についての演習 | 物質の構成、原子の構造、原子軌道、原子の電子配置について説明できる。 | |
| 2 | 化学結合についての演習 | 化学結合とその種類について説明できる。 | 【C1(1)①-1】 |
| 3 | 分子軌道についての演習 | 分子軌道、混成軌道について説明できる。 | [C1(1)①-2] |
| 4 | 分子の極性、分子間力についての演習 | 分子の極性、分子間に働く力について説明できる。 | 【C1(1)②-1、 2、3、4、5】 |
| 5 | 単位、有効数字についての演習 | SI単位系、有効数字について説明できる。 | |
| 6 | 物質量と化学量論についての演習 | 物質量、原子量、分子量、式量と化学反応式について説明 できる。 | |
| 7 | 溶液と濃度についての演習 | 溶液の濃度の様々な表し方について説明できる。 | |
| 8 | 酸と塩基についての演習 | 酸と塩基、水素イオン濃度、中和について説明できる。 | [C2(2)①-1、 2、4、(3)②-1] |
| 9 | 化学平衡についての演習 | 一般的な化学平衡について説明できる。 | |
| 10 | 電離平衡についての演習 | 弱酸、弱塩基の電離平衡について説明できる。 | |
| 11 | 溶液のpHについての演習 | 種々の溶液、緩衝液のpHを計算で求めることができる。 | |
| 12 | 溶解度積、溶解平衡についての演習 | 溶解度積、溶解平衡について説明できる。 | [C2(2)2-2] |
| 13 | 酸化と還元についての演習 | 酸化と還元、酸化剤と還元剤の強さ、酸化還元反応について説明できる。 | |

生物学 Biology

| 指導教員 | 年次・期間 | 単位 | 選必区分 |
|------|--------|----|------|
| 坂口 実 | 1年次・前期 | 1 | 必修 |

・授業の目的と概要

この授業は、これから大学で生物系科目を学ぶために必要な基礎知識の修得を目的としています。高校で「生物」を履修していなかった、あるいは「基礎生物」もほとんど学習しなかった人にもわかるように解説します。

生物学の知識は、これから学ぶ基礎薬学・応用薬学科目を理解するための基礎知識として重要です。また、今日、テレビ番組や新聞には、先端医療や生命科学の進歩、食品の安全性や健康・疾病に関する話題など、その理解に生物学の知識が必要な情報が氾濫しています。もはや生物学は、現代人ならだれもが学んでおくべき学問になってきています。

・一般目標(GIO)

薬学を学ぶ上で必要な生物学の基礎力を身につけるために、細胞、組織、器官、個体レベルでの生命現象に関する基本的知識を修得する。

・授業の方法

教科書を中心に、補助的にプリントも使用して講義形式で行います。

必要に応じて、スライド・ビデオ等の補助教材を利用して解説します。期間中、理解度を確認するための小テストを行うこともあります。

・準備学習や授業に対する心構え

毎回の授業内容が、基本的な知識として以降の授業内容の基礎になるので、十分な復習が必要です。

・オフィス・アワー

平日随時。ただし、担当授業・実習および会議の時間帯は不在。

B棟5階 生体機能解析学研究室

。成绩逐価法

学期末の定期試験の成績に、出席状況・小テストの成績・受講態度等を加味して、概ね定期試験8割、平常点2割(小テスト、出席など)の割合で総合評価する。

・教科書

『基礎細胞生物学』坂口 実、京都廣川書店

・参考書

『生物学』第2版、石川 統 編、東京化学同人 『生命科学』改訂版、金原 粲 監修、実教出版

| | 項目 | 到達目標(SBO s)・授業内容 | コアカリキュラム番号 |
|----|-----------------------|--|---|
| 1 | 多細胞生物である高等動物 の成り立ち | 生体高分子、細胞、組織、器官、個体を関係づけて概説できる。動物、 植物、 | [C8(3)①-1] |
| | | 微生物の細胞について、それらの構造の違いを説明できる。 | |
| 2 | 細胞の構造と細胞小器官 | 細胞小器官の構造と働きについて概説できる。 | 【C6(1)②-1、③-1、C6 (3)②-1】 |
| 3 | 細胞の構造と細胞小器官 | 細胞膜の構造と性質について概説できる。細胞間の接着構造および細胞外マトリックスを説明できる。 | 【C6(1)①-1,2,C6(3) ④-1,C6(6)①-1,C6 (6)③-1,2】 |
| 4 | 生体を構成する物質(1) | タンパク質の構造と機能について説明できる。 | 【C6(2)③-1、④-1、C6 (3)①-1】 |
| 5 | 生体を構成する物質(2) | 脂質、糖質の構造と機能について説明できる。 | [C6(2)①-1、②-1、2] |
| 6 | 生体を構成する物質(3) | 核酸の構造と機能について説明できる。 | [C6(2)(5)-1] |
| 7 | 生体内の化学反応(1) | 酵素について説明できる。 | [C6(3)(3)-1,2,3] |
| 8 | 生体内の化学反応 (2) | 酵素反応について説明できる。 | [C6(3)(3)-1,2,3] |
| 9 | 代謝とエネルギー (1) | 代謝(異化、同化)について説明できる。 | [C6(5)①-1、C6(5)② -1、2、3] |
| 10 | 代謝とエネルギー(2) | 従属栄養生物の代謝(物質代謝・エネルギー代謝)について概説 できる。 | [C6(5)②-1,2,3,③ -1,④-1,⑤-1] |
| 11 | 代謝とエネルギー(3) | 独立栄養生物の代謝。光合成について概説できる。 | [*] |
| 12 | 生体防御機構(1) | 生体の防御機構(自然免疫)について概説できる。 | [C8(1)①-1,2,3,4, ②-1,2,3,③-1,4,5] |
| 13 | 生体防御機構(2) | 生体の防御機構(獲得免疫)について概説できる。 | [C8(1)①-1,2,3,4, ②-1,2,3,③-1,4,5] |

基礎有機化学

Fundamental Organic Chemistry

| 指導教員 | 年次・期間 | 単位 | 選必区分 |
|-------|--------|----|------|
| 和田 俊一 | 1年次・前期 | 1 | 必修 |

・授業の目的と概要

有機化学は「炭素化合物の化学」と言われるように、炭素原子を含む化合物を対象とした学問であり、我々を取り巻く環境と密接な関わりを持っています。特に人間は有機物質によって構成され、生体内のほとんどの反応は有機物質が関与しています。また、私達が扱う医薬品の多くが有機反応で作られた有機化合物や天然有機化合物です。これらの観点から、薬学生の基礎知識として有機化学を学び、有機化合物の構造や化学的性質を理解することは極めて重要です。

「基礎有機化学」では高校の有機化学の復習を交え、大学で必要不可欠な有機化学の基礎知識をしっかり身につけ、新入学生の実力から大学専門科目に進むための必要不可欠な知識の習得を目指します。

・一般目標(GIO)

本授業では、基本的な有機化合物の性質を理解するために、その基本構造、物理的性質、反応性に関する基本的知識を修得することを目的としています。

・授業の方法

主として講義形式で行います。授業内容に則したプリントを用意します。

・準備学習や授業に対する心構え

授業を受けるのみだけではなく、普段の予習・復習が重要です。

随時、高校の化学の教科書や参考書を読んだり、分かりにくいところがあれば必ず質問しに来て下さい。

・オフィス・アワー

講義・会議等で不在の場合以外は随時、B棟6階機能分子創製化学研究室に来て下さい。

• 成績評価法

定期試験の成績(80%)、レポート(20%)で評価します。

教科書

『ビギナーズ有機化学』・川端 潤・化学同人 プリント教材

『HGS分子構造模型A型セット』・丸善

• 参老事

『高校の化学をイチからおさらいする本(有機化学編)』宇野正明、中経出版

『絶対わかる有機化学』斎藤勝裕、講談社サイエンティフィク

『有機化学入門』池田正澄 他、廣川書店

| | 項目 | 到達目標(SBO s)・授業内容 | コアカリキュラム番号 |
|----|-------------|---|--|
| 1 | 原子と結合1 | 原子の構造について説明できる | [C1(1)①-1] |
| 2 | 原子と結合2 | 化学結合の成り立ちについて説明できる | [C1(1)①-1,C3(1)①-3] |
| 3 | 有機分子の構造と命名法 | 炭化水素を列挙し、命名することができる | [C3(1)①-1、C3(1)①-2] |
| 4 | 有機分子の種類と性質 | 種々の官能基を有する化合物を列挙し、その物性を説明できる | [C1(1)@-5,C3(2)①-1,C3(3)①-1,C3(3)① -2,C3(3)③-1,C3(3)③-2,C3(3)⑤-1] |
| 5 | 異性体1 | 構造異性体と立体異性体について説明できる | [C3(1)@-1,C3(1)@-2,C3(1)@-3,C3(1)@ -5,C3(1)@-6,C3(1)@-7,C3(2)①-2] |
| 6 | 異性体 2 | 絶対配置の表示法を説明できる | [C3(1)@-1,C3(1)@-2,C3(1)@-3,C3(1)@ -5,C3(1)@-6,C3(1)@-7,C3(2)①-2] |
| 7 | 置換反応と脱離反応1 | 置換反応と脱離反応の特徴を説明できる | [C3(1)①-6、C3(3)②-1] |
| 8 | 置換反応と脱離反応2 | 置換反応と脱離反応の特徴を説明できる | [C3(1)①-6] |
| 9 | C=C二重結合の反応 | アルケンの代表的な反応を列挙し、説明できる | [C3(2)2-1] |
| 10 | C=O二重結合の反応 | アルデヒド類、ケトン類およびカルボン酸誘導 体の代表的な反応を列挙し、説明できる | [C3(3) 4-1, C3(3) 4-2] |
| 11 | ベンゼン環の反応 | ベンゼンの物性と反応性を説明できる | [C3(2)③-1] |
| 12 | 生体成分1 | 糖類および多糖類、アミノ酸の基本構造を概説 できる | [C4(1)①-1] |
| 13 | 生体成分2 | ペプチド、タンパク質、核酸の基本構造を概説 できる | [C4(1)①-1] |

薬学入門

Introduction to Pharmaceutical Sciences and Practices

| 指導教員 | | | | | | | | | 年次・ | 期間 | 単位 | 選必区分 | |
|------|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|------|----|
| ☆政田 | 幹夫 | 松村 | 人志 | 島本 | 史夫 | 阪本 | 恭子 | 西野 | 隆雄 | 1年次 | ・前期 | 1 | 必修 |

・授業の目的と概要

日本における薬学教育は、病院や薬局で働く薬剤師の養成に加えて、医薬品の創製に関わる基礎研究、医薬品開発、医薬品の製造に従事する研究者・技術者、衛生環境保全や薬事行政従事者等、多様な人材を養成してきた。

近年、医療の進歩と充実が求められるなかで、薬学教育に対する国民の期待も変化し、医療人としての質の高い薬剤師養成に大きな期待が寄せられている。薬学という学問自体も、医薬品という「モノ」を対象とする学問に加えて、薬物治療などのように「ヒト」を対象とする学問を充実させることが求められている。臨床の場での業務に携わるには、人間理解のための豊かな人間性やコミュニケーション能力を培い、幅広い教養と倫理観を身につけ、患者や医療関係者との信頼関係の確立を心がけなければならない。その上で、薬局における患者への服薬指導やサービスの向上、病院における医療チームの一員としての積極的な役割が期待される。

本講義を通じて、医学・薬学とは何かを知り、医療や社会における医学・薬学の役割、薬剤師の活動分野、薬剤師の使命を理解して、医療の担い手として備えておくべきヒューマニズムについて学ぶ。そして、薬学を学ぶにあたって、本学の授業科目の構成を把握し、大学における勉学に対する心構えを体得する。

授業は薬学概論(5回、担当:政田学長、西野)、医学概論(4回、担当:島本、松村人志)、生命倫理概論(1回、担当:阪本)の3部から構成される。

【薬学概論】

日本薬学会発行の冊子『これから薬学をはじめるあなたに』を用いて薬学を学ぼうとする学生諸君に薬学の歴史、薬学と薬剤師の現状と使命、薬の開発の流れを概説し、併せて大阪薬科大学の歴史と教育目標を紹介する。また、本学の講義、実習の構成を概説し、大学における勉学に対する心構え等について述べる。

【医学概論】

人間の生活における医学・医療及び医療者のかかわりについて、さまざまな角度から考えてみる。この社会を知り、自分自身を知り、今後、この社会の中で自分の果たすべき役割を考えるための一つの機会としたい。そしてその際に重要となるコミュニケーションについても考えてみよう。本学における医学・医療系の教育方針やその方向性についても説明する。

【生命倫理概論】

生命倫理の原則について、自分自身の言葉で説明できるようになる。一人の人間、そして一個の医療人として「生命(命を生きる)とは何か」を考える。

・一般目標(GIO)

医療人また薬の専門家として必要な基本的姿勢を身につけるため、医療、社会における薬学・医学の役割、薬剤師の使命を理解する。

・授業の方法

各講師による。

・準備学習や授業に対する心構え

毎回の授業を大切にして、授業内容を十分理解するように心がける。

・オフィス・アワー

随時、学長室、各指導教員の研究室。

・成績評価法

以下に示す薬学概論、医学概論、生命倫理概論の各成績を総合的に評価する。

【薬学概論(政田、西野)】課題レポートの成績、講義への出席を総合して評価する。

【医学概論(松村人志、島本)】それぞれ第2回目講義終了後の小テスト成績および出席状況を総合して評価する。

【生命倫理概論(阪本)】講義の参加態度で評価する。

・教科書

特になし。

・参考書

特になし。

| | 項目 | 到達目標(SBO s)・授業内容 | コアカリキュラム番号 |
|----|-------------------------------------|---|--|
| 1 | 薬学とは何か1 (政田) | 本学の学生としての自覚を育む。「薬剤師として求められる基本的な資質」について、具体例を挙げて説明できる。 | $[A(1) \textcircled{1}-1 \sim 7, A(1) \textcircled{2}-1 \sim 3, A(4)-1 \sim 5, A(5) \textcircled{2}-1 \sim 2]$ |
| 2 | 薬学を学ぶに当たって(西野) | 本学の歴史および教育目標を概説できる。薬学を学ぶに当たって、学習方法の基本的な事項を概説し、身につけることができる。生涯にわたって自ら学習する重要性を認識し、その意義について説明できる。 | [*,A(1)①-1~7,A(1)④-1, A(5)①-1~5,A(5)②-1~2, A(5)③-1] |
| 3 | 薬学と生命倫理 (阪本) | 薬学の臨床現場で、ひとの命をどのように扱うべきかを考える。一人の人間として命に向きあう態度と行動を知る。 | [A(1)①-1~7,A(1)②-18,A (1)④-4,A(2)①-1~4,A(2) ②-1~3,A(2)③-1~4,A (2)④-1~3,B(1)-1~5] |
| 4 | 薬学とは何か2 (政田 特別 講師) | 薬学の歴史的な流れと医療において薬学が果たしてきた役割について説明できる。 | [A(1)②-5,A(1)④-1,A(5) ②-2] |
| 5 | 薬について(西野) | 薬物療法の歴史と、人類に与えてきた影響について説明できる。医薬品の効果が確率論的であることを説明できる。 医薬品のリスクを認識し、患者を守る責任と義務を自覚する。 | _ , , _ , , _ |
| 6 | 薬剤師の役割(西野) | 薬剤師の誕生から現在までの役割の変遷の歴史(医薬分業を含む)について説明できる。患者・生活者のために薬剤師が果たすべき役割を自覚する。薬剤師の活動分野(医療機関、薬局、製薬企業、衛生行政等)と社会における役割について説明できる。医薬品の適正使用における薬剤師の役割とファーマシューティカルケアについて説明できる。医薬品の創製(研究開発、生産等)における薬剤師の役割について説明できる。健康管理、疾病予防、セルフメディケーション及び公衆衛生における薬剤師の役割について説明できる。薬物乱用防止、自殺防止における薬剤師の役割について説明できる。現代社会が抱える課題(少子・超高齢社会等)に対して、薬剤師が果たすべき役割を提案する。将来の薬剤師と薬学が果たす役割について討議する。 | (1) $\textcircled{4}$ -3 \sim 4 $, A$ (4) -1 \sim 5 $, A$ (5) |
| 7 | 医療と生命、医療の目的、 自己学習と生涯学習(島本) | 医療の目的(治療、延命、QOLなど)、死に関わる倫理的問題(安楽死、尊厳死など)について概説できる。医療を通して社会に貢献できるようになるために必要なこころ構えを身につけることができる。医療の担い手として生涯にわたって自ら学習する大切さを学ぶことができる。 | |
| 8 | 医療行為と患者権利、患者 の心理、チーム医療(島本) | 医療従事者が守るべき倫理規範、患者の基本的権利と自己 決定権、インフォームド・コンセント、医療事故、医療チーム内での薬剤師の役割について概説できる。医療行為に関 わるこころ構えを身につけることができる。病気が患者に 及ぼす心理的影響、患者や家族への配慮の大切さを学ぶこ とができる。 | |
| 9 | 社会におけるトラブルと パーソナリティの問題(松 村人志) | 医療現場においても、その他の人間社会の状況下においても、さまざまなトラブルが生じている。現代社会におけるトラブル、そして犯罪について、人間のパーソナリティの問題とも絡めて考えてみる。 | [A(1)①-46] |
| 10 | 現代医療の問題点と今後 (松村人志) | 現代社会にはさまざまな側面があり、現状を的確に把握すべく心掛けていなければ、今後の医療や社会全体の動向を読み誤ってしまうだろうし、結果的には、われわれの社会を、そしてわれわれの医療を、守り、健全に発展させていくことが困難になっていくだろう。現代社会を知り、そして現代及び近い将来の医療を考えることは、自分たちが今後を健全に生き抜くために不可欠である。 | [A(1)①-17] |

基礎細胞生物学

Fundamentals of Cell Biology

| 指導教員 | 年次・期間 | 単位 | 選必区分 |
|------|--------|-----|------|
| 坂口 実 | 1年次・後期 | 1.5 | 必修 |

・授業の目的と概要

生命の基本単位は細胞です。細胞生物学は、生体を構成する個々の分子が、細胞の中でどのような働きをしているかを知ることによって、生命活動の基本をとらえる学問です。

学習の対象は、分子から細胞小器官とよばれる細胞の内部構造、さらに細胞と細胞の相互作用が含まれるため、組織、器官、個体までを扱うことになります。

・一般目標(GIO)

細胞の機能を分子レベルで理解するために、遺伝子、遺伝子の複製、遺伝子の発現とその調節、および遺伝のしくみに関する基本的知識を修得する。

さらに、多細胞生物の成り立ちを細胞レベルで理解するために、細胞の増殖・分化・死の制御、生殖と発生、組織構築に関する基本的知識も修得します。

・授業の方法

教科書を中心に、補助的にプリントも使用して講義形式で行います。必要に応じて、スライド・ビデオ等の補助教材を利用して解説します。期間中、理解度を確認するための小テストを行うこともあります。

・準備学習や授業に対する心構え

前期の「生物学」と同じ教科書を使用しますので、前期の学習内容が基礎となります。

高校で「生物」を履修していた人であっても、より高度な内容についても解説しますので油断しないように注意して下さい。

・オフィス・アワー

平日随時。ただし、担当授業・実習および会議の時間帯は不在。

B棟5階 生体機能解析学研究室

・成績評価法

学期末の定期試験の成績に、出席状況・小テストの成績・受講態度等を加味して、概ね定期試験9割、平常点1割(小テスト、出席など)の割合で総合評価する。

・教科書

『FUNDAMENTAL 細胞生物学』 坂口 実、京都廣川書店

・参考書

『生物学』第2版、石川 統 編、東京化学同人

『生命科学』改訂版、金原 粲 監修、実教出版

『Essential 細胞生物学』原著第2版、中村圭子 他(訳)、南江堂

| | 項目 | 到達目標(SBO s)・授業内容 | コアカリキュラム番号 |
|----|--------------------------------|--|-----------------------------|
| 1 | 遺伝(1)-ヌクレオチドと核酸 | DNAとRNAの構造について説明できる。 | [C6(2)(5)-1,C6(4)(2)-3] |
| 2 | 遺伝(2)-遺伝情報を担う分子 | 染色体の構造、セントラルドグマ、RNAの種類と働きにつ | [C6(4)①-1,2,②-1] |
| | | いて説明できる。 | |
| 3 | 遺伝(3)-遺伝子の複製 | DNAの複製の過程について概説できる。 | [C6(4)(3)-1] |
| 4 | 遺伝(4)-遺伝子の発現(転写) | DNAからRNAへの転写、RNAのプロセシングについて 説明できる。 | [C6(4) ②-2、C6(4) ④-1、3、4] |
| 5 | 遺伝(5)-遺伝子の発現(翻訳) | RNAからタンパク質への翻訳過程について概説できる。 | [C6(3) ①-1、②-1、2、C6(4) ④-5] |
| 6 | 遺伝(6) - 遺伝情報の変異・修復 | 遺伝子の変異(突然変異)とDNAの修復について概説できる。 | [C6(4)(5)-1,C7(1)(1)-2] |
| 7 | 遺伝(7)-遺伝の決まり | 遺伝子の基本法則 (メンデルの法則など) を説明できる。性 染色体による性の決定と伴性遺伝を説明できる。 | [C7(1)①-1] |
| 8 | 発生と分化(1)-体細胞分裂、細胞周期、細胞死、がん | 細胞の増殖、死について概説できる。正常細胞とがん細胞の 違いを説明できる。 | [C6(7)①-1,2,②-1,③-1,2] |
| 9 | 発生と分化(2)-減数分裂、卵と 精子の形成、受精 | 減数分裂について説明できる。精子・卵の形成、受精の過程 について説明できる。 | [*] |
| 10 | 発生と分化(3)-卵割、胚形成 | 発生、胚形成について説明できる。細胞の分化機構について 概説できる。細胞集合による組織構築について説明できる。 | [C7(1)@-1,2] |
| 11 | 発生と分化(4)-発生の仕組み | 個体と器官が形成される発生過程を概説できる。形成体と誘導、誘導の連鎖について説明できる。 | [C7(1)@-1,2] |
| 12 | 発生と分化(5) - 発生の仕組み (ボディープラン) | 個体と器官が形成される発生過程を概説できる。発生をつか さどる発生遺伝子について説明できる。 | [*] |
| 13 | 発生と分化(6)-幹細胞と再生 医療 | 多細胞生物における細胞の多様性と幹細胞の性質について概 説できる。再生医療の原理、方法と手順、現状および倫理的 問題点を概説できる。 | [C7(1)@-2] |

有機化学1

| 指導教員 | 年次・期間 | 単位 | 選必区分 |
|--------|--------|-----|------|
| 宇佐美 吉英 | 1年次・後期 | 1.5 | 必修 |

・授業の目的と概要

有機化学とは生命体を形作る構成要素である炭素化合物に関する学問である。我々が薬学でこれから学んでいく「くすり」のほとんどは有機化合物である。その他、身の回りの多くのものもまた、有機化合物である。そのため、将来、医薬品や複雑な有機化合物を合成したりする領域に進む者はもちろん、「くすり」を患者に説明したりする領域や、生物系の分野に進む者にも、その基礎となる有機化学の習得は必須である。諸君は、既に「基礎有機化学」でその概説を学んだが、これより行われる本講義は、有機化学の基礎概念を徹底的に理解、習得することを目的とし、それは、今後の有機系科目をはじめとする様々な学問の理解、さらに、卒業後の様々な職業において必ず役立つはずである。本学全開講講座において最も重要な科目の1つと言って過言ではない。勿論、CBTおよび薬剤師国家試験のために必要な科目であることは言うまでもない。

・一般目標(GIO)

基本的な有機化合物の構造、物性、反応性を理解するために、電子配置、電子密度、化学結合の性質などに関する基本的知識を修得する。

・授業の方法

「有機化学1」では、薬学の基礎科目である有機化学の基礎概念について演習を交えながら講義形式で実施する。

・準備学習や授業に対する心構え

予習、復習は当然であり、時間的な事柄は基本的に学生の主体性に任せている。自分の習熟度に見合った勉強時間が必要である。何よりも自ら学問に取り組む姿勢が要求される。

・オフィス・アワー

随時(確実に会いたい学生は、アポイントメントを取ること)

B棟6階有機薬化学研究室

但し、予習、復習等の準備無しでの質問は受けません。礼節をわきまえること。

• 成績評価法

定期試験の成績を最重要視する。 試験は、如何に知っているかを問うものではなく、如何に理解しているかを問う問題が中心となる。基本的に試験の成績を主体とするが、最終的には授業に対する姿勢や態度等を含んだ平常点を加味して総合的に評価する。

・教科書

『ソロモンの新有機化学(上)』第11版 花房昭静、池田正澄、上西潤一(監訳)、廣川書店

・参考書

『基礎有機化学問題集』西出、片岡、廣田編集、廣川書店

| | 項目 | 到達目標(SBO s)・授業内容 | コアカリキュラム番号 |
|----|-------------------------|---|-----------------------------|
| 1 | 炭素化合物と化学結合 | 化学結合の成り立ちについて説明できる。 | [C1(1)1-1, C3(1)1-2] |
| 2 | 炭素化合物と化学結合 | 基本的な化合物のルイス構造式で書くことができる。共役や共鳴の 概念を説明できる。 | [C3(1)①-3、C1(1)①-3] |
| 3 | 炭素化合物と化学結合 | 軌道の混成について説明できる。分子軌道の基本概念を説明できる。 | [C1(1)1-2, C3(1)2-6] |
| 4 | 代表的な炭素化合物と化学反 応 | 軌道の混成について説明できる。分子軌道の基本概念を説明できる。 | [C1(1)1]-2] |
| 5 | 有機化合物の物理的性質と分 子構造 | 双極子間相互作用について例を挙げて説明できる。水素結合について例を挙げて説明できる。ファンデルワールス力について例を挙げて説明できる。 | [C1(1)2-1, 2, 3, 5] |
| 6 | 有機化学反応序論:酸と塩基 | 基本的な有機反応(置換、付加、脱離、転位)の特徴を概説できる。 有機反応を、電子の動きを示す矢印を用いて説明できる。アルコール、チオール、フェノール、カルボン酸などの酸性度を比較して説明できる。 | [C3(1)(1)-6, 9] |
| 7 | 有機化学反応序論:酸と塩基 | ルイス酸・塩基を定義することができる。 | [C3(1)1-5] |
| 8 | 代表的な有機化合物の命名法 | 基本的な炭化水素およびアルキル基をIUPACの規則に従って命名 することができる。 | [C3(1)(1)-1, 2] |
| 9 | アルカンの立体配座と配座解 析 | エタンおよびブタンの立体配座と安定性について説明できる。 Newman投影式を、用いて有機化合物の構造を書くことができる。 | [C3(1)(2)-7、8、C3(2)(1)-1] |
| 10 | シクロアルカンの立体配座と 相対的安定性 | シクロアルカンの環の歪みを決定する要因について説明できる。シ クロヘキサンのいす形配座と舟形配座を図示できる。 | [C3(2)①-3、4、5] |
| 11 | 立体化学、キラル分子 | エナンチオマーとジアステレオマーについて説明できる。 | [C3(1)(2)-1, 2, 3, 6] |
| 12 | 立体化学、キラル分子 | 絶対配置の表示法を説明できる。 | [C3(1)2-3, 5] |
| 13 | 立体化学、キラル分子 | キラリティーと光学活性を概説できる。 | [C1(1)(3)-4, C3(1)(2)-2, 4] |

物理化学1

Physical Chemistry 1

| 指導教員 | 年次・期間 | 単位 | 選必区分 |
|-------|--------|-----|------|
| 土井 光暢 | 1年次・後期 | 1.5 | 必修 |

・授業の目的と概要

「物理化学 1」では主に気体分子の運動に関連した性質と、熱の出入りと状態がもつエネルギーの関係について、巨視的・微視的観点から学びます。これらは今後、薬学で履修する物質の状態変化、化学平衡などを取り扱う多くの分野で基礎的知識として求められているので、十分な理解が求められます。

・一般目標(GIO)

気体の分子運動論と熱力学について説明できる。

・授業の方法

主に講義形式で授業を行う。

・準備学習や授業に対する心構え

薬学では最初から物理化学を苦手とする人、または、苦手意識をもっている人が多くいます。薬学で求められる物理化学の項目の一つ一つはそれほど難解ではありません。少しずつ例題などを解いて理解に努めて下さい。苦手を理由に放置すると、試験直前の勉強ではとても合格点には届きませんので授業の復習は必須です。

・オフィス・アワー

平日 (月~金) において随時

・成績評価法

定期試験、小テスト等から総合的に判断して評価する。

・教科書

プリント等を配付する。

・参考書

必要に応じて、講義時に指示する。

| | 項目 | 到達目標(SBO s)・授業内容 | コアカリキュラム番号 |
|----|--------------|---------------------------------------|------------------|
| 1 | 基本単位 | 物理化学で用いられる基本単位について説明できる。 | [*] |
| 2 | 気体の分子運動論 (1) | 理想気体の状態方程式について説明できる。 | [C1(2)1-1] |
| 3 | 気体の分子運動論 (2) | 実在気体について説明できる。 | [C1(2)(1)-1] |
| 4 | 気体の分子運動論 (3) | 気体の分子運動と圧力について説明できる。 | [C1(2)①-2] |
| 5 | 気体の分子運動論 (4) | ボルツマン分布について説明できる。 | [C1(2)①-3] |
| 6 | 仕事 | 気体が行う仕事(等温可逆課程、等温不可逆過程)に ついて説明できる。 | [C1(2)2-1] |
| 7 | 熱力学第一法則 (1) | 熱力学第一法則について説明できる。 | [C1(2)2-2] |
| 8 | 熱力学第一法則(2) | エンタルピーと定圧・定積熱容量について説明できる。 | [C1(2)2-5,6,7] |
| 9 | 熱力学第一法則(3) | 断熱変化について説明できる。 | [C1(2)2-4] |
| 10 | 熱力学第二法則 (1) | カルノーサイクルについて説明できる。 | [C1(2)(3)-1] |
| 11 | 熱力学第二法則(2) | エントロピーについて説明できる。 | [C1(2)(3)-1,2,3] |
| 12 | 熱力学第二法則(3) | 相変化に伴うエントロピー変化について説明できる。 | [C1(2)2-4] |
| 13 | 熱力学まとめ | 示量性変数と示強性変数との違いを説明できる。 | [C1(2)2-3] |

分析化学1

| 指導教員 | 年次・期間 | 単位 | 選必区分 |
|-------|--------|-----|------|
| 三野 芳紀 | 1年次・後期 | 1.5 | 必修 |

・授業の目的と概要

分析化学は、試料中に何が、どれだけ含まれているのかを決定するための学問であり、薬学に限らず、実験科学全体の基礎となるものです。分析化学の進歩に伴い、測定可能な試料や濃度の範囲は広がり、分析操作は効率化され、分析値の信頼性も向上してきました。分析化学は、実験科学の基盤としてその発展に貢献してきたのです。

「分析化学」では、種々の化学的分析法を理解するために必要な基礎的事項、特に、水溶液内における各種の化学平衡について講述します。

・一般目標(GIO)

本授業では、化学物質をその性質に基づいて分析できるようになるために、物質の定性、定量などに必要な基本的知識を修得することを目的とする。特に、水溶液中での物質の性質を理解するために、各種の化学平衡に関する基礎的知識の修得を目的とする。

・授業の方法

教科書を用いて、主に講義形式で行う。

・準備学習や授業に対する心構え

予習、復習を怠らないこと。

・オフィス・アワー

時間:平日の午後4:30以降、ただし、(月)と(木)は会議のため不在の可能性あり。

場所:B棟5階 薬品分析化学研究室

• 成績評価法

定期試験、授業への出席状況、中間テストなどを総合的に判断して評価する。

教科書

『パートナー分析化学 I 』 齊藤 寛 他、南江堂

・参考書

『NEW薬学分析化学』萩中 淳·田邊信三(編)、廣川書店

『分析化学プラクティス』安井 裕之・吉川 豊 (共著) 京都廣川書店

『パザパ薬学演習シリーズ1 薬学分析化学演習』田和 理市、児玉頼光(共著)、京都廣川書店

『よくわかる薬学計算』池上 勇 (編)、廣川書店

| 1 分析化等 | 項 目 学概論(1) | 到達目標(SBO s)・授業内容 | コアカリキュラム番号 |
|-----------|----------------------|-------------------------------|--------------|
| | 乙州光 記音 (| ひにルツの田子は マンマジロマナフ | |
| | J-19961m (I) | 分析化学の用語について説明できる。 | [C2(1)①-1,2] |
| | | 国際単位、濃度の表記について説明できる。 | |
| 2 分析化学 | 学概論(2) | 有効数字、誤差、分析法のバリデーションについて説明できる。 | [C2(1)①-2、3] |
| | | 溶媒の種類について説明できる。 | |
| 3 分析化学 | 学概論(3) | イオン強度と活量の関係を説明できる。 | [C1(2)6-2,4] |
| | | 容量分析について、説明できる。 | [C2(3)2-5] |
| 4 酸塩基3 | 戸衡(1) | 酸と塩基の定義について説明できる。 | [C2(2)①-2] |
| | | 酸の強さ、塩基の強さについて説明できる。 | |
| 5 酸塩基三 | 平衡 (2) | 強酸、強塩基の水溶液のpHを計算できる。 | [C2(2)①-2] |
| | , | 弱酸、弱塩基の水溶液のpHを計算できる。 | |
| 6 酸塩基3 | F衡(3) | 塩の水溶液のpHが計算できる。 | [C2(2)(1)-4] |
| | 1 1/4 (0) | 緩衝液について説明できる。 | |
| 7 酸塩基3 | | 酸塩基滴定について説明できる。 | [C2(3)(2)-1] |
| I FX-III. | 1 1/4 (1) | 非水滴定について説明できる。 | |
| 8 錯牛成立 | | 錯生成平衡と安定度定数について説明できる。 | [C2(2)(2)-1] |
| 0 1911.70 | 内 (1) | 錯生成に影響する要因について説明できる。 | |
| 9 錯牛成三 | 平衡 (2) | キレート滴定について説明できる。 | [C2(3) ②-2] |
| 711-77 | 1 124 (= 7 | | |
| 10 沈殿生月 | 戈平衡(1) | 沈殿生成平衡と溶解度積について説明できる。 | [C2(2)2-2] |
| | | 溶解度積を用いた計算ができる。 | |
| 11 沈殿生原 | 攻平衡(2) | 沈殿滴定について説明できる。 | [C2(3)2-3] |
| 12 酸化還元 | 元平衡(1) | 準電極電位、電池の起電力について説明できる。 | [C1(2)(7)-2] |
| | | 電極反応のネルンスト式を書くことができる。 | [C2(2)(2)-3] |
| 13 酸化還元 | 元平衡(2) | ネルンスト式を用いて電極電位を計算することができる。 | [C2(3)(2)-4] |
| | , | 酸化還元滴定について説明できる。 | |

生化学 1 Biochemistry 1

| 指導教員 | 年次・期間 | 単位 | 選必区分 |
|------|--------|-----|------|
| 藤井 忍 | 1年次・後期 | 1.5 | 必修 |

・授業の目的と概要

生化学とは、生命現象を化学的側面から研究する学問である。

生命現象は、単純な構造を持ついくつかの化合物や、これらが結合することで形成された高分子が相互作用することによって営まれている。すなわち、分子レベルで生体構成分子の構造、性状、および機能の知識を修得することは、生命現象の根幹を理解することにつながる。

本授業では、生化学の分野の中で特に、生体の構成分子であるアミノ酸、タンパク質、糖質、および脂質の構造、性状、および機能に関する基本的な内容を取り扱う。なお、この科目は、今後学ぶ生物系専門科目を理解するための基礎になることから、十分な知識の修得を求める。

・一般目標(GIO)

本授業は、生命活動単位としての細胞の成り立ちを分子レベルで理解するために、その構成分子の構造、性状、機能に関する基本的知識を修得することを目標とする。

また、生命活動の担い手であるタンパク質、酵素について理解するために、その構造と性状についての基本的知識を修得することを目標とする。

・授業の方法

授業は、教科書に準じ、必要に応じて補助教材(プリント、CG、DVDなど)を用いて講義形式で行う。 なお、各章の終了後に簡単な確認テストを行い、各自の理解度を自己診断してもらう。

・準備学習や授業に対する心構え

授業内容が豊富であるため、試験直前の勉強だけでは単位を修得することが困難であると思われる。 授業に出席し、日々努力することが望まれる。

・オフィス・アワー

月曜日と金曜日の午後 4:30~午後 6:00(会議等で不在の場合がある)、その他随時(講義、実習、および会議等で不在の場合がある)、B 棟 5 階 生化学研究室

・成績評価法

基本的には定期試験によって評価し、60点以上で単位修得とみなす。

教科書

『レーニンジャーの新生化学(上)第5版』 D.L.Nelson他(著)、山科郁夫・川嵜敏祐(監修)、中山和久(編集) 廣川書店

・参考書

『亀田講義ナマ中継 生化学』亀田和久(著) 講談社

『好きになる生化学』 田中越郎 (著) 講談社

『カラー図解 生化学ノート 書く!塗る!わかる!』 森誠(著) 講談社

『基礎からしっかり学ぶ生化学』 成田央(著)、山口雄輝(編) 羊土社

『スタンダード薬学シリーズ4 生物系薬学 Ⅱ生命をミクロに理解する』 日本薬学会編 東京化学同人

| | 項目 | 到達目標 (SBO s)・授業内容 | コアカリキュラム番号 |
|----|------------|--|--------------------------------|
| 1 | 導入、水 I | 水の構造と性質、および両親媒性物質について説明できる。 | [C1(1)2-5,7] |
| 2 | 水Ⅱ | 水のイオン化、pH、および酸塩基とpKaの関係を説明できる。 | [C2(2)①-1,2,4] |
| 3 | アミノ酸とペプチド | アミノ酸を列挙し、その構造に基づいた性質とペプチド結合について説明できる。 | [C6(2)(3)-1] |
| 4 | タンパク質 | タンパク質の分離、精製、分子量測定、およびアミノ酸配列決定法を説明できる。 | [C2(5)1)-1,2)-1,*] |
| 5 | タンパク質の構造 I | タンパク質の構造の特徴を説明でき、高次構造の決定法の特徴を概説できる。 | [C6(2)4-1] |
| 6 | タンパク質の構造Ⅱ | タンパク質のドメイン構造、変性、再生、およびフォールディングについて概説 できる。 | [*] |
| 7 | タンパク質の機能 | 代表的なタンパク質の構造と機能を概説できる。 | 【C6(3)①-1】 |
| 8 | 酵素 I | 酵素反応の特性と様式、酵素反応速度論について説明できる。 | [C6(3)(3)-1,*] |
| 9 | 酵素Ⅱ | 酵素の阻害様式と酵素活性の調節機構について説明できる。 | [C4(2)@-1,2][C6 (3)@-2,3,*] |
| 10 | 糖質I | 単糖と二糖の種類、構造、性質、および役割を説明できる。 | [C3(1)②-2、3] [C6 (2)②-1] |
| 11 | 糖質Ⅱ | 代表的な多糖(複合多糖)の構造と役割を説明できる。 | [C6(2)(2)-2,*] |
| 12 | 脂質 | 脂質を分類し、構造の特徴、性質、および役割を説明できる。 | [C6(2)1-1] |
| 13 | 生体膜 | 生体膜の構造の特徴、性質、および役割を説明できる。 | [*] |

機能形態学1

| 指導教員 | 年次・期間 | 単位 | 選必区分 |
|-------|--------|-----|------|
| 高岡 昌徳 | 1年次・後期 | 1.5 | 必修 |

・授業の目的と概要

ヒトの体は多くの器官によって構成されており、それぞれの器官は固有の機能を発現する細胞とその集合体である組織から成り立っている。さらに、ヒトの体には、それぞれの器官や組織が互いに協調して生体の恒常性を維持する仕組み (ホメオスタシス) が備わっている。

このような人体の構造と機能を学ぶことは、ヒトの健康を守り、疾病の予防や治療にかかわる分野の基礎学習の中でも重要な位置を占める。さらに、人体の病的状態を理解するためにも、正常な人体の仕組みを学ぶ意義は大きい。人体の構造とホメオスタシスを個体レベルで理解するためには、各器官系の構造と機能および生体のダイナミックな調節機構に関する基本的知識が必要不可欠である。

・一般目標(GIO)

本授業では、生命体の成り立ちを個体、器官、細胞レベルで理解するために、生命体の構造と機能調節などに関する基本的知識を修得することを目的とする。

・授業の方法

主に、教科書を用いて講義形式で授業を行う。必要に応じて、プリントやスライド等の補助教材を用いて解説を加える。

・準備学習や授業に対する心構え

教科書だけで生理学や解剖学の用語を理解できない場合には、他の図説書等を積極的に利用して、復習することが望ましい。

・オフィス・アワー

不在の場合を除いて、質問等は研究棟5階 生体機能解析学研究室で随時受け付ける。

• 成績評価法

定期試験および出席状況を総合して評価する(定期試験90%、出席10%)。

教科書

『機能形態学(改定第3版)』櫻田忍、櫻田司 南江堂

・参考書

『スタンダード薬学シリーズ』日本薬学会(編) 東京化学同人生物系薬学 I 生命体の成り立ち

『ベーシック薬学教科書シリーズ』玄番宗一 他 化学同人機能形態学

『語源から覚える解剖学英単語集』河合良訓(監修) NTS (脳単、臓単、骨単、肉単)

| | 項目 | 到達目標(SBO s)・授業内容 | コアカリキュラム番号 |
|----|----------|---|--|
| 1 | 生体機能概論 | ヒトの身体を構成する各臓器の役割分担について説明できる。 | [C7(1)3-1] |
| 2 | 神経系概論 | 1. 中枢神経系の構成と機能を概説できる。 2. 体性神経系の構成と機能を概説できる。 3. 自律神経系の構成と機能を概説できる。 | [C7(1)4-1] [C7(1)4-2] [C7(1)4-2] |
| 3 | 神経の基本的機能 | 神経系の興奮と伝導の調節機構を説明できる。 | [C7(2)①-1] |
| 4 | 神経の基本的機能 | シナプス伝達の調節機構を説明できる。 | [C7(2)①-1] |
| 5 | 神経の基本的機能 | 神経系、感覚器を介するホメオスタシスの調節機構の代表例を列挙し、概説できる。 | [C7(2)①-3] |
| 6 | 自律神経系 | 自律神経系の構成と機能を概説できる。 | [C7(1) 4-2, C7(2) 1-2] |
| 7 | 自律神経系 | 自律神経系の構成と機能を概説できる。 | [C7(1) 4-2, C7(2) 1-2] |
| 8 | 自律神経系 | 自律神経系の構成と機能を概説できる。 | [C7(1) 4-2, C7(2) 1-2] |
| 9 | 体性神経系 | 体性神経系の構成と機能を概説できる。 | [C7(1) 4-2, C7(2) 1-2] |
| 10 | 脊髄の構造と機能 | 脊髄の構成と機能を概説できる。 | [C7(1)4-1, C7(1)4-2] |
| 11 | 脊髄と体性神経系 | 筋収縮の調節機構を説明できる。 | [C7(1)4-1, C7(1)4-2, C7(2)1-4] |
| 12 | 脳 | 脳の構成と機能を概説できる。 | [C7(1)4-1, C7(2)1-3] |
| 13 | 脳 | 脳の構成と機能を概説できる。 | [C7(1)4-1, C7(2)1-4] |

生薬学

Pharmacognosy

| 指 | 導教員 | 年次・期間 | 単位 | 選必区分 |
|--------|-----|--------|-----|------|
| 芝野 真喜雄 | | 1年次・後期 | 1.5 | 必修 |

・授業の目的と概要

生薬は人類が自然の恵みを利用して作りあげてきた薬物であり、各国の伝統医療や民間療法に使用されている。

また、我が国の現代医療の中では、漢方医学が、様々な疾病治療に取り入れられており、漢方薬を構成している生薬の知識がより一層必要になってきている。

さらに、欧米諸国においても、伝統医学などを積極的にとりいれた「統合医療」というものが提案されている。この授業では、各生薬の実物や、スライドを用いて、現在日本で使用されている代表的な生薬についてわかりやすく解説する。さらに、薬用植物園での観察会を実施し、重要生薬の基原植物や薬用部位について、理解を深める。

・一般目標(GIO)

薬として用いられる動物、植物、鉱物由来の生薬の基本的性質を理解するために、それらの基原、性状、含有成分、品質評価、生産と流通、歴史的背景、薬能などについての基本的知識、およびそれらを活用するための基本的技能を修得することを目的とする。

また、現代医療で使用される生薬・漢方薬について理解するために、漢方医学の考え方、代表的な漢方処方の適用についての基本的知識を修得する。

・授業の方法

教科書を指定し、これに準じた講義を行う。また、授業の最後に確認問題を解答することにより、学力の向上をはかる。

・準備学習や授業に対する心構え

その日に学習する項目については、教科書を熟読し、あらかじめ生薬の名前や薬効などを覚えておくこと。

また、講義中に、本学の薬用植物園で植栽されている基原植物については、その植栽されている場所を指示するので、次の 授業までには、観察し確認しておくこと。さらに、学習した生薬については、参考図書などを利用し、理解を深めること。 疑問点などが出てきた場合は、オフィス・アワーを積極的に利用し、解決するように心がけること。

・オフィス・アワー

月、金以外の午後4時以降、B棟5階 生薬科学研究室

・成績評価法

定期試験85%、平常点15% (レポート、観察会への出席等)

・教科書

『薬学生のための薬用植物学生薬学テキスト』本多義昭、馬場きみ江、高石喜久(編) 廣川書店

・参考書

『薬用植物学 改訂第7版』監修:水野瑞夫、編集:木村孟淳、田中俊弘、酒井英二、山路誠一、南江堂 『生薬単』著者:北山隆、監修:伊藤 美千穂、エヌティーエス

| | 項目 | 到達目標(SBO s)・授業内容 | コアカリキュラム番号 |
|----|--|--|---|
| 1 | 総論 | 世界の伝統医学と生薬 生薬の歴史について概説できる。 | С5(1)(1)-1, *, С5 |
| 1 | 松師 | 世界の伝統医学と生業生業の歴史について概説できる。世界の伝統医学について概説できる。 | (1) 2-1,*] |
| 2 | 各論 カンゾウ | 植物の学名および生薬の学名が説明できる。 生薬の生産、流通と環境問題 生薬の生産と流通について概説できる。 生薬生産に取り巻く環境問題を概説できる。 日本薬局方収載の代表的な生薬の薬効、成分、用途、副作用などを 説明できる。 | [C5(1)@-1,C5(1) ③-1,C5(1)③-2,C5 (1)④-1] |
| 3 | 各論 オウレン、オウバク | 代表的な生薬の産地と基原植物の関係について、具体例を挙げて説明できる。 生薬生産に取り巻く環境問題を概説できる。 日本薬局方収載の代表的な生薬の薬効、成分、用途、副作用などを説明できる。 | [C5(1)@-1,C5(1) (3-1,C5(1)@-1] |
| 4 | 各論 ダイオウ、センナ、ブ シ | 代表的な生薬の産地と基原植物の関係について、具体例を挙げて説明できる。 日本薬局方収載の代表的な生薬の薬効、成分、用途、副作用などを説明できる。 生薬の修治について説明できる。 | [C5(1)@-1,C5(1) ③-1,C5(1)③-2,C5 (1)@-1] |
| 5 | 各論シャクヤク、ボタンピ | 代表的な生薬の産地と基原植物の関係について、具体例を挙げて説明できる。 日本薬局方収載の代表的な生薬の薬効、成分、用途、副作用などを説明できる。 | [C5(1)@-1,C5(1) ③-1,C5(1)④-1] |
| 6 | 各論 ブクリョウ、チョレイ、 マクリ、マオウ | 日本薬局方収載の代表的な生薬の薬効、成分、用途、副作用などを 説明できる。 | [C5(1)@-1,C5(1) 3-1,C5(1)@-1] |
| 7 | 各論 ケイヒ、ジュウヤク、 アヘン | 日本薬局方収載の代表的な生薬の薬効、成分、用途、副作用などを説明できる。 | 【C5(1)②-1,C5(1) ③-1,C5(1)④-1,B (2)③-2,C5(1)①-4】 |
| 8 | 各論 キョウニン、トウニン、 カッコン,ゲンノショウコ | 日本薬局方収載の代表的な生薬の薬効、成分、用途、副作用などを 説明できる。 | [C5(1)2-1,C5(1) 3-1,C5(1)4-1] |
| 9 | 各論 キジツ、チンピ、トウヒ、 オンジ、セネガ | 日本薬局方収載の代表的な生薬の薬効、成分、用途、副作用などを 説明できる。 | [C5(1)2-1,C5(1) 3-1,C5(1)4-1] |
| 10 | 各論 ニンジン、ウイキョウ、 ホミカ | 日本薬局方収載の代表的な生薬の薬効、成分、用途、副作用などを 説明できる。 | [C5(1)@-1,C5(1) 3-1,C5(1)@-1] |
| 11 | 各論 リュウタン、ゲンチアナ, センブリ、トコン | 日本薬局方収載の代表的な生薬の薬効、成分、用途、副作用などを 説明できる。 | [C5(1)@-1,C5(1) 3-1,C5(1)@-1] |
| 12 | 各論 ロートコン、ベラドン ナコン、アロエ | 日本薬局方収載の代表的な生薬の薬効、成分、用途、副作用などを 説明できる。 | [C5(1)2-1,C5(1) 3-1,C5(1)4-1] |
| 13 | 各論 サフラン、ビンロウジ、 ウコン、ガジュツ、センソ、ゴ オウ | 日本薬局方収載の代表的な生薬の薬効、成分、用途、副作用などを説明できる。 | [C5(1)@-1,C5(1) 3-1,C5(1)@-1] |
| 14 | 観察会 | 武田薬品・京都薬用植物園の協力で、本学薬用植物園では観察できないダイオウやシャクヤク、ボタンなどの薬用部位や有毒植物について見学する。(授業開始後、6回目ぐらいに実施する。) | [C5(1)①-2,C5(1) ①-1,2,*] |

早期体験学習1

Early Exposure 1

| 指導教員 | 年次・期間 | 単位 | 選必区分 |
|--------|--------|----|------|
| 福永 理己郎 | 1年次・通年 | 1 | 必修 |

・授業の目的と概要

早期体験学習は学習に対するモチベーションを高めるために、薬剤師および薬学出身者の活躍する現場などを実体験することを目的とします。医療人として身につけるべき「生命の尊厳」、「優しさ、思いやり」など豊かな人間性の涵養と、「問題発見・解決能力」の重要性を認識することは重要なことです。早期体験学習は、入学後の早い時期に病院や薬局などの医療施設を始め、製薬企業の研究所などを見学体験することにより、広い視野から医療と薬学というものを理解し、意識の高揚を目的に行うものです。薬学生として自分の将来目標を達成するには、薬学を学びたいという気持ちを持ち続けることが大切です。将来の夢を実現するためには、活躍したい現場をあらかじめ理解しておくことが重要であり、卒業生が活躍する現場を見聞体験することは有意義なことです。この早期体験学習が将来の進路を早期に明確にする手助けとなり、学習目的を鮮明にし、学習意欲向上につながると確信しています。

年間スケジュールとしては、1年次の4月と9月に行う「早期体験学習」の導入講義によって、医療人としての薬剤師が果たすべき役割、薬局や病院における薬剤師業務、製薬企業における薬学出身者の業務、などについて学習します。実際の体験学習としては、小グループ単位で大阪薬科大学附属薬局および地域の総合病院の見学を実施します。見学前には施設体験の動機付けと目標設定、見学後には各薬剤師の役割や位置付け、現状での問題点、などを担当教員の指導のもとに小グループ単位で討論を行います。

一般目標(GIO)

薬学生として学習に対するモチベーションを高めるために、早期体験学習を中心に薬剤師および薬学卒業生の活躍する現場を体験する。さらに、患者・生活者本位の視点に立つ医療人として果たすべき役割を理解し、その使命感を身につける。

・授業の方法

講義ならびにグループごとの体験学習(グループディスカッション、発表および報告書作成を含む)

・準備学習や授業に対する心構え

体験学習をするため、礼儀作法はもちろんのこと、体験させていただく施設の予習を十分にしておくこと。スモールグループディスカッションは、施設体験前後に不定期に実施され、主に金曜日2限目に行われる。

・オフィス・アワー

各自の担当教員(引率教員)に確かめておくこと。

・成績評価法

講義と体験学習への出席は必須である。講義に対する感想文及び体験学習への取り組み方、グループ討議への参加態度、報告書などを考慮して総合的に評価します。

・参考書

『早期体験学習ガイドブック』村田正弘、ネオメディカル

| | 項目 | 到達目標(SBO s)・授業内容 | コアカリキュラム番号 |
|----|---|---|---|
| 1 | 医療人を目指す大学生の心得と社会 人としての意識 (講義) | 到達目標:常に患者・生活者の視点に立ち、医療の担い手として ふさわしい態度で行動する。 | [A(1)①-1] |
| 2 | 調剤薬局における薬剤師の役割 (講義) | 到達目標:患者・生活者の健康の回復と維持に積極的に貢献することへの責任感を持つ。薬局薬剤師の社会における役割について説明できる。「薬剤師として求められる基本的な資質」について、具体例を挙げて説明できる。薬学が総合科学であることを認識し、薬剤師の役割と学習内容を関連づける。 | [A(1)①-2, A(1)②-2, A(5)②-1, A(5)②-2] |
| 3 | 薬局薬剤師のマナーと倫理・薬局業務・在宅業務 (講義) | 到達目標:チーム医療や地域保健・医療・福祉を担う一員として の責任を自覚し行動する。保健、医療、福祉、介護における多職 種連携協働及びチーム医療の意義について説明できる。 | |
| 4 | 薬局薬剤師の業務と果たすべき役割 (グループ討議:体験学習の前と後 の2回に分けて小グループによる討 議を行う) | | A(1)2-1, A(5)2-1, F(1)1-1, |
| 5 | 調剤薬局の体験学習(見学・体験) | 到達目標:患者・生活者のために薬剤師が果たすべき役割を自覚する。患者・生活者の視点に立って薬局薬剤師の業務を見聞し、その体験から薬の安全性・有効性の確保、QOL(Quality of Life)の向上への寄与など、薬剤師業務の重要性について討議する。 | [A(1)①-1, A(1)②-1, F(1)①-1] |
| 6 | 病院における薬剤師の役割(講義) | 到達目標:患者・生活者の健康の回復と維持に積極的に貢献することへの責任感を持つ。医療機関の薬剤師の社会における役割について説明できる。「薬剤師として求められる基本的な資質」について、具体例を挙げて説明できる。薬学が総合科学であることを認識し、薬剤師の役割と学習内容を関連づける。 | [A(1)①-2, A(1)②-2, A(5)②-1, A(5)②-2] |
| 7 | 病院薬剤師の薬剤部業務・病棟業務・ チーム医療 (講義) | 到達目標:チーム医療や地域保健・医療・福祉を担う一員として の責任を自覚し行動する。保健、医療、福祉、介護における多職 種連携協働及びチーム医療の意義について説明できる。 | |
| 8 | 病院薬剤師の業務と果たすべき役割 (グループ討議:体験学習の前と後 の2回に分けて小グループによる討 議を行う) | 到達目標:患者・患者家族・生活者が求める医療人について、自らの考えを述べる。患者・生活者のために薬剤師が果たすべき役割を自覚する。「薬剤師として求められる基本的な資質」について、具体例を挙げて説明できる。患者・生活者の視点に立って、薬剤師業務の重要性について討議する。地域の保健・福祉を見聞した具体的体験に基づきその重要性や課題を討議する。 | A(1)2-1, A(5)2-1, F(1)1-1, |
| 9 | 病院の体験学習(見学・体験) | 到達目標:患者・生活者のために薬剤師が果たすべき役割を自覚する。患者・生活者の視点に立って病院薬剤師の業務を見聞し、その体験から薬の安全性・有効性の確保、QOL (Quality of Life)の向上への寄与など、薬剤師業務の重要性について討議する。 | A(1)2-1, |
| 10 | 衛生行政・福祉施設などにおける薬 剤師・薬学出身者の役割 (講義) | 到達目標:衛生行政・福祉施設等の薬剤師の社会における役割について説明できる。健康管理、疾病予防、セルフメディケーション及び公衆衛生における薬剤師の役割について説明できる。保健、医療、福祉、介護における多職種連携協働及びチーム医療の意義について説明できる。薬学が総合科学であることを認識し、薬剤師の役割と学習内容を関連づける。 | [A(1)@-2, A(1)@-6, A(4)-1, A(5)@-2] |
| 11 | 薬剤師・薬学出身者が活躍する多様 な職種(講義) | 到達目標:薬剤師の様々な活動分野と社会における役割について 説明できる。健康管理、疾病予防、セルフメディケーション及び 公衆衛生における薬剤師の役割について説明できる。保健、医療、 福祉、介護における多職種連携協働及びチーム医療の意義につい て説明できる。薬学が総合科学であることを認識し、薬剤師の役 割と学習内容を関連づける。 | [A(1)@-2, A(1)@-6, A(4)-1, A(5)@-2] |
| 12 | 企業における創薬研究と製薬(講義) | 到達目標:社会における製薬企業の役割について説明できる。医薬品の創製(研究開発、生産等)における薬剤師・薬学出身者の活躍分野とその果たすべき役割について説明できる。 | [A(1)②-2, A(1)②-5] |

早期体験学習 2 Early Exposure 2 (Introduction to Clinical Practices)

| | 指導教員 | | | | | | | 年次・ | 期間 | 単位 | 選必区分 | | |
|-----|------|----|----|----|-----|----|----|-----|----|-------|------|-----|-----------------|
| ☆松村 | 人志 | 島本 | 史夫 | 林 | 哲也 | 井尻 | 好雄 | 幸田 | 祐佳 | 1年次 | ・後期 | 0.5 | 必修 |
| 山口 | 敬子 | 加藤 | 隆児 | 浅野 | 麻実子 | 田中 | 早織 | 高野 | 美菜 | 1 +00 | [久丙] | 0.5 | روا ب <u>حد</u> |

・授業の目的と概要

病院等の医療の現場においては、薬剤師が、医師や看護師や他の医療従事者と共有しなければならない理解、知識、技能等がある。その上に、さらに薬剤師としての職責を果たすための、特に身につけるべき知識や技能等があろう。さて、当学習では、他の医療従事者と共有しなければならない理解、知識、技能等に、可能な範囲で触れ、一部でも実際に経験することを目的とする。 われわれの身体の構造と機能と共に、実際の医療現場でどのような技術・手技等が使われているのかを、体験を通して学ぶ。 医療がより身近で現実的なものと感じられ、興味を深める機会となればと期待する。また、グループでの体験学習を通して、チーム内でのコミュニケーション、情報のやり取り、チームワークの大切さ等を学び取っていただければ幸いである。

・一般目標(GIO)

薬物治療に必要な情報を収集するための基本的技能や手技を体験し、身につける。生命に関わる職業人となることを自覚し、それにふさわしい行動・態度をとることができるようになるために、人との共感的態度を身につけ、信頼関係を醸成し、さらに生涯にわたってそれらを向上させる習慣を身につける。医療の担い手として、生涯にわたって自ら学習する大切さを認識する。

・授業の方法

グループに分かれて、さまざまな手技について、体験しつつ学んで行く。

・準備学習や授業に対する心構え

お互いの身体に触れ合うこともあるので、装飾品を身につけてこないようにしてください。できるだけ軽装で、手足をすぐ に出せるような服装で参加いただいた方が、お互いにやりやすいと思います。各実習内容に積極的に参加してください。

・オフィス・アワー

適宜に担当教員に相談して下さい。

• 成績評価法

各手技内容の習熟度の点数、時間内に提出いただくレポートの点数などを加算して総合点を算出し、そこから欠席・遅刻・ 参加姿勢の悪さ等を減点して、最終的な成績とします。

・教科書

特に指定しません。

・参考書

『ロス&ウィルソン 健康と病気のしくみがわかる解剖生理学 改訂版』

(著者:アン・ウォー、アリソン・グラント;監訳者:島田達生、小林邦彦、渡辺皓、菱沼典子) 西村書店

『やさしい臨床医学テキスト(第3版)』(星恵子 他 編集) 薬事日報社

『薬物治療学(改訂3版)』(吉尾隆 他 編集) 南山堂

『ダイナミック メディシン 1』(下条文武 齋藤康 監修) 西村書店

| | 項目 | 到達目標(SBO s)・授業内容 | コアカリキュラム番号 |
|-----|---------------------------|---|---|
| 以下の | 4つのテーマに含まれる種々の | り項目をローテーション形式で体験していく。 | [F(3)①-1,3,4,5,7, F(3)④-4,8,9] |
| 1 | フィジカルアセスメント・ 神経診察・SMBG | 1 医療用モデル (人形) を用いたアセスメントの体験。 | [E1(2)@-8, E2(3)①-1,3,4, E2(4)①-1,2,3, E2(4)@-6,7] |
| | | 2 学生どうしで、ペンライトや打腱器を用いて神経系診察を体験する。 | [E2(1)②-4, E2(1)③-8,9,14] |
| | | 3 Self-monitoring of blood glucose (SMBG) を体験または見学する。 | [E2(5)①-1] |
| 2 | 超音波・採血・バイタルサイン | 1 医療用モデル (人形) に対して超音波装置を使用し、内臓の配置や大きさ等を見る。 | [E1(2)@-6, E2(3)@-5, E2(4)@-3,4,5, E2(7)⑦-2] |
| | | 2 医療用モデル (人形) を用いて、採血、静注、筋肉注射、皮 内注射等を体験する。 | [F(3)3-4] |
| | | 3 学生どうしで、脈拍、血圧の測定。 | [E2(3)①-1,3,4] |
| 3 | TDM・スパイロメーター・ | 1 Therapeutic drug monitoring (TDM) を体験する。 | [F(3)4-5,6] |
| | 心肺蘇生 | 2 スパイロメータを使って呼吸機能を予測する。 | [E2(4)①-1,2] |
| | | 3 医療用モデル(人形)を用いて、救急蘇生・心マッサージを体験する。 | [E2(3)①-1,2,3,4] |
| 4 | 眼と耳の構造と診察手技・ | 1 検眼鏡による医療用モデル (人形) の眼底観察を体験する。 | [E2(6)①-1,2,3,4] |
| | パルスオキシメーター・尿 | 2 耳鏡による医療用モデル (人形) の鼓膜観察を体験する。 | [E2(6)2-2,3] |
| | 検査 | 3 パルスオキシメーターでの測定と体内環境の推計。 | [E1(2)②-5, E2(3)①-1,2, E2(4)①-1,2,3] |
| | | 4 試験紙を用いた尿検査の体験。 | [E1(2)②-1, E2(3)③-2,3,5] |

人体の構造と病態1

Anatomy and Pathophysiology 1

| | 指導教員 | | | | | | |
|--------|-------------|-------|--------|-----|----|--|--|
| ☆島本 史夫 | 松村 人志 幸田 祐佳 | 山口 敬子 | 1年次・前期 | 1.5 | 必修 | | |

・授業の目的と概要

人体の基本的な構造(解剖学)と機能(生理学)を理解し、さまざまな疾病やその症状がどのようなメカニズム(病態生理学)で現れてくるのかという、医学・医療・臨床領域の基礎を学ぶ。2年次以降に学ぶ一連の薬物治療学などを理解するための基礎となる重要な知識であり、将来の医療を担うスタッフとして臨床現場で応用が利くように学んでいただきたい。

・一般目標(GIO)

薬物治療を含めた医療に携わるために、人体の構造と各臓器の機能、疾患の病態生理に関する基本的知識を習得する。

・授業の方法

教科書、資料、スライド等を使用して、各教員が分担して専門分野を講義します。

・準備学習や授業に対する心構え

授業の前に教科書の授業範囲を読んでおくことを進めます。講義内容は自分専用ノートを作って復習すると効果的です。使用する教科書は、6年までのさまざまな授業の予習・復習や国家試験対策にも役立ちますので、時間があれば、どんどん読み進めてください。講義中の私語など他の学生の迷惑になるような行為には厳しく対処します。

・オフィス・アワー

適宜に担当教員に相談してください。

・成績評価法

定期試験の結果(85%)により評価点をつけます。ただし出欠状況、レポート、小テストなどを参考(15%)にします。

・教科書

『健康と病気のしくみがわかる 解剖生理学(改訂版)』 アン・ウォー著、島田達生監訳 西村書店 『やさしい臨床医学テキスト(第3版)』、星 恵子 他編集、薬事日報社

・参老書

適宜、授業中に紹介します。

| 了又未已 | | | |
|------|-----------|--|--|
| | 項目 | 到達目標(SBO s)·授業内容 | コアカリキュラム番号 |
| 1 | 総論 (島本) | 解剖学・生理学・病態生理学の概略と目的を説明できる。 | [C7(1)③-1,2] |
| 2 | 骨・関節 (島本) | 骨と関節の構造・機能とその異常について説明できる。 | [C7(1) 5-1,2,6-1,C7(2) 4-1,8-1, C8(2) 1-1] |
| 3 | 消化器1(島本) | 上部消化管(食道・胃・十二指腸)の構造・機能とその異常: 嚥下障害、胃食道逆流、胃粘膜障害について説明できる。 | [C7(1) ⑨-1, C8(2) ①-1] |
| 4 | 消化器2(島本) | 下部消化管(小腸・大腸・直腸)の構造・機能とその異常: 消化と吸収、便秘と下痢、腸粘膜障害について説明できる。 | [C7(1) ⑨-1, C8(2) ①-1] |
| 5 | 消化器3(島本) | 肝臓・胆道・膵臓の構造・機能とその異常: 黄疸、門脈圧 亢進、胆汁うっ滞、膵外分泌障害について説明できる。 | [C7(1) ⑨-2、C8(2) ①-1] |
| 6 | 血液1 (島本) | 造血器の構造・機能と赤血球系疾患:貧血と鉄代謝、ビタミンB12・葉酸代謝について説明できる。 | [C7(1)@-1,C7(1)@-2,C8(2)①-1] |
| 7 | 血液2 (島本) | 造血器の構造・機能と白血球系疾患:白血球増加・減少と 炎症、免疫防御について説明できる。 | [C7(1)@-1,C8(2)①-1] |
| 8 | 血液3(山口) | 造血器の構造・機能と止血・凝固・線溶系:血小板異常、 凝固異常について説明できる。 | $[C7(1) \oplus -1, C7(2) \oplus -1, C8(2) \oplus -1]$ |
| 9 | 感覚系1 (幸田) | 視覚器の構造・機能と眼の光学装置の疾患について説明で きる。 | [C7(1)(3)-1,C8(2)(1)-1] |
| 10 | 感覚器2(幸田) | 聴覚、痛覚、嗅覚、味覚器の構造・機能とその異常について説明できる。 | [C7(1)(3)-1,C8(2)(1)-1] |
| 11 | 神経系1(松村) | 中枢神経系の構造・機能とその異常: 睡眠障害、意識障害、 てんかん、自律神経系疾患、脳循環障害について説明でき る。 | [C7(1) (4-1, C7(2) (1)-1, 2, 3, C8(2) (1)-1] |
| 12 | 神経系2(松村) | 大脳基底核、小脳、視床下部の構造・機能とその異常:失 語症、認知症、精神と行動の障害について説明できる。 | [C7(1)4-1,C7(2)1-1,2,3,C8(2) 1-1] |
| 13 | 神経系3(松村) | 脊髄、末梢神経系、神経筋伝達系の構造・機能とその異常: 脱髄、下行性運動路障害、神経筋伝達障害について説明で きる。 | [C7(1) (4-2, C7(2) (1)-1,2,3,4,C7 (2) (3)-1, C8(2) (1)-1] |

人体の構造と病態2

Anatomy and Pathophysiology 2

| | 指導教員 | | | | | 年次・期間 | 単位 | 選必区分 |
|----|------|----|----|----|----|-------|-------|------|
| ☆林 | 哲也 | 井尻 | 好雄 | 加藤 | 隆児 | 1年次・後 | 期 1.5 | 必修 |

・授業の目的と概要

「人体の構造と病態 1」と同様に、様々な疾病とその臨床所見がどのような機序で出現するのかを学ぶ。本科目は 2 年次以降に学ぶ「薬物治療学」の基本となる重要なものである。

人体の構造と病態に対する知識と理解を深め、将来の医療現場における薬剤師としての技量を十二分に発揮して頂きたい。

・一般目標(GIO)

人体の基本構造と各臓器の役割の理解を基に、各器官系に生じる疾患を知り、それぞれの疾患の病態生理の概略を理解する。

・授業の方法

教科書、資料、スライド等を使用して、各教員が、それぞれの分野を講義する。

・準備学習や授業に対する心構え

授業の前に、教科書の授業範囲のところを自分で読んで予習をすること。また、復習も行うこと。

・オフィス・アワー

適宜に担当教員に相談して下さい。

・成績評価法

定期試験の結果により評価点をつける。ただし出席状況、小テストも参考にする。

教科書

『やさしい臨床医学テキスト』・編集:星恵子 他・薬事日報社

・参考書

適宜、授業中に紹介する。

| | 項目 | 到達目標(SBO s)・授業内容 | コアカリキュラム番号 |
|----|---------------------|--|-------------------------|
| 1 | 心循環系(林) | 心臓・血管系の解剖、生理を理解し、心不全の病態を 説明できる。 | [E1(2)①-1,E2 (3)①-2] |
| 2 | 心循環系(林) | 不整脈と虚血性心疾患の発生機序と病態を説明できる。 | [E2(3)①-1,3] |
| 3 | 心循環系 (林) | 高血圧と動脈硬化について概念と病態を説明できる。 | [E2(3)①-4] |
| 4 | 心循環系(林) | 代表的な弁膜疾患・血管病変・心筋疾患・心原性ショックについて病態生理を説明できる。 | [E2(3)1]-5] |
| 5 | 呼吸器疾患 (加藤) | 肺の構造と機能を理解し閉塞性・拘束性肺疾患、間質 性肺炎の病態生理を説明できる。 | [E2(4) ①-1,2,3] |
| 6 | 呼吸器疾患 (加藤) | 肺の構造と機能を理解し、呼吸器感染症(かぜ症候群インフルエンザ、肺炎、肺結核)、肺がんの病態生理を説明できる。 | [E2(4)1]-4] |
| 7 | 腎疾患、腎の塩と水バランス(加藤) | 腎の輸送・排泄機序、腎の構造を理解し、糸球体腎炎、 ネフローゼ、腎不全の病態生理を説明できる。 | [E2(3)3-2,3] |
| 8 | 泌尿器・生殖器疾患(加藤) | 尿路感染症、尿路結石、前立腺肥大、前立腺がんの病態生理を説明できる。 | [E2(3)3-5] |
| 9 | 産科・婦人科疾患(井尻) | 妊娠高血圧症候群、子宮内膜症、不妊症、更年期障害、 女性器がん(子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がん、乳 がん)について説明できる。 | [E2(3)(3)-6.8] |
| 10 | 内分泌疾患 (井尻) | ホルモンについて概説することができ、下垂体疾患、 副・甲状腺、副腎疾患について説明できる。 | [E2(5)2-2,3,5] |
| 11 | 代謝疾患1 (井尻) | 糖尿病、低血糖について病態生理を説明できる。 | [E2(5)①-1] |
| 12 | 代謝疾患 2 (井尻) | 脂質異常症、高尿酸血症・痛風について病態生理を説 明できる。 | [E2(5)①-2、3] |
| 13 | 自己免疫・アレルギー・皮膚疾患(井尻) | アレルギーの種類および機序を理解し、免疫性疾患(アナフィラキシーショック、アトピー性皮膚炎、じんま疹、自己免疫疾患/膠原病、SLE、関節リウマチ、全身性強皮症、移植免疫)、HIV感染症について概説できる。 | , |

基礎薬学実習

Practice in Basic Phamaceutical Sciences

| 指導教員 | | | | | | 年次・ | 期間 | 単位 | 選必区分 | | | | |
|------|----|----|----|----|----|-----|----|----|------|-----|-----|-----|----|
| ☆土井 | 光暢 | 大桃 | 善朗 | 浅野 | 晶子 | 平田 | 雅彦 | 川島 | 浩之 | 1年次 | ・前期 | 0.5 | 必修 |

・授業の目的と概要

安全に実験を行うには正しい実習習慣・基本的な実験操作法等を身につけることが大切です。基礎薬学実習においては、実習の心構え、身だしなみ、実験器具の用い方、基本操作、基礎的計算、実験結果の取り扱い方、実験レポートの記載等、今後履修する実習の基礎となる知識と技能を習得することを目的とします。

・一般目標(GIO)

化学実験を安全に行うために必要な基本的な知識と技能を身につける。

・授業の方法

その日の実習内容、実験操作等に関しての説明や諸注意を受けて、2~4名のグループに分かれて実験を行います。

・準備学習や授業に対する心構え

欠席は認められません。その日行った実験についての復習とまとめはその日のうちに行い、実験操作と得られた結果を考察する努力が必要です。

・オフィス・アワー

B棟2階・生体機能診断学研究室またはB棟4階・分子構造化学研究室で随時(平日)質問にお答えします。

・成績評価法

実習に取り組む態度、実習レポート、実習試験成績等を総合的に評価します。

・教科書

実習テキスト等を配付します。

・参考書

化学、化学演習のテキストを参考にして下さい。

| | 項目 | 到達目標(SBO s)・授業内容 | コアカリキュラム番号 |
|---|------------|-----------------------------------|---------------------|
| 1 | ·基礎知識 | 農実験を安全に行うために必要な心構え、身だしなみなどを概説できる。 | |
| | | | |
| 2 | ・基本操作 | 基本的な測容器を用いて、試液を正確な濃度に調製できる。 | [C2(1)(1)-2] |
| 3 | ・定性・確認反応 | 代表的な金属イオンを錯生成反応等を用いて確認できる。 | [C2(1)②-2,C2(3)①-1] |
| 4 | ・容量分析 | 標準液の標定と、それを用いた滴定ができる。 | [C2(2)①-1,2] |
| 5 | ・緩衝液とpHの測定 | 溶液のpHを測定でき、緩衝作用について具体例を挙げて | [C2(2)①-2,3,4] |
| | | 説明できる。 | |

基礎有機化学実習

Practice in Fundamental Organic Chemistry

| | | 指導教員 | | | | | 年次・ | 期間 | 単位 | 選必区分 |
|--------|-----|------|----|----|----|---|-----|-----|----|------|
| ☆田中 麗子 | 宇佐美 | 吉英 | 山田 | 剛司 | 菊地 | 崇 | 1年次 | ・後期 | 1 | 必修 |

・授業の目的と概要

有機化学実習の基本操作を習得し、かつ、有機反応の理解を深めるための基本的な医薬品の単離および合成を行う。本実験を通じて、再結晶、抽出、蒸留、融点測定、薄層クロマト、カラムクロマト、等の操作により、混合物から如何にして純粋な化合物を単離するか、また、どのようにして得られた化合物の確認を行うかを学び、基本的な技術を習得する。

・一般目標(GIO)

脂肪族および芳香族炭化水素の性質を理解するために、それぞれの基本構造、物理的性質、反応性に関する基本的知識を修得する。

・授業の方法

実習テキストを用いて実習全体の内容に関して講義を行い、概略を理解させた後、3~4名のグループに分かれて実習を行う。

・準備学習や授業に対する心構え

実験を理解して進めることができるようにあらかじめ、予習をすること。実験結果は細かい点まで記録すること。遅刻、欠席は認めない。

・オフィス・アワー

(月)~(金)の随時、B棟6階の医薬品化学研究室、有機化学研究室に来て下さい。

• 成績評価法

出席、レポート、筆記試験により評価する。

・教科書

実習テキスト

・参考書

『実験を安全に行うために』化学同人編集部 化学同人 『続 実験を安全に行うために』化学同人編集部 化学同人

| | 項目 | 到達目標(SBO s)・授業内容 | コアカリキュラム番号 |
|---|---|--|-------------------------|
| 1 | 実習講義、ガラス細工 | 基本的な有機反応の特徴を概説できる。 ピペット、キャピラリー、ジーデグラスを作成できる。 | [C3(1)①-6] [*] |
| 2 | 茶葉からの抽出によるカフェインの単離・ 融点測定 | 官能基の性質を利用した分離精製を抽出により実施できる。 | [C3(3)①-2] |
| 3 | アスピリンの合成と再結晶による精製 | 課題として与えられた医薬品を合成できる。再結晶により 精製できる。 | 【C3(3)①-2、 C3(1)①-9】 |
| 4 | 鎮痛薬からの薬効成分の分離精製(アスピリン、カフェイン、アセトアミノフェン)とTLCによる同定 | 官能基の性質を利用した分離精製を実施でき、反応廃液を適切に処理できる。 | [C3(3)①-2、 C2(5)①-5] |
| 5 | Cannizzaro反応(ベンズアルデヒド \rightarrow ベン ジルアルコールおよび安息香酸)を行い、 生成物の抽出分離(1)ができる。 | 代表的な官能基を他の官能基に変換できる操作を習得する。 | [C3(3)4-1] |
| 6 | カラムクロマトグラフィーによる分離精製 (2) | カラムクロマトグラフィーを用いて代表的な化学物質を分離できる。 | 【C2(5)①-1】 |
| 7 | イソアミルアセテートの合成(1) | イソアミルアセテートの合成ができる。 | [C3(3)4-3] |
| 8 | 蒸留による物質の精製(2) | 蒸留によりイソアミルアセテートを「初留」「本留」「後留」 として捕捉することができる。蒸留による有機化合物の精 製を実施できる。 | [C3(3)①-2] |



〒569-1094 大阪府高槻市奈佐原 4丁目20番1号 TEL (072) 690-1000 (代表) FAX (072) 690-1005 URL http://www.oups.ac.jp